事業番号 事業名 地域共生社会推進事業 担当部課 地域共生推進課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 行政改革指針,重点課題 一般会計 区分 予算区分(款 一 項 一 目) 無 法定受託事務の有無 有 その他(関係計画、要綱等) 長久手市地域福祉計画、長久手市重層的支援体制整備事業実施要綱 3-1-1 社会福祉総務費 基 本情報 平成30年度に策定した第2次長久手市地域福祉計画に基づき、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、「地域共生社 事業開始の背景、経緯等 会の推進」のための取組を行っている。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ①事業内容 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) (対象はどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 ①支援のために連携し 全市民 た関係者^{※1}の数を増加 ①運営に携わる市民数 【目的】 (\square させる(支援プランに記載 ②支援プラン作成件数 役割と居場所を感じられる市 事 ジ 業 ツ (併せて、本人・世帯が した関係者数) 民を増やし、助けがなかったら ※1 人^{※2}·課·機関·企業等 持つ課題数も把握す -人一人に役割と居場 住きていけない人を全力で守 ク ※2 人=相談支援の入口、 所があり、助けがなかっ る。) ΠÉ る体制を作ること。 参加支援における資源 ③関係性構築のために デル たら生きていけない人は 事業内容】 ②居場所等の運営に携 全力で守られる。 費やした時間数(相談支 庁内外の関係者や地域、公民 わる市民数(地域づくり) 援/参加支援/地域づくり 連携による「多様な社会参加」 ③伴走している支援件 の合計) :「覚悟を持った寄り添い支援 数(アウトリーチ/参加支 体制」を構築する。 援) R1年度 R3年度 R2年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 65,490 64,200 41,973 45.981 52,029 事業費(A) 千円 決算 54.174 60,134 39,857 49,460 ス 決算 28,027 人件費(B) 千円 16 590 39 309 推 移 54,174 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 76.724 67.884 88.769 事業対象の数(D) 58 545 59,499 60,035 60 352 60,770 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 畄位 (事業の意図を反映する指標) R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R8年度(2026)年実績 准 支援のために連携した関係者の数 者 102 捗)状況 (数値目標の根拠:調査名,調査年など出典) 役割と居場所があり、助けがなかったら生きていけない人が全力で守られる体制を作 るためには、制度を超えた多様な機関・人との連携が必要である。現在は連携を(ネッ -ク)を広げていく時期であり、相談支援、参加支援、地域づくりのいずれも、支援 の広がりを測るには「支援のために連携した関係者の数」が適当である 令和3年度から重層的支援体制整備事業を開始し、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施すること で、包括的な支援体制の構築を進めている。 事業開始からの経緯など 地域共生社会推進事業の委託先である、長久手市社会福祉協議会と頻回に協議を重ね、重層的支援体制整備事業を進め るための連携の仕組みを改善しつつ、事業を実施している。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り ・包括化推進協議会を1回、実務者会議を2回開催し、各機関の情報共有、連携のあり方について、学習、意見交換を行っ た。特に実務者会議においては、本市が目指す地域共生社会の姿を共通のものとするため、庁内連携会議(福祉部の他、多 返り 分野で構成)と合同で開催し、先進自治体の事例を学びながら、協働について理解を深めるワークショップを行った 令和4年度の成果 ・各相談支援機関の協力を得ながら包括的支援情報連携システムの実証実験を行い、各機関の情報共有、連携のあり方に ついて協議、意見交換を行った。 (改善が必要なこと、改善の方法など) ・複合的な課題を抱えた世帯を継続的に各機関が連携して支援できる体制の構築 改善ポイント ・社会参加が必要な人など、ニーズに応じた伴走支援と社会参加につなぐ体制の構築 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 引続き、各プロジェクトに取り組み、相談支援、参加支援、地域づくりのための支援を一体的に進めるとともに、重層的支援体制整備事業実 今後の 施計画の策定、包括的な支援体制の構築を推進していく。 後 方向性 目安として、重層的支援体制整備事業実施計画の終年である令和8年度を目標とする。

事業番号 公共交通事業 2 事業名 担当部課 市長公室企画政策課 決算書 第6次総合計画・基本目標 6 あえて歩いてみたくなるまち 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 道路運送法、公共交通の活性化及び再生に関する法律、第2次長久 有 その他(関係計画、要綱等) 2-1-5 企画費 基 手市地域公共交通網形成計画 本情報 平成17年3月にリニモが開業し、東西の公共交通の基盤軸が形成された。 事業開始の背景、経緯等 リニモ、名鉄バス及びN-バスが一体となった利便性の高い公共交通サービスの提供が求められている。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民、公共交通利用者及び公共交通 事業者 (n 【目的】 事業フロージックモデル 過度に自動車に頼る状態か 公共交通の利用促進を行う。 公共交通応援隊によるキッズ ら、多様な交通手段を利用す イベントの開催をはじめとした 徒歩や自転車で行けない離 る暮らしへの転換を促すた 公共交通に関する啓発を行 れた所に外出する際に「公共 め、公共交通に利用を促進 い、市内公共交通利用者数の 交通利用を第一に考える」人 し、また、持続可能な交通体 増加を図る。 の割合の向上を図る。 系を構築する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 区分 項目 (2021) (2022)(2019)(2020)(2023)予算 4 155 3 9 2 7 2 9 1 2 4 4 7 4 7.736 事業費(A) 千円 П 決算 3,926 3,168 2,677 4,404 ス 7 千円 人件費(B) 決算 13.555 11.832 8.237 9.831 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 17 481 15 000 10 914 14 235 事業対象の数(D) 59,500 60,000 60,300 60,500 60,800 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 0 0 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度実績 (事業の意図を反映する指標) 徒歩や自転車で行けない離れた所に外出 R14年度 R9年度 する際に「公共交通利用を第一に考え 26.9 30 33 る」人の割合 (指標の設定根拠) (数値日標の根拠・調査名 調査年かど出典) 公共交通利用に対する市民意識の高まりを確認するため 5年に一度実施する、公共交通に関する市民アンケート 現計画となる「第2次長久手市地域公共交通計画(平成30年度策定)」の推進のため、地域公共交通会議や公共交通ネット 事業開始からの経緯など ワーク調査研究会の開催、公共交通応援隊による活動などを実施している。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) ぶり返り 令和4年度の成果 令和5年度に策定を予定している地域公共交通計画の参考とするため、公共交通に関する市民アンケートを実施し、1,547件 の回答を得た。また、N-バスの啓発として市役所庁舎内でカプセルトイを設置し162個を販売した。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 市東部のN-バスの利用実績が少ないことから、新たな交通システムの導入の検討が必要である。また、令和2年3月からの 改善ポイント 新型コロナウイルス感染症の影響により、各公共交通の利用者数は大幅に減少しており、当初の目標達成が困難な状況で あり、今年度策定する地域公共交通計画の中で、目標人数の設定を見直していく。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 平成30年度に策定した「第2次長久手市地域公共交通網形成計画」で掲げる目標の達成を目指すが、令和2年3月からの新型コロナウイル 今後の ス感染症の影響により、各公共交通の利用者数は大幅に減少しており、当初の目標達成は困難な状況である。 令105年度中に、令和6年度からの計画となる地域公共交通計画を策定予定であり、その中で、公共交通ネットワークの再構築や、目標人 後 方向性

数の設定の見直しを行っていく。

	事務事業①			公共	交通ネットワー	ク構築事業			
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	(1) 海常に推	もる主足のし数	1	見込	10	10	10	10	10
業を構成する事務事業①	(1) 運営に携	わる市民の人数	, ,	実績	7				
成す		ン】市内各公共交通の	\downarrow	見込	4,138,000	4,364,000	4,400,000	4,437,000	4,474,000
、 る 事	利用	者数【単年】		実績	4,615,734				
務事	(3)			見込					
業		(5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (実績					
	どもが参加し、公共交通 令和2、3年度は新型コロ	イベントグループが、令和	とという。リニモ、	名鉄バス、N-バ	スとも利用者数が	大きく落ち込んた	: : :	後の方向性 スト投入	改善・見直し現状維持
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	7	見込					
を構	(1) 建西に扱	517の目氏の人数		実績					
事業を構成する事務事業②		プラン(総合計画)の		見込					
うる 事	指	定の指標】		実績					
務事	(3)			見込					
業 ②	く備考:活動の概要(R4	(左连(0000))		実績					
	〜 川方: 冶動の概要(R4	1年度(2022)					今往	後の方向性	
							=	スト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	B7年度	R8年度
事業を構成する事務事業③	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
を構成し	(2) 【アクションフ	プラン(総合計画)の		見込					
がする	指	定の指標】		実績					
事	(3)			見込					
事業				実績					
3	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>					今往	後の方向性	

市役所周辺都市基盤施設整備事業 事業番号 3 事業名 担当部課 市長公室企画政策課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 2 財政改革の推進 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) その他(関係計画、要綱等) 有 長久手市スポーツ施設整備等基本構想 他 2-1-5 企画費 基 本情報 市役所駐車場がほぼ満車状態となり、駐車待ちの車両がみられ、利用者がそれぞれの都合に合わせて気軽に本施設を利 用できない状況で、行政サービスとして課題が生じている。このような課題を解決するため、駐車場用地を取得し、駐車場の 事業開始の背景、経緯等 拡充を行う。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 駐車場用地を取得し工事を発注する工程において、市民・民間事業者と協働することはでき 両者と協働不可 連携協働の可能性 ないため ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 事業フロー(ロジックモデル 【目的】 市役所西側に駐車場用地を 現状の駐車場が不足し、市民が駐車 市民に滞りなく行政サービス 市役所に訪れた市民がス 購入し造成工事を行うことで、 場に駐車できない状況が発生しているため、駐車場造成工事を行い、問 が届けられる。 55台駐車スペースが増える。 ムーズに駐車できるようにな 題を解消する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 0 16.600 22.771 84.164 事業費(A) 千円 П 決算 0 13,785 22,169 84,087 ス ۲ 人件費(B) 千円 決算 0 14,459 7,934 7,303 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 0 30 103 28 244 91 390 事業対象の数(D) 60,000 60,000 60,000 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 470 485 831 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R 年度(R4年度(2022)年実績 R 年度((事業の意図を反映する指標))年実績)年実績 用地購入1件 進 駐車場用地交渉及び駐車場整備 整備工事1式 捗 1状況 (指標の設定根拠) 数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 駐車場不足を解消するため、民地である用地を取得し、駐車場を整備する必要があ 用地交渉等は地権者との交渉が主軸になるため、数値目標の設定 は困難である。 事業開始からの経緯など 令和2年度から該当用地の地権者と用地交渉を行い、概ね順調に進捗した。また、今回の用地取得は土地収用法に基づく 事業認定申請が必要で、愛知県用地課から認定を得た。 振り返り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年度の成果 用地を1件購入し増設工事を行い、令和5年1月6日から来庁者及び職員駐車場として供用を開始した。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 用地購入には、税務署協議、登記事務など様々な専門的な知識が必要で、間違いがない確実な事務及び地権者との信頼 関係の構築が必要である。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の · 後 方向性 駐車場の用地購入及び整備が完了した。今後は適切な管理を行う。

	事務事業①			市役所	周辺都市基盤	施設整備事業			
	 活動す (事務事業の具体に		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を構	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込	_	_	-	_	-
を構成さ	【アク・	ションプラン】		実績 見込	_	_		_	_
する 事		強化施設【単年】	ı	実績					
成する事務事業①	(3)			見込 実績					
1	<備考:活動の概要(R4:	年度(2022))>)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			4	 後の方向性	休・廃止
	・土地売買契約を1件 ・駐車場整備工事及び	≒締結した。 ゞ植栽工事を実施した	0				:	コスト投入	縮小
	事務事業②						,		
	活動 (事務事業の具体的		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を	(1) 運営に携	わる市民の人数	\downarrow	見込 実績					
事業を構成する事務事業②	(2) 【アクションブ	プラン(総合計画)の 全の指標】		見込					
る事務	114	との拍标】		実績 見込					
事業の	(3)			実績					
	<備考:活動の概要(R4:	年度(2022)					4	後の方向性	
							:	コスト投入	
	事務事業③								
由	活動技			区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
業を埋	(1) 運営に携 	わる市民の人数	Д	実績					
博成する	(2) 【アクションフ 指気	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込 実績					
事業を構成する事務事業③	(3)			見込					
事 業 ③	<備考:活動の概要(R4:	年度(2022))>		実績				後の古白州	
							7	`後の方向性 	

地域振興事業 事業番号 事業名 4 担当部課 くらし文化部たつせがある課 決算書 第6次総合計画·基本目標 1 「やってみたい」でつながるまち 会計 行政改革指針,重点課題 7 市民参加の仕組みづくり 一般会計 区分 無 予算区分(款 一 項 一 目) 法定受託事務の有無 その他(関係計画、要綱等) 長久手市みんなでつくるまち条例、第6次長久手市総合計画 2-1-8 地域振興費 基 情報 高齢化・人口減少・大規模災害の課題を乗り越え、将来にわたって住みよい長久手市にするために、地域住民自らが地域の 事業開始の背景、経緯等 将来を考え、地域が一体となって、地域コミュニティの活性化を図り地域課題の解決に取り組む必要がある。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ①事業内容 ④最終アウトカム (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 【目的】 事業フロー 概ね小学校区ごとにまちづくり 市民一人ひとり及び団体同士 組織が設置され、地域住民や 地域で活動する団体のつなが まちづくり協議会等のまちづく のつながりが生まれ、地域の り組織が行う地域活動に参加 問題を地域で解決することが 地域の担い手づくり、地域の人たちが し、地域でのつながりをつくる りづくりを行う。 できる。 つながり、地域を支える人が育つまち ことができる。 を目指すため、多くの市民が市民活動 や地域活動に参加しやすくなる環境の 整備等による支援を行います。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 項目 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)24 847 予算 28 253 25 481 21 637 33 938 事業費(A) 千円 決算 23,153 16,161 14,683 20,326 _ ス 人件費(B) 決算 15,870 14,994 14,370 11,721 千円 推移 千円 総コスト(C)=(A+B) 決算 39 023 31.155 29 053 32 047 事業対象の数(D) 人 59.500 60.000 60.300 60.500 60.800 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R6年度(2024)年実績 R8年度(2026)年実績 (事業の意図を反映する指標) ①まちづくり協議会及び②まちづくり協 回 56 議会設立準備会等の開催数 捗 状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 西小学校区まちづくり協議会・運営会議24回 市が洞小学校区まちづくり協議会・運営会議14回 まちづくり協議会設立支援事業の目的は地域課題の解決のための活動に対する支 援、それらの活動が安心してできるような環境を作ることが目指すべきところであるた 北小学校区まちづくり協議会設立準備会6回 → 協議会12回 め、成果指標を協議会の開催数とする。 南小学校区(考える会)・6回 →準備会 6回 平成29年4月に西まち協、平成30年11月に市が洞まち協が設立された。また平成30年7月から北まち協準備会が設立さ 事業開始からの経緯など れ、まち協設置に向けた協議が進んでいる。 振 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年度の西小学校区まちづくり協議会では、まちの運動会、西まち協フェスティバルなどのイベント開催のほか、防犯、防災の活動を通じた地域のつながりが生まれている。また、市が洞小学校区まちづくり協議会では、小学校、PTAと連携した子ども110番の家ウォークラリー 返り 令和4年度の成果 イベントの実施、地域防災ローカル会議等を実施し、地域で活動する団体を巻き込み、地域の課題を地域で解決する取組が進んでいる。 まちづくり協議会の認知度が未だ低いため、活動内容を地域住民にPRしていくことが必要である。 改善ポイント 地域で活動する市民団体及び地域活動のキーマンを発掘し、協議会の活動に参画してもらうことが必要。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

今今後の後方向性

より多くの住民、団体を巻き込む活動となるよう行政としても支援を行う。

現在、まちづくり組織がない地域においては、今後も、地域ごとの特性に応じたまちづくり組織のあり方について、地域との話し合いを進めてして、

令和8年度までに市内で4つのまちづくり協議会の設立を目標とするが、地域の意向に沿い、地域の必要性に応じて設立されるものとする。

	事務事業①			まちづく	り協議会設立	運営支援事業			
		」 計標 なのな活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携わる			見込	300	360	42	20 480	480
を構	(,) (21)			実績	365				
成 すっ	(2) 【アクションプラ 開催数(西小学	ラン】まちづくり協議会の 単校区)		見込	24	24	:	24 24	24
事務				実績 	12	6		6 6	6
業を構成する事務事業①	(3) まちづくり協議 数	会設立準備会の開催	回	実績	7				
igoplus	をするべきかを話し合う フェスティバルなどのイク 北まち協準備会におい	4年度(2022))> まちづくり協議会の主催で 地域防災ローカル会議が ベントの開催のほか、防犯 ては、部会を設立し、分野 事務局の設置に向けた協	行われた。西小り、防災の活動をごとに各団体との	学校区のまちづく 通じて地域での1	くり協議会では、 つながりが生まれ	まちの運動会、西 るという効果が	まち協	う後の方向性 コスト投入	拡充拡充
	事務事業②				事務事業①の	D続き			
		対指標 な的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を		シ】まちづくり協議会の	0	見込実績	14	14		14 14	14
構成する	(2) 【アクションプラ 開催数(北小学	シ】まちづくり協議会の や校区)	<u> </u>	見込	0	6		2 12	12
事業を構成する事務事業	(3)			見込実績	0				
2	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>						・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	事務事業③								
事		指標 動物を表現の人数	Д	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	B7年度 (2025)	R8年度 (2026)
業 を 構				実績 見込					
 成 する		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
事業を構成する事務事業③	(3)			見込					
業 ③	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))		実績			4	う後の方向性	
								コスト投入	

事業番号 事業名 まちづくり協働事業 5 担当部課 くらし文化部たつせがある課 決算書 第6次総合計画·基本目標 1 「やってみたい」でつながるまち 会計 行政改革指針,重点課題 7 市民参加の仕組みづくり 一般会計 区分 予算区分(款 - 項 - 目) 法定受託事務の有無 無 長久手市地域協働計画、長久手市協働まちづくり活動補助金交付要綱、長久 その他(関係計画、要綱等) 有 2-1-9 まちづくり協働費 基 手市NPO法人設立支援補助金交付要綱 本 情報 高齢化・人口減少・大規模災害の課題を乗り越え、将来にわたって住みよい長久手市にするために、地域住民自らが地域の 事業開始の背景、経緯等 将来を考え、地域が一体となって、地域コミュニティの活性化を図り地域課題の解決に取り組む必要がある。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 【目的】 事業フロ・ まちづくりに主体的に参画する 市からの補助及び協働をきっ 市民主体のまちづくりを推進するた 市民が増加し、自分たちの「やってみたい」活動により、 市の補助がない状態でも、継 かけに、市民活動を始める市 か、地域活動や市民活動を支援するほか、人材育成に取り組む。 デル 続的に活動を続ける団体が増 民が増加する。 市民同士がつながりあう。 加する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 項目 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 6 830 2 708 1 932 1 459 1 443 千円 事業費(A) 決算 2,025 287 512 782 _ ス 人件費(B) 決算 6,286 6,365 6,050 千円 7.154 推移 千円 総コスト(C)=(A+B) 決算 9 1 7 9 6 5 7 3 6877 6 832 事業対象の数(D) 人 59.500 60,000 60.300 60.500 60.800 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 0 0 0 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R10年度(2028)年実績 R4年度(2022)年実績 R7年度(2025)年実績 (事業の意図を反映する指標) まちづくりセンターの登録団体数 団体 120 捗 状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) まちづくりセンターは、市内で活動する市民団体の活動を支援し、それぞれの連携を 促すことで、より広範な活動をするための支援を行う施設であることから、その登録団 1年間に10団体の登録団体数の増加を目標値とする。 体数を成果指標とする。 本事業は、協働まちづくり活動補助事業を主とした事業であり、これまでに100を超える団体に対して、市民活動を始める 事業開始からの経緯など きっかけづくり及び市との協働による事業を進めてきた。 振り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り 令和4年度の成果 令和4年度の補助団体の一部については、市との協働のみならず、まちづくり協議会と連携した事業に取組み、活動をより広 範なものにすることができた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 補助団体が他団体との交流を図る機会があまりない。まちづくりセンター等の団体間交流会に出席してもらうことで、団体間 改善ポイント の情報共有等に寄与していく。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 補助金を受けた団体に対して、まちづくりセンターへの利用登録を促し、令和10年度までに登録団体を150とする。 後 方向性 本補助金を広くPRし、市民活動を始めるきっかけ作りを促していく。

事業番号 事業名 男女共同参画推進事業 担当部課 くらし文化部たつせがある課 6 決算書 第6次総合計画・基本目標 1 「やってみたい」でつながるまち 会計 行政改革指針 重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) 長久手市の男女共同参画を推進する条例 2-1-9 まちづくり協働費 その他(関係計画、要綱等) 右 基 長久手市男女共同参画基本計画 本情報 平成15年3月に長久手町(市)男女共同参画プランを策定し、事業を実施してきた。平成21年4月には長久手町(市)の男女 事業開始の背景、経緯等 共同参画を推進する条例が施行され、市の活性化に向けた男女共同参画の取組を推進している。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか) ①事業内容 ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 ▮市民 ロジッ 【目的】 ・業フロ 市民に対して、男女共同参画 すべての人が、制限されるこ クモデル 基本計画に基づく啓発・事業 男女が性別に関わらず、その となく自らの個性と能力を発 を行うことで、男女共同参画に 個性と能力を十分に発揮でき 揮し、自分のやりたいことがで ついて考えるきっかけ作りを る社会であると感じる人の割 きるまちになる。 男女が家庭、学校、職場、地域活動 行う。 合が増える。 等の場に対等な立場で参画し、ともに **責任を担い、各人の個性や能力をの** びやかに発揮できる男女共同参画社 会を実現する。 R4年度 R5年度 R1年度 R2年度 R3年度 項日 単位 区分 (2019)(2021)(2022)(2020)(2023)予算 453 3.053 3.109 事業費(A) 千円 379 決算 251 356 1.726 ス 7 3,254 4,044 人件費(B) 千円 決算 4.039 4.235 · 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 3 505 4,400 4.418 5 961 事業対象の数(D) 人 59.500 60,000 60.300 60,500 60,800 (R5年度は想定数 対象あたりコスト(C/D)の 千円 0 0 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【目標①】 【目標②】 【現状】 単位 H30年度(2018)年実績 R 年度(R5年度(2023)年実績)年実績 (事業の意図を反映する指標) 地域の中での男女平等と感じる人の割合 % 37.7 40 捗状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 第3次男女共同参画基本計画で、2024年3月までに平等意識を40% 第3次男女共同参画基本計画で「男女の地域の中での平等意識」を数値目標として に向上することを目標としている。(「性別にとらわれない自分らしい いるため 生き方を目指す」長久手市市民意識調査、市民2,000人を対象) 平成15年に長久手町男女共同参画プランを策定、平成21年4月に長久手町(市)の男女共同参画を推進する条例を制定 事業開始からの経緯など し、以降、2回の計画を経て、計画に基づく啓発・事業を行ってきた。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り返り 令和4年度は、文化の家と協働した男女共同参画講座を開催し、200名を超える参加者に来ていただくことができ、多くの リガーナースは、ストロップに関係してガススートリーを開発して開催している。これでは、ストロップには、ストロップに関係していて、スティングできた。 方々に対して男女共同参画について考えるきっかけ作りができた。参加者の声としては、「歌と時代の変遷、男性と女性の関わりを深く知ることができ、興味深い講演でした。」「時代によって男女間の関係が違うことに気付かされた。」「違う世代のこと 令和4年度の成果 を最初から無理と思うのではなく、理解する気持ちが重要だと思った。」等、男女共同参画への理解が深まったといった感想 や、講演自体に満足いただけたといった声を多数いただいた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 男女共同参画の考えを普及させていくには、地道な啓発活動が必要不可欠であるため、市民へ向けた出前講座を昨年度以 上に実施し、また、普及啓発のための企画やPRを積極的に行っていく。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 市単独で事業を行うのではなく、関係機関、市民団体、大学、企業等との協働により、事業効果が大きくなるよう施策を進めていく。 後 方向性 令和6年度から第4次男女共同参画基本計画をスタートさせ、新たな施策に取り組む。

	事務事業①				男女共同参画推	進事業			
			単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込	3	3	3	3	;
事業を構成する事務事業		ン】男女共同参画推進 E開催回数【単年】		見込	3	3	3	3	;
事務事	(3) 【アクションプラ	ン】女性活躍推進に係 昇催回数(単数)	回	実績 見込	2	3	3	3	3
業 ①	◇神座原 <備考:活動の概要(R4			実績	2		<u></u>	後の方向性	拡充
	(1)男女共同参画市民講 (2)女性活躍推進に係る ナー1回)	i座1回、男女共同参順 i講座(マザーズコー∵	画推進部会 2 叵 ナー出張セミナ	l、サテライト· ·一1回、ママ:	セミナー1回、 たちのワークシ	出前講座1回 ョップ・再就耶	哉セミ	スト投入	現状維持
	事務事業②								
	 活動: (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込					
事業を構成する事務事業		プラン(総合計画)の		見込					
る事務	16)	定の指標】 		実績 見込					
事 業 ②	(3) <備考:活動の概要(R4	年度(2022))		実績					
							今往	後の方向性	
								スト投入	
	事務事業③ 活動:	指標			R4年度	R5年度	 R6年度	即年度	R8年度
事業		わる市民の人数	Α	区分 実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業③		プラン(総合計画)の 定の指標】		見込					
る事務事	(3)			見込実績					
業 ③	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))		J 198			今行	後の方向性	
							=	スト投入	

事業番号 事業名 7 地域間交流事業 担当部課 くらし文化部たつせがある課 決算書 第6次総合計画・基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 会計 行政改革指針,重点課題 3 自治体間連携の推進 一般会計 区分 予算区分(款 - 項 - 目) 法定受託事務の有無 無 その他(関係計画、要綱等) 交流宣言書(南木曽町)、きづなづくりの誓い(宝塚市) 2-1-9 まちづくり協働費 基 本 情報 南木曽町は木曽川の水源地が縁で平成18年に交流宣言書の調印を行い、宝塚市は介助犬訓練施設「シンシアの丘」が縁で 事業開始の背景、経緯等 平成24年に覚書「きずなづくりの誓い」を締結し、交流を開始した。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ①事業内容 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) ₹【誰を対象に】 【今後の目標】 長久手市民、南木曽町民 事業フロー 【目的】 南木曽町民及び観光客等に 対する長久手市観光情報等 のPR ・長久手市民に対する南木曽 長久手市への来訪者の増 。 友好都市の魅力を相互発信するととも 相互自治体間の周遊性が向 町観光情報等のPR 加、それに伴う観光消費等も 上する(これまで南木曽、長久 手を訪問したことが無い層に に、友好提携自治体間でより活発な交 デル ・他の事業における連携機会 増加する。 流をする。 よる訪問が増加)。 自治体間連携事業の連携数 の増加 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 項目 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)49 予算 59 59 48 48 千円 事業費(A) 決算 30 8 17 15 _ ス 人件費(B) 決算 1,581 592 599 1,588 千円 推移 千円 総コスト(C)=(A+B) 決算 1.611 600 616 1 603 事業対象の数(D) 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R6年度(2024)年実績 (事業の意図を反映する指標) 市内イベントで出店する南木曽ブースの数 件 3 捗 状況 (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 南木曽町からの来訪者数は把握できないため、数値の把握が可能な南木曽町から 令和4年「長久手楓まつり」への南木曽町ブース出店 のPR出店の申し出件数を成果目標とする。 友好都市南木曽町とは平成18年から交流事業を開始し、相互市町の魅力をPRするために市民まつりへの参加などの交流 事業開始からの経緯など 事業を行っている。 振り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り 令和4年度の成果 令和4年度は、(一社)長久手市観光交流協会が主催する長久手楓まつりへ出店してもらい、南木曽町の特産品(木工、五平 餅等)のワークショップや販売等を通じて同町のPRをすることができた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) コロナ禍において、対面式の交流事業数が減少してしまったため、市民及び職員が相互の市町を行き交う事業をコロナ禍前 改善ポイント 水準を目指して行う必要がある。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) コロナ禍の影響で事業実施や職員交流がほとんど行われなかったため、南木曽町と長久手市が友好都市であることを認識している職員(特に若手職員)が少なくなってしまった印象がある。これを解消するために、南木曽町役場職員による長久手市役所若手職員向け勉強会や相互市町をそれぞれ訪問する現地勉強会などを実施して、南木曽町と連携した事業をより行えるよう取り組む。 今後の 後 方向性

これにより、例えば各課で事業を実施する際に、南木曽産の製品を使用するなどの意識付けを行いたい。

	事務事業①				地域間交流	事業				
	活動打 (事務事業の具体的		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		レョンプラン】 「訪問及び交流件数	件	見込	5	5		6	6	7
事業を構成する事務事業①	日/11 日/	- 別回及び又加什数		実績	5	4			0	
成する	(2) 友好提携自治体	の物産品展開催回数		見込 実績	0	1			2	2
事務				見込				_		
事業	(3)			実績				_		
	<備考:活動の概要(R43 R4実績:5件 ※全て 相互市町観光PR事業、	有木曽町との交流	全祝い事業 等	÷					多の方向性 スト投入	改善・見直し現状維持
	事務事業②									
	 活動打 (事務事業の具体的		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込			/			
を構	(1)			実績						
成 す ス		プラン(総合計画)の Eの指標】		見込 実績						
事業を構成する事務事業②				見込						
事業	(3)			実績						
2	<備考:活動の概要(R44	年度(2022))>					-		後の方向性 スト投入	
	事務事業③									
	活動打	旨標		区分	R4年度	R5年度 (2022)	R6年	_	R7年度 (2025)	R8年度
事 業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(20)	247	(2025)	(2026)
を構成	(2) 【アクションプ	プラン(総合計画)の		見込						
がする	(2) 【アクション) 指定	この指標】		実績						
事業を構成する事務事業③	(3)			見込						
事 業 ③	<備考:活動の概要(R45	年度(2022)) >		実績						
								今往	後の方向性 ————	
								٦	スト投入	

事業番号 事業名 大学連携事業 担当部課 8 くらし文化部たつせがある課 決算書 第6次総合計画・基本目標 1 「やってみたい」でつながるまち 会計 行政改革指針,重点課題 6 協働事業の拡大 一般会計 区分 法定受託事務の有無 予算区分(款 一 項 一 目) 無 大学連携調整会議設置要綱、大学連携推進ビジョン4U 2-1-9 まちづくり協働費 その他(関係計画、要綱等) 基 本情報 市内4大学と締結した包括的連携協定や大学連携推進ビジョン4Uに基づき、市、大学間との連携を推進するため、長久手市 事業開始の背景、経緯等 大学連携調整会議(令和元年度までは大学連携推進協議会)を設置し、併せて市内4大学によるワーキングを実施している。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) ①事業内容 ③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市内4大学、近隣大学、市民、 (\square 企業及び行政 事 ジ 業 ツ 日常的に大学や大学生がまち 大クロモ 【目的】 Jニモテラス公益施設をはじめ に出てまちづくりに関わること とする、市内各所で大学と市、 で、地域の活力が向上すると 大学連携事業へ参加する市 大学と市民とが連携する事業 デル ともに市のイメージ向上に寄 民の数が増加する。 数が増加する。 与する。 大学の専門性や特色を生かし、 地域課題の解決と活性化を図る事業 を実施する。 R1年度 R3年度 R5年度 R2年度 R4年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 1,308 824 494 492 490 事業費(A) 千円 決算 867 668 448 422 ス 決算 人件費(B) 千円 6 804 6 194 9.136 8.167 推 移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 7.061 7.472 9.584 8.589 事業対象の数(D) 168 190 300 288 300 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 370 372 367 350 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 (事業の意図を反映する指標) R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R6年度(2024)年実績 谁 大学連携事業への参加延べ人数 人 7.394 7.500 8.000 捗 状況 (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 令和5年度には、コロナ禍の影響も限定的になるであろうことが想定されるが、コロナ禍の影響により学生活動の伝承が十分とは言えないた 市と大学との連携事業の実態を把握することができ、かつ市民の関心の高さが数値 に表れるため。 め、まずはR5は昨年度同等、R6以降で数値の上昇を図る。 長久手市大学連携推進ビジョン4Uに基づき、大学の専門性や特色を生かした活動を実施。 事業開始からの経緯など 令和3年度にリニモテラス公益施設が開館したことにより、大学連携の活動拠点となり、学生の活動が充実した。 これまで各大学が単独で行っていた事業とは別に、市内4大学、長久手市国際交流協会、尾三消防本部、長久手市社会福祉 協議会等が連携して行う防災イベントを実施し200名の来場があった。当日は、愛知県立大学が炊き出し、愛知医科大学が虎 三消防本部によるAEDのサポート、愛知淑徳大学の学生が受付など運営補助、愛知県立芸術大学の学生は、参加していた がり返り 令和4年度の成果 外国人へのヒアリング調査など様々な関わり方ができた。会場全体に学生が散在することにより、イベント自体に活気が溢 れ、市内の大学及び大学生の存在を市民に周知する機会となった。 学生の参加が当日のみで完結してしまうことが課題。事業の企画立案から当日運営まで学生に関わってもらうことで、学生な 改善ポイント らではの視点やアイデア、大学の色を生かした事業を組み立てられるため、学生の参加を継続させる。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 今後 ・学生が主体となってイベントの企画、運営ができるよう学生が継続して活動しやすくなる体制作り(実行委員会など)を市と大学とで行う。 方向性 ・リニモテラス公益施設と長久手中央2号公園を拠点に大学連携事業を推進する。

	事務事業①			- 学4	=まちづくり活動	h 支 摇 車 業			
	活動	指標	#4 /T		- よろ クマッル s	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体	的な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	\forall	見込	150	200	200	250	250
事業を構成	(1) 建当口扬	17る市民の八数	7	実績	254				
式	(2) 大学連携	 等事業実施件数	件	見込	35	40	40	45	45
5 	(2) 八子建1	5 争未关心计数	П	実績	40				
する事务事業①	(3) 4Uワー=	キング参加者数	,	見込	300	300	350	350	400
			,	実績	288				
	<備考:活動の概要(R4 4Uワーキング	年度(2022)) >					今往	後の方向性	改善・見直し
	「長久手子ども食堂」 「防災サバイバルフェ	ス2022」(愛知県立ス	大学)「まちづ	くりデザイン技	習会」(愛知医 受業報告会」((科大学) 愛知県芸術大学	<u> </u>	スト投入	現状維持
	「4Uワーキング報告会	:&ごちゃまぜワーク?	ショップ」(4カ	大学合同)				ヘト投入	5亿八班付
	事務事業②								
	活動		単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
ī	(事務事業の具体	的な活動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
計 岩 八事	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績					
青え	7 —60000	2 (40 A =1) -		見込					
5		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
戈片 る 耳 务 耳 巻 ②				見込					
# # W	(3)			実績					
3)	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>			1	1	今往	後の方向性	
							٦	スト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
F	(1) 運営に携	わる市民の人数	人		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
マシま				実績					
# 比	(2) 【アクションフ 指5	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込 実績					
, 0 1				見込					
事長に帯伐ける事务事長30	(3)			実績					
	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>) (13K				40+¢4	
							今往	後の方向性	

事業番号 事業名 9 リニモテラス事業 担当部課 くらし文化部たつせがある課 決算書 第6次総合計画·基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 会計 行政改革指針,重点課題 6 協働事業の拡大 一般会計 区分 予算区分(款 一 項 一 目) 法定受託事務の有無 無 その他(関係計画、要綱等) リニモテラス公益施設(仮称)整備基本計画 2-1-9 まちづくり協働費 基 本 情報 第5次長久手市総合計画で掲げる将来像「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」の実現に向けて、主要プロジェクト「「リ 事業開始の背景、経緯等 ニモテラス構想※」を掲げた ※リニモテラスをまちの顔として整備し、市民が集い、訪れる人をもてなす場を創出すること。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ①事業内容 ④最終アウトカム (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民、長久手市来訪者 事業フロー クモデル 【目的】 市民活動が活性化される 市民のやりたいを実現できる フィールドが生まるとともに 場作りを行うことで、市民活動 市民活動のフィールドがある れを来訪目的とする市民が集 が増加し、市民が活躍できる ことが広く認知され、市民活動 い、交流や賑わいが生まれ 主要な場として、市全体が活 の担い手が増える。 る。 性化する。 市民の日常の暮らしを支え、訪れる人 たもてなす空間を創出する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 3 047 214 022 146 527 32 042 27 234 事業費(A) 千円 決算 25,053 213,552 29,459 29,190 ス 人件費(B) 5,898 千円 決算 10.620 6.360 6.440 推移 千円 総コスト(C)=(A+B) 決算 35 673 219 912 35 899 35 088 事業対象の数(D) 人 1.410 674 1.025 1.080 1.200 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 20 122 129 130 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R6年度(2024)年実績 (事業の意図を反映する指標) リニモテラス公益施設の事業運営に関わ 人 1,448 1,570 1.690 る市民の数 (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) (指標の設定根拠) 捗 火状況 施設コンセプトとして、市民のやりたいの実現が上げられており、当該 活動者が増加することで施設の活性化に寄与することから、開館後に初期設定した960人から、毎年4テーマ10人×12か月=120人増加 リニモテラス公益施設の事業運営に関わる市民の数 していく指標を設定する。 第5次総合計画の主要プロジェクトとして位置づけられ、本市の新たな顔としてふさわしい場作りを目指している。本事業を構 事業開始からの経緯など 築していく上でも施設の利活用者とともに施設の活性化等の運営面を考えながら進めている。 振り 令和4年度については、開館から1年を経過したこともあり、市民活動の活躍・発信の場としても認知されてきたことから、事 令和4年度の成果 返り 業におけるプレイヤー(活用主体)が増加してきた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 増加してきたプレイヤー(活用主体)がリニモテラス公益施設の主役として、対外的に発信できる交流イベント等へ参画できる 改善ポイント ような場作りを行う。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 今後は、リニモテラス公益施設に加えて、隣接する長久手中央2号公園も含んだ指定管理とし、エリアとしての広がりを持って一体的な利活 後 用を推進し、プレイヤー(活用主体)の発掘、プレイヤー同士のマッチング、利用者ミーティング等を行い、プレイヤーの主体性や活動に対する下支えを強化して、市民活動がより活性化するような仕組み作りを行い、令和10年度までにその仕組みを構築化する。 方向性

事務事業①			リニョ	Eテラス公益施	設管理事業			
活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1) 字光1-#	14.7.†***		見込	1,080	1,570	1,690	1,810	1,9
(1) 運営に携	わる市民の人数	, A	実績	1,448				
(2) リニモテラス	ションプラン】 .公益施設来館者数 【単年】	Д	見込	60,000	60,000	62,000	62,000	65,0
			実績	36,408				
(3) イベン	ント実施回数		見込	125	130	135	140	1
			実績	229				
<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))>					今後	後の方向性	拡充
NIA集いの広場、夏祭	り子ども縁日、市内ブ	大学学生WS 等					スト投入	拡充
事務事業②								
 活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
			見込	, ,	, ,		, ,	, ,
(1) 運営に携	わる市民の人数		実績					
「アカシュン	プラン(総合計画)の		見込					
(2) 「アクション」	定の指標】		実績					
			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>			<u> </u>	•	今後	後の方向性	
						=	スト投入	
事務事業③								
活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 運営に携	わる市民の人数	人		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
			実績					
	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込 実績 //					
			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>		7,12				«о+ ф₩	
						今後	後の方向性	

事業番号 国際化事業 10 事業名 担当部課 くらし文化部たつせがある課 決算書 第6次総合計画・基本目標 1 「やってみたい」でつながるまち 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 長久手市多文化共生推進プラン、長久手市国際交流協会運営事業 その他(関係計画、要綱等) 有 2-1-10 国際化事業費 基 費補助金交付要綱 本情報 平成4年度にベルギー王国ワーテルロー市との姉妹都市友好提携締結による青少年訪問団等を通じての交流や、平成6年 度に設立した長久手市国際交流協会の活動を支援するため、補助金を交付している。 事業開始の背景、経緯等 近年は、在住外国人数の増加により、多文化共生の必要性が高まってきたため、令和2年度に長久手市多文化共生プラン を策定し、多文化共生を推進する施策に取り組んでいる。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (市としてどうなるのか) (対象はどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民、在住外国人、留学生 事 ジ 業 ツ *フロー 【目的】 日本語教室をはじめとした、国際交流協会と連携すること 国際交流や多文化共生への 理解が生まれ、日本人・外国 国際交流や多文化共生事業 による国際交流、多文化共生 人双方にとって住みよいまち への市民の参加者数増 になる。 事業の実施 国際交流や姉妹都市交流及び多文 化共生に関する事業を推進する R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 5.281 5.789 6.299 7,097 6,471 事業費(A) 千円 4,354 4,304 6,005 7,074 決算 ス 7 人件費(B) 千円 決算 7,729 8,948 8,387 _ 7.411 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 12 083 13,252 14,485 14.392 事業対象の数(D) 人 4.706 1.846 4,145 10,040 10,200 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 3 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 (事業の意図を反映する指標) R6年度(2024)年実績 R8年度(2026)年実績 国際交流協会事業参加者総数 人 10 040 10 400 10.800 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 国際交流や多文化共生事業の参加者数は、市民の多文化共生意識の高まりを反映 本市の外国人人口が少しずつ増加していることから、目標値も増加さ する指標であると考えられる。 せている。 国際交流協会事務局が独立したことで、外国人相談窓口の場づくりとしてリニモテラス公益施設でのイベント実施や事務局 窓口での相談体制が強化された。 事業開始からの経緯など 多文化共生の庁内会議を設置し、外国人対応が多い課で課題や外国人支援に関する情報共有を行った。その結果、各課 から国際交流協会へ外国人に関する支援依頼が増加した。 ワーテルロー市との姉妹都市提携30周年記念イベント「ベルギーワーテルローフレンドフェスinながくて2022」を実施し、約 1,000人が来場した。会場では30周年記念動画の上映や現地とのオンライン交流を実施し、姉妹都市に関する周知及び交流 を図ることができた。また、多文化共生に関する有識者会議及び庁内会議を継続していくことで、市内での取り組みの情報 振り 令和4年度の成果 返り 共有や必要な時に各種相談機関と連携する体制づくりができている。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 非常時における切れ目のない支援を行う体制が整っていないことが課題。外国人の非常時に対する意識や必要とする情報 改善ポイント 及びサポート、有効的な情報提供方法等を把握するために外国人へのヒアリングを継続する。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 外国人へのヒアリングやアンケート調査から防災、医療、福祉、子育て、外国人コミュニティの現状及び必要とされる支援を把握する。令和6 年度までに第二次長久手市多文化共生推進プランを策定し、行政、国際交流協会、大学、各種相談機関、企業等との協働により多文化共 後 方向性 生のための施策を進める。

	事	務事業①				国際交流協会支	で援事業				
	(특		動指標 体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	(1)	電台/-	携わる市民の人数		見込	1,500	1,950		2,000	2,050	2,100
を選	(1)	建 名1、	焼わる川氏の人数	, ,	実績	1,883					
成	(2)		ンプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込	2,900	6,300		6,400	6,500	6,600
業を構成する事務事業①	(2)		会が実施する多文化共生 への参加者数[単年]	, A	実績	6,198					
· 答	(3)	同	流協会実施事業数	事業	見込	22	22		24	24	20
業 1	(3)	国际义	派励云 夫 他 争未致	争未	実績	18					
<	〈備考:	:活動の概要(R4年度(2022))>						今後	後の方向性	拡充
国	國際交流	売フェスタ、⟨−	-てと―く、ベルギーワーテ,	ルローフレントノエ	-八、口外四叔土	(小工口/、口个 面					
座	医、日本	語教室愛知	・てと一く、ベルキーワーティ 県立大学合同研修、災害サ 、日本文化紹介、ホームス・	バイバルフェス、	NIA集いの広場、	学校日本語学習	サポート、外国人	相談、	٦.	スト投入	現状維持
座	E、日本 英語絵:	語教室愛知	県立大学合同研修、災害サ	バイバルフェス、	NIA集いの広場、	学校日本語学習	サポート、外国人 志及びチラシ発行	相談、	=:	スト投入	現状維持
座	英語絵	を語教室愛知! 本読み聞かせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	県立大学合同研修、災害サ	バイバルフェス、	NIA集いの広場、	学校日本語学習 、HP運営、情報記	サポート、外国人 志及びチラシ発行	相談、	度	スト投入 R7年度 (2025)	現状維持 R8年度 (2026)
座	E、日本 英語絵: 事	本読み室愛知!本読み聞かせ務事業②活事務事業の具	県立大学合同研修、災害サ 、日本文化紹介、ホームス・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	バイバルフェス、テイ(椙山女学園	NIA集いの広場、 、愛知県立大学)	学校日本語学習 、HP運営、情報記 多文化共生社:	サポート、外国人 志及びチラシ発行 会事業 R5年度	、相談、 T	度	R7年度	R8年度 (2026)
座	英語絵	本読み室愛知!本読み聞かせ務事業②活事務事業の具	限立大学合同研修、災害サ 、日本文化紹介、ホームス・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	バイバルフェス、テイ(椙山女学園	NIA集いの広場、 、愛知県立大学 区分	学校日本語学習、HP運営、情報記 多文化共生社: R4年度 (2022)	サポート、外国人 志及びチラシ発行 会事業 R5年度 (2023)	、相談、 T	连度 24)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
· 应 英	を、日本 を語絵 事 (1)	※語教室愛知! 本読み聞かせ 務事業② 活 事務事業の具 運営に	県立大学合同研修、災害サ 、日本文化紹介、ホームス・ 動指標 体的な活動の指標) 携わる市民の人数 レプラン(総合計画)の	バイバルフェス、 テイ(椙山女学園 単位 人	NIA集いの広場、 、愛知県立大学 区分 見込	学校日本語学習 、HP運営、情報記 多文化共生社: R4年度 (2022)	サポート、外国人 志及びチラシ発行 会事業 R5年度 (2023)	、相談、 T	连度 24)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
座	E、日本 英語絵: 事	本語教室愛知! 本読み聞かせ 務事業② 活 事務事業の具 運営に	県立大学合同研修、災害サ 、日本文化紹介、ホームス・ 動指標 体的な活動の指標) 携わる市民の人数	バイバルフェス、テイ(椙山女学園	NIA集いの広場、、愛知県立大学 区分 見込 実績	学校日本語学習 、HP運営、情報記 多文化共生社: R4年度 (2022) 10	サポート、外国人 志及びチラシ発行 会事業 R5年度 (2023) 30	、相談、 T	连度 24)	R7年度 (2025) 10	R8年度 (2026)
座	事 (1) (2)	本語教室愛知! 本読み聞かせ 務事業② 活 事務事業の具 運営に	県立大学合同研修、災害サ、日本文化紹介、ホームス・ 動指標 体的な活動の指標) 携わる市民の人数 プラン(総合計画)の 指定の指標】	バイバルフェス、テイ(椙山女学園 単位 人 回	NIA集いの広場、、愛知県立大学 区分 見込 実績	学校日本語学習、HP運営、情報記 多文化共生社: R4年度 (2022) 10 5	サポート、外国人 志及びチラシ発行 会事業 R5年度 (2023) 30	、相談、 T	连度 24)	R7年度 (2025) 10	R8年度
事業を構成する事務事業の	事 (1) (2) (3)	本語教室愛知! 本読み聞かせ 務事業② 活 事務事業の具 運営に 【アクショ 多文化共生	県立大学合同研修、災害サ 、日本文化紹介、ホームス・ 動指標 体的な活動の指標) 携わる市民の人数 レプラン(総合計画)の 指定の指標] 推進事業実施数〔単年〕	バイバルフェス、 テイ(椙山女学園 単位 人	NIA集いの広場、、 変知県立大学 区分 見込 実績 見込 実績	学校日本語学習、HP運営、情報記 多文化共生社: R4年度 (2022) 10 5	サポート、外国人 志及びチラシ発行 会事業 R5年度 (2023) 30	、相談、 T	连度 24)	R7年度 (2025) 10	R8年度 (2026) 10
事業を構成する事務事業2.	事 (4 (3) (3) (3) (4) (4) (5)	本語教室愛知! 本読み聞かせ 務事業② 活異 運営に 【アクショ 多文化共生	県立大学合同研修、災害サ、日本文化紹介、ホームス・ 動指標 体的な活動の指標) 携わる市民の人数 プラン(総合計画)の 指定の指標】	バイバルフェス、 ティ(椙山女学園 単位 人 回	NIA集いの広場、、 区分 見入 東見込 実績 見込 実績	学校日本語学習 、HP運営、情報記 多文化共生社: R4年度 (2022) 10 10	サポート、外国人 表及びチラシ発行 会事業 R5年度 (2023) 30	R6年 (202	F度 24) 10	R7年度 (2025) 10	R8年度 (2026) 1

	事利	務事業③								
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
重	(4)	VER 336 r = 146			区刀	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成す	(1)	連宮に携	わる市民の人数	人	実績					
構成	(2)		プラン(総合計画)の		見込					
及する	(2)	指	定の指標】		実績					
る事務	(3)				見込					
務事業③					実績					
3	<備考∶氵	舌動の概要(R4	.年度(2022))>						今後の方向性	
									コスト投入	

事業番号 商工振興事業 11 事業名 担当部課 くらし文化部たつせがある課 決算書 第6次総合計画・基本目標 1 「やってみたい」でつながるまち 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) その他(関係計画、要綱等) 有 |長久手市商工振興事業補助金交付要綱、小規模企業等振興資金融 6-1-1 商工費 基 本情報 市内中小企業が円滑に事業を営むことができるよう、事業に対する補助や支援などを行う。 事業開始の背景、経緯等 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 民間事業者とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市内の中小企業者 事業フロー(ロジックモデル 【目的】 近隣市町村との比較も含 め、商工会の役割やその補助 事業に対する補助や支援など 地域経済の活性化を目指す の内容につき、引き続き商工 を充実させることで、商工会会 会と意見交換していく。 員数も増加する。 固性的で魅力のある商業の 振興を行う。 R3年度 R1年度 R2年度 R4年度 R5年度 区分 項目 単位 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 427 046 72 565 78.747 77 803 77.790 事業費(A) 千円 П 決算 188,792 244,208 79,702 127,466 ス ۲ 人件費(B) 千円 決算 4,368 7.469 7,563 8.167 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 193 160 251 677 87 265 135 633 事業対象の数(D) 者 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R6年度(2024)年実績 (事業の意図を反映する指標) R5年度(2023)年実績 進 商工会会員数 者 905 895 900 捗 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 状 況 長久手市の事業所得に関する税収を増やすためには、継続的に事業者に対してアド バイスをすることや事業者同士の連携が重要である。それを可能にするためには、 第36回(令和5年度)長久手市商工会通常総代会資料 商工会への加入が望ましい。 事業開始からの経緯など 商工会への補助金の増額や、中小企業振興基本条例を制定、市内事業者へ補助金を実施したりするなど、商工会や市内 事業者の要望や状況に応じた事業を実施することにより、市内事業者の活性化に努めた。 振り返り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた補助金や、ロシア・ウクライナ情勢による燃料等の価格高騰に対する補助金を 実施したことにより、社会情勢に合わせた支援を市内事業者に対して行うことができた。 令和4年度の成果 しかし、受付終了後に問合せや申請もあったことから、市内事業者への補助制度の案内が足りていない部分もあった。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 市で行っている市内事業者への支援策について、金融機関の担当者が窓口に来た際に案内をしたり、メールを用いて補助 制度の案内をするなどの積極的なアピールが必要である。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

商工会は市内事業者の経営相談の受け皿として中心的な役割を担っているため、商工会の役割やその補助の内容につき、引き続き商工

会と意見交換を行い、活動を補助していく。その結果、脱会者を上回る入会者を確保していき、毎年会員数増とする。

今後の

方向性

· 後

	事務事業①				商工会支援	車				
		 指標			R4年度	デネ R5年度	R6年	- #	R7年度	R8年度
		的な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(20		(2025)	(2026)
事		プラン(総合計画)の		見込	120	125		130	135	14
業を		定の指標】 『事業支援件数【単年】	,	実績	101					
構 成				見込	8	9		10	11	1
する	(2) セミナ	ナー参加者数	人	実績	8					
事業を構成する事務事業①				見込				_		
事業	(3)		人	実績						
D .		4年度(2022))> そ交付し、市内事業者の健 回)を実施し、21名(内長							参の方向性 スト投入	拡充 拡充 現状維持
	事務事業②									
		1 計標 (的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (20	F度 24) /	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事				見込	(2022)	(2020)			(2020)	(2020)
業 を	(1) 運営に携	続わる市民の人数	人	実績						
事業を構成する事務事業2	(2) 【アクションプ	プラン(総合計画)の		見込						
, る 虫	指	定の指標】		実績						
予 務 車	(0)			見込						
デ 業 の	(3)			実績						
٥	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>						今往	後の方向性	
								٦	スト投入	
	事務事業③									
	活動	1指標		区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
事業	(1) 運営に携	きわる市民の人数	Д	実績	(2022)	(2023)	(20	24)	(2025)	(2026)
を 構	7 — //>			見込						
事業を構成する事務事業③		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
る 事				見込						
務 事 **	(3)			実績						
表 3	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>						今往	後の方向性	
								٦	スト投入	

事業	事業番号 12 事業名 観光交流推進事業								担当部課	くらし文化部だ	こつせがある課
	第6次総合計	↑画·基本目標	5 いつでも	どこでも 誰とて	でも 広がる交流	の輪			決算書 ページ	_	
	行政改革指	針•重点課題	_						会計区分	一般会計	†
	法定受託	事務の有無	無							算区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関係	計画、要綱等)	有 第2次	 長久手市観光交	流基本計画					6-1-2 観光費	
本情報	事業開始の	背景、経緯等	愛知万博を契た。	機に長久手市(身	長久手町)観光ダ	を流推進	会議が	発足し、平成28	" 3年1月に長久	手市観光交流協会	会として独立し
		事業者との かの可能性	両者と	協働可	(両者と協働不可	の場合は	はその理由	由)			
)事業内容 活動を行うのか)		ト【活動指標】 . どうなるのか)			アウトカム【成り 象はどうなるの			アウトカム 「うなるのか)
•	【誰を対象	-]					【今後	の目標】			
事業フロー (ロジックモデル)	にのっとり、観光交流施設及を行い、観光3	客数 光交流基本計画 光交流資源の開 び行事等の紹介 8流入口の増加 また人口の増加 また人口の増加 またに取り組む。	発や観 、宣伝 を図り、	・本市への来訪者数が増加する。			₹訪する機会が	増加す	・観光施設等をより、観光客に進され、市内事げが向上し、税る。	よる消費が促 業者の売り上	
					I	R1年	F度	 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		項目		単位	区分	(20		(2020)	(2021)	(2022)	(2023)
		事業費(A)		千円	予算		22,061	18,611	18,2	21,635	21,665
コス	į				決算 21,911 18,457		18,1	59 21,403	-		
ト 推	-	人件費(B)		千円	決算 3,466 2,293		2,3	21 3,479	-		
移		ミコスト(C)=(A+		千円	決算		25,377	20,750	20,4	30 24,882	-
		事業対象の数(E R5年度は想定数	•	千人			2,566	1,680	1,8	3,150	
	対象	あたりコスト(C/ 過去3年平均値		千円			10	11		11 10	
		カム【成果指標】 の意図を反映す		単位	R4年度	【現状】	年実績	【目標①】			【目標②】 E(2024)年実績
進	市内観光者数			千人		2,798			2,850		2,900
進捗状況	(指標の設定根据	処)					(数値目	/ 標の根拠∶調査名	る、調査年などは		
沈	観光PRを行っ	た結果増加する	と思われる観光	者数を成果指標	とした。			のジブリパーク 票とした。	開園に伴う状	況を勘案し、5万人	、ずつ毎年増加
	事業開始からの経緯など 愛知万博を契機に長久手市(長久手町)観光交流推進会議が発足し、平た。また、平成31年4月には一般社団法人化し、観光交流事業を推進して									手市観光交流協:	会として独立し
振り返り	振りる。										
	改善ポイント 観光誘客及び観光消費の事業強化を行うため、適切な人員の配置をする必要がある。										
	(事業の成果を高めるための事業の方向性)										
今後											

	事務事業①				観光PR事	業					
		指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度	
-	(事務事業の具体	的な活動の指標)	. –		(2022)	(2023)	(202		(2025)	(2026)	
事業を構成する事務事業①		≀ションプラン】 報発信事業[単年]数	件	見込 実績	22	23		24	25	26	
構 成				見込							
する	(2)			実績							
事務	(0)			見込							
争業	(3)			実績							
\odot	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>						今後	後の方向性	拡充	
	長久手楓まつり2022、	. 外国人向けお土産品	パッケージ開発事業、HP改修事業						コスト投入		
	事務事業②				現光交流協会支	· 怪車 坐					
		指標		E.	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度	
		的な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(202		(2025)	(2026)	
事業		ラン(総合計画)の指定 の指標】	件	見込	11	12		13	14	15	
を構		の実施件数【累計】		実績	13						
成す	(2)			見込							
る事変				実績							
事業を構成する事務事業②	(3)			見込							
2	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>		実績					h - 1 1 1		
								今後	後の方向性 	拡充	
	モリコロパーク西ロ ⁻	での観光案内所事業	等					٦	スト投入	現状維持	
	事務事業③										
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度 (2022)	R6年 (202 ₉		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
事業	(1)			実績	(2022)	(2023)	(202	4)	(2025)	(2020)	
を 構				見込							
成する	(2)			実績							
事業を構成する事務事業③	(2)			見込							
寄事業	(3)			実績							
3	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>						今後	後の方向性		
									→ I +Л ¬		
									スト投入		

事業	番号	13	事	業名		交通安全	事業			担当部課	くらし文化部	安心安全課
	第6次総	合計画・	基本目標	4 誰もがし	きいきと安心して	暮らせるまち				決算書 ページ	_	
	行政改:	革指針•重	重点課題	_						会計	一般会計	t l
	法定领	受託事務(の有無	無							区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関係計画	、要綱等)	無						2-1-	-11 交通安全対	策費
本 情 報	事業開始	冶の背景	、経緯等	交通事故のな目的とする。	い社会の実現を	目指した取組を	₹推進し、	市民が	安全に安心して	くらすことができ	る社会実現に著	寄与することを
		民間事業 協働の可		両者	と協働可	(両者と協働不可	可の場合	はその理	由)			
	(ど	①事業 んな活動	美内容 を行うのか)		ト【活動指標】 . どうなるのか)			アウトカム【成り 象はどうなるの		④最終ア (市としてど	
事業フロー	指及び市」 ■ 【目的】	講習会、言	キャンペーン 意識を高め かさせる。		啓発事業を実 に対する意識を	施して交通安全 を高める。			故が減少する。		交通事故の少物	ない安心したま
			項目		単位	区分		年度)19)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
		事	事業費(A)		千円	予算		17,994	17,730	17,991	17,999	19,263
コス						決算		16,816	17,769	17,232	18,238	_
ト 推		J	(件費(B)		千円	決算		5,173	4,196	2,546	4,159	-
移	į .	総コス	ト(C)=(A+	-B)	千円	決算		21,989	21,965	19,778	22,397	_
	-		対象の数(C 度は想定数		人			1,816	2,000	4,039	8,447	8,000
			:りコスト(C/		千円			11	11	9	6	
		ウトカム		の数値設定	単位	R4年F	【現状】			【目標①】 E(2024)年実績		目標②】
進	人身事故	- 本 (7)心 [01日 [床/	件	1117	176	1 人4名		159	10 1/2	143
進 捗 状 況	(指標の設定	定根拠)						(数値目	 標の根拠:調査名	名、調査年など出り	()	
況	市内で発生につながる		身事故件数	の減少が、交	通安全意識を高め	か交通事故のな	いまち	前年度	人身事故件数の	の5%減少		
	事業開	始からの	経緯など		安全講習会やキ 崔できなくなり、交							
振り返り	令和	14年度の	成果		ード、コメント、特記 止していた幼児3		再開でき	きた。				
				(改善が必要な	こと、改善の方法な	に ど)						
		対善ポイン	/ ト	様々な世代に	対して啓発等を	行う。						
		(事	業の成果を高	高めるための事	業の方向性)							
今後	今後 <i>0</i> 方向性		多くの市民	に周知、啓発	できるよう、講習会	全やキャンペー:	ンを実施	する。				

	事務事業①				交通安全啓発				
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(4) (見込	400	425	450	475	50
業を構成する事務事業①	(1) 【アクションプラン]幼児交通安全教室【単年】	λ	実績	1,027				
開 式 at	(2) 人』	身事故件数	,	見込	266	252	239	227	21
う る 事	(2)	7 争以什数		実績	176				
务 事		プラン(総合計画)の	回	見込	40	40	40	40	4
美	相足の相係』又	を通安全講習会【単年】 (左度/0000)\\		実績	16				
	<備考:活動の概要(R4 幼児交通安全教室 1,02						今	後の方向性	拡充
							=	1スト投入	現状維持
	事務事業②								
	活動		 単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<u> </u>	(事務事業の具体	的な活動の指標)	+	見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績					
į		(#) A =1 		見込					
		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
务				見込					
事業を構成する事务事業の	(3)			実績					
<u>s</u>)	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))					今	後の方向性	
								1スト投入	
	事務事業③								
	→ かず来る 	指 煙			R4年度	R5年度	 R6年度	B7年度	
=		わる市民の人数		区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
ŧ	(1) 運営に携	の	Д	実績					
事業を講戏する事务事業3	(2) 【アクション】	プラン(総合計画)の		見込					
† 3	1百.	定の指標】		実績					
务	(3)			見込					
	 <備考:活動の概要(R4	年度(2022)) >		実績					
)	1717						今	後の方向性	

事業番号 巡回バス運行事業 14 事業名 担当部課 くらし文化部安心安全課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 行政改革指針·重点課題 1 経営改革の推進 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 無 その他(関係計画、要綱等) 2-1-12 巡回バス運営費 基 本情報 平成9年の住民意識調査において、住民ニーズの最も高い項目として「公共交通機関の整備や利用」が挙げられるなど、公 共交通の整備・充実が多くの市民の要望であることがわかった。このため、当時、先進自治体でその活用が模索され始めた 事業開始の背景、経緯等 "巡回バス"や"コミュニティバス"に着目し、新たな市民の足づくりに向けた検討を始めた。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 民間事業者とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 住民 【今後の目標】 事業フロー(ロジックモデル 【目的】 市内交通空白地帯の解消 乗降調査等を通じ、利用者の 公共施設の利便性の向上 移動手段の確保 動向やニーズ把捉に努め、移 ・子育て支援 N-バス乗車人数が増加す 動手段の候補の一つとなる。 ・高齢者や子ども等交通弱者 の社会参加の促進 R3年度 R1年度 R2年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2021)(2022)(2023)(2020)予算 121.916 129 938 109.701 129 381 108.597 事業費(A) 千円 П 決算 120,004 128,133 123,632 100,179 ス 7 人件費(B) 千円 決算 5.271 2.884 2.546 4,159 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 125 275 131 017 126 178 104 338 事業対象の数(D) 千人 225 153 138 133 134 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 625 489 776 848 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R6年度(2024)年実績 R8年度(2026)年実績 (事業の意図を反映する指標) 進 N-バス乗車人数 132.734 135.334 137.934 人 捗 1状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) N-バス事業として、「市内交通空白地帯の解消」「公共施設の利便性の向上」「子育 て支援」「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加の促進」の達成具合を図るための 前年度乗車人数より約1.300人/年の増加を目標とした。 定量的な指標として乗車人数が最も適正であるため 事業開始からの経緯など 平成10年7月1日から2台のNーバスが走り始め、ルート再編や料金改定を行い、現在5台のNーバスで市内を運行してい 振り返り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年度の成果 収支率の改善を図るため料金改定を行い、フリーパス券、回数券及び無料乗車券の導入を行った。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 乗降調査等を通じ、利用者の動向やニーズ把捉に努め、乗車人数を向上させる。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の · 後 方向性 次回のNーバス改編に向けて乗降調査等を通じ、利用者の動向やニーズ把捉に努めていく。

	事務事業①				巡回バス運行再	· 福車業			
		指標			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体		単位	区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事	/1) ***	四本中华同类	0	見込	6	6	6	6	
事業を構成する事務事業①	(1) 乗降記	調査実施回数	回	実績	6				
開成する	(0) [- .].	1	見込	138,000	134,034	135,334	136,634	137,93
りる も	(2) 【アクションプラ	ラン】Nーバス乗車人数	Д	実績	132,734				
す 務 車	(2)			見込					
業 介	(3)			実績					
•	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>					今1	後の方向性	改善・見直し
	令和4年4月1日料金	金改定を行い、フリー	バス券、回数を	券及び無料乗車	「券の導入を行っ	った。		スト投入	現状維持
	事務事業②								
		指標	** /±	ΕΛ	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体	的な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事 業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	見込			/		
を構				実績					
灭 す	(2) 【アクションフ 指	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込					
事業を構成する事務事業②	711.	X • 7 11 15K2		実績					
事	(3)			見込					
* 2	<備考:活動の概要(R4	+年度(2022))		実績					
							今往	後の方向性	
							=	スト投入	
		T							
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	B7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(LULL)	(2020)	(2024)	(2020)	(2020)
事業を構成する事務事業3	[ab:	プラン(総合計画)の		 見込					
戊 ナ	(2) 【アクション」 指:	定の指標】		実績					
る 事				見込					
务 事	(3)			実績					
₹ 3	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))					e 2	L 後の方向性	
							71	× • > > > 1 1 1	

事業	番号	1	5	事	業名			防犯事	集			担当部課	くらし文化部	安心安全課
	第6次	マ 総合計	画・基本	目標	4 誰	もがいき	きいきと安心して	暮らせるまち				決算書 ページ	_	
	行政	改革指统	計•重点	 課題	_							会計	 一般会計	+
	法	定受託事	事務の有	無	無							<u>区分</u> 予算	区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他	也(関係語	十画、要	綱等)	無								2-1-13 防犯費	
本情報	事業	開始の	背景、経	緯等	県安全	なまちつ		された。市として	も市、	市民、事	業者の責務や耳	双り組むべき旅	されたため、平成 策の基本事項を 。	
			事業者と の可能†			両者と	協働可	(両者と協働不可	の場合は	はその理	曲)			
	(_	事業内? 舌動を行)		②アウトプット (活動の結果、				アウトカム【成果 象はどうなるの?		④最終ア (市としてど	
事業フロー)	防ポーニーー・①にの②犯一 【	対 対 オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ カ オ オ オ カ オ オ カ カ カ オ オ カ	参加者	一ンの [§] 戦の啓	実施等 そ、地域 7団体		児童、高齢者 ス とした防犯教室			刑法犯	認知件数の減少) 防犯意識が高く ちになる。	
			項	目			単位	区分		年度)19)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
п			事業	費(A)			千円	予算		2,641 2,494	1,971 1,297	1,67 1,06	1	6,322
スト			人件	費(B)			千円	—————————————————————————————————————		4,043	3,234	3,23	4 4,159	_
推移	i	\$ \$\$	コスト(C		.B)		千円	決算		6.537	4,531	4,30	•	_
12	-		事業対象					М #		,	·		,	
			R5年度に あたりコ				, <u>, </u>			4,660	2,240	3,70		6,700
			過去3年	平均值	Ī		千円			2	2		2 2	
	中間		コム【成り)意図を			設定	単位	R4年度	【現状】			目標①】 (2024)年実績		目標②】 (2026)年実績
進	刑法犯	認知件		<i>X</i> -7/	<u> </u>		件		252	1 2 4 1 2		227		205
進 捗 状	(指標の	設定根拠	L)							(数値目	 標の根拠:調査名	、調査年など出	典)	
況		トロール している		ャンペー	-ン等を行	行い、刑	法犯認知件数を	を減らすことを		前年度	刑法犯認知件数	7の5%減少		
	事業	開始から	らの経緯	など	防犯啓	発活動·	や愛知県警の活	動により刑法犯	!認知件	-数の減:	少が続いていた	が、令和4年に	は増加した。	
振り返り	4	5和4年	度の成果	<u> </u>			ド、コメント、特記: 協会提供の啓発		活動を	行った。				
9							と、改善の方法な							
		改善力	パイント				様化、複雑化して		警察等。	と連携し	、啓発活動を進	める必要があ	5 .	
			(事業の	成果を高	高めるため	めの事業	の方向性)							
今後	今後 方向	後の 句性	より多く	の市民	に周知、	啓発で	きるよう、啓発力	7法等を検討し、	令和5年	丰度から	犯罪傾向に応じ	た啓発活動を	行う。	

	事務事業①			É	主防犯活動支	₹ 				
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年月 (2024	-	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	(4) + 01			見込	6	12		12	15	15
来 を	(1) 青パトローノ	レカー貸し出し回数	回	実績	9					
事業を構成する事務事業①		ン】自主防犯ボランティ	団体	見込	25	25		25	25	25
, る _車	7	ア団体数	四件	実績	25					
務事	(0)			見込						
業	(3)			実績						
	<備考:活動の概要(R4 青パトロールカー貸し出し							今征	後の方向性	拡充
								٦	スト投入	現状維持
	事務事業②									
	活動: (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年月 (2024		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事				見込						
来 を	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績						
事業を構成する事務事業②		プラン(総合計画)の		見込						
、 る 事	指	定の指標】		実績						
務事	(3)			見込						
業 ②				実績						
)	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>>						今征	後の方向性	
								П	スト投入	
	事務事業③									
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年月		R7年度	R8年度
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024		(2025)	(2026)
を 構	1 -43 3 -	2-1 (W) A =1 T) B		見込						
事業を構成する事務事業③	(2) 【アクションフ 指5	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
事務	(2)			見込						
事業	(3)			実績						
3	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))						今征	後の方向性	
									スト投入	

事業番号 防災事業 16 事業名 担当部課 くらし文化部安心安全課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 長久手市地域防災計画、長久手市防災士資格取得費助成事業実施要綱 その他(関係計画、要綱等) 有 2-1-14 防災費 基 本情報 災害時における市民の安全を守るため、防災力の向上を図る。 事業開始の背景、経緯等 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 事業フロー (ロジックモデル 【目的】 市民である防災士等が、市民 防災士の育成促進のため、市 に対して講習を行うことで、 防災力の向上を図るため、防災士 市内防災士等が講師を務め 「まちは自分で守る」という意 の育成促進、防災関係施設・機材の整備・点検、備蓄食料品の購入 内防災士等に防災講習会等 た防災講習会等の実施回数 識の醸成に繋がり、防災力が の講師を務めてもらう。 が増加する。 向上する。 などを行う。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 26 422 26 252 28 401 63 977 33.131 事業費(A) 千円 П 決算 26,618 37,514 24,208 62,831 ス 7 千円 人件費(B) 決算 6.164 7.608 8.263 8.184 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 32 782 45 122 32 471 71.015 事業対象の数(D) 59,500 60,000 60,300 60,500 60,800 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 [月標②] 単位 R4年度(2022)年実績 R14年度(2032)年実績 R9年度(2027)年実績 (事業の意図を反映する指標) 市内防災士等が講師を務めた防災講習会 18 20 16 等の実施回数 捗 (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 状 (指標の設定根拠) 況 市内防災士等が講師を務める防災講習会等は、市民である防災士等が講師となり、 令和4年度は、月に1回以上実施という多数の結果となった。今後も 市民に対して講習を行うものであり、その実施回数は市民の防災力向上を図ること 多数の実施を目標とする。 ができる指標であるため。 自治会等からの防災講習会の申込に対し、以前は市職員で対応していたが、令和2年度より、市内防災士等からなる団体に 事業開始からの経緯など 講師を務めてもらうことで、防災士等の活動の場となるとともに、市民が市民に対して講習する形となるため、「まちは自分で 守る」という意識の醸成にも繋がることとなった。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) ぶり返り コロナ禍であった令和2年度は3回、令和3年度は5回の実施に留まっていたが、令和4年度は月に1回以上というハイペース 令和4年度の成果 での実施となり、計16回もの実施となった。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 防災講習会等をよりよい内容とするため、講師である市内防災士等がスキルアップを図ることができるよう、市として支援し ていく必要がある。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 市内防災士等に今後も積極的に講師を務めてもらうことで、市民の防災力向上や、「まちは自分で守る」という意識の醸成に繋げていく。 今後の

また、講師である市内防災士等がスキルアップを図ることができるよう、市から防災情報を提供したり、講座や研修等を紹介したりしていく。

市内防災士等が講師を務めた防災講習会等の実施回数については、令和14年度までに20回/年度を目指す。

· 後

方向性

事務事業①				防災士育成促	進事業			
	リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	本的な活動の指標) 集わる市民の人数		見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
業 (1) (防災講習 を 市内防	会等で講師を務めた	人	実績	47	10		01	
議 ボー ボー ボー	プニッ・シスタン フションプラン】		見込	12	15		15 15	1
す (2) 防災士資 る	格取得の助成件数 【単年】	件	実績	1				
事 務			見込					
業 (1) (防災講習 市内が 構成 (2) 防災士資 事務事 (3)			実績					
く備考:活動の概要(R	4年度(2022))>					4	—┃ 今後の方向性	拡充
	を務めた市内防災士等 の実績となった。今後				て、令和4年度	は16回	コスト投入	現状維持
事務事業②								
活動		単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	本的な活動の指標)	+ IZ		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事 業 (1) 運営に <u>持</u>	携わる市民の人数	人	見込 					
z 構 龙			見込					
す (2) 【アクション る 指	プラン(総合計画)の 『定の指標】		実績					
事			見込					
事業 (1) 運営に では では では では では では では では では では			実績					
2) <備考:活動の概要(R	4年度(2022))					ی	<u> </u>	
							712-77111	
							コスト投入	
事務事業③								
活動			区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
事 (1) 運営に禁	携わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
を構	ポニン.(松入き) (本)		見込					
事業を構成する 事務 事業 (3) (3) (3) (3) (3) (3)	プラン(総合計画)の 旨定の指標】		実績					
る 事			見込					
務 (3) 事 ***			実績					
える <備考:活動の概要(R	4年度(2022))>					4		

事業	番号	17	事第	美名		自	主防災活動	支援事	業		担当	部課	くらし文化部	安心安全課
	第6次総合計	†画·基本	目標	4 誰	もがいき	きいきと安心して	暮らせるまち				決算 ペ-		_	
	行政改革指	針•重点	課題	_							会計 区分		一般会計	ŀ
	法定受託	事務の有	無	無								予算	区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関係	計画、要	綱等)	無									2-1-14 防災費	
本情報	事業開始の	背景、経	緯等	地域防	災力の	向上を図るため	、自治会等、地均	或の自3	主防災活	動を支援する。				
	市民·民間 連携協働				両者と	協働可	(両者と協働不可	の場合	まその理	由)				
		事業内 活動を行					ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成果 象はどうなるの:			④最終ア (市としてど	'ウトカム うなるのか)
事業フロー (ロジックモデル)	●【誰を対象! 自主防災 目的】 目的】 自主防炎 活動を支援 	∄織 ∄織の設₃	立や、設	立後の		自主防災講習: 援する。 また、一定の防 してされた自主場合に 立き防災倉庫と る。	5災活動を実施 組織として設 こは、市から自		市内に	の目標】 おける自主防災 率が上昇する。	組織		大規模災害時(主防災活動が) になる。	
		項	目			単位	区分		F度)19)	R2年度 (2020)	R3年 (20		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
п		事業	費(A)			千円	予算 		1,028	2,226 1,819		264 214	264 306	3,492
スト		人件:	書(B)			千円	決算		6,471	5.837		8.223	8.142	_
推 移	総	ピコスト(C	s)=(A+	В)		千円	決算		7,360	7,656		8,437	8,448	_
		事業対象 R5年度に				組織			79	81		81	81	83
		える であたりコ 過去3年	スト(C/	D)の		千円			111	94		97	101	
	中間アウト		果指標】	の数値記	設定	単位	R4年度	【現状】			目標①			【目標②】 度(2032)年実績
進	自主防災組織					%		73	1242		78	1 7 12		83
拨 状 況	(指標の設定根 市内全自治会		自主防	災組織の	の設立 <i>t</i>	 が、地域防災力(の向上に繋がる	ため		標の根拠:調査名 、自主防災組織				ことを目標とし
	事業開始か	らの経緯		におい	て自主院	方災組織が設立	災倉庫・資機材 され、市から倉原 時点における地	車•資機	材を貸与	すしている。 なお				
振り返り	令和4年	度の成身		令和4年	F度に2°		事項など) 「極的に自主防災 自主防災倉庫・資				れら2つ	の自治会	会について、令和	105年度に自主
9						と、改善の方法な		ביואגיויז כי	. 					
	改善7	ポイント					な」という目標を達 防災活動が継続							あることから、
		(事業の	成果を高	あるため	の事業	の方向性)								
今後	今後の 方向性	引き続き	き、市内	全自治:	会におけ	ける自主防災組:	織の設立を促し	、自主队	5災倉庫	・資機材の貸与	を進めて	ていく。		

事務事業①			É	目主防災活動支	援事業			
	! 指標 s的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
運営に携	制な活動の指標がある。		見込	(2022)	(2023)	(2024)	, ,	(2020)
* (1) (防災講習: * 市内防	会等で講師を務めた 災士等の人数)	人	実績	47				
	ションプラン】		見込	58	59	60	61	6
(2) 自主防災	倉庫の設置地区数 【累計】	地区	実績	57				
サ 次 直 (2)			見込					
事 (3) 美 (3)			実績					
<備考: 沽動の概要(R4			+ > n+ //		16718 184		後の方向性	拡充
コロナ禍ということもあり	舌動に取り組んだ地区に、 、倉庫設置等できた地区 CR5年度に倉庫設置等す	はなかった。しか	目主防災倉庫設 し、R4年度には2	置・資機材の貸与 地区が積極的に	となるが、過去2 防災活動に取り	組んだ	スト投入	現状維持
ため、この2地区につい	CNU中戊に启熚改直守り	る / 注 Cのる。					スト投入	近 1八雅竹
事務事業②								
) 指標 -w*な活動の指揮\	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (2025)	R8年度
	的な活動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
(1) 運営に携	見れる市民の人数	人	実績					
【アクション	プラン(総合計画)の		見込					
(2) 「アクション 指	定の指標】		実績					
度 成 大 (2) 【アクション 指 (3)			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))					今往	後の方向性	
						_	スト投入	
							ヘト投入	
事務事業③								
活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度	R6年度	R7年度 (2025)	R8年度
運営に携	続わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2023)	(2026)
(1) 運営に持 (2) 【アクション 指 (3) (3) (備考:活動の概要(R4)	プラン(総合計画)の		見込					
戏 (2) 【アクション 指	定の指標】		実績					
文			見込					
务 [4] [4]			実績					
く備考:活動の概要(R4	1年度(2022)) >					今往	後の方向性	

事業	番号	18	8	事美	業名		環	境基本	計画	隹進事	業		担当	部課	くらし文化	部環境課
	第6次	総合計	画·基本	目標	3 み	んなでま	未来へつなぐ 綺	はまちの	の宝物				決算 ペ-		_	
	行政	改革指針	計·重点	課題	_								会計区分		一般会計	-
	法5	定受託事	務の有	無	無									予算[区分(款 - 項 -	- 目)
基本	その他	2(関係言	†画、要	綱等)	有	長久手	市環境基本条例	列、第4次	長久手	環境基	本計画			4-1-3 I	環境基本計画推	進事業
本 情 報	事業	開始の背	背景、経	緯等	令和34	∓3月に	策定した第4次	長久手市	ī環境基	本計画	の目標を	を達成するため、	事業を	実施する	5.	
		民·民間 携協働				両者と	協働可	(両者と	岛働不可	の場合は	はその理由	由)				
	(① (どんな)	事業内 舌動を行)		②アウトプット (活動の結果、					アウトカム【成果 象はどうなるの			④最終ア (市としてど・	
事業フロー (ロジックモデル)	市 【 4素と域り18年	長久手市 くらしと地域ではいくり」「安全 ままでの ままでの重要を「重要を「重要を「重要を「重要を」	環境基と域では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場	り」「循環 共生のい のくらし の施策を こ重点的	間型のく くらしと と地域 を行う。 」に取り		4つの基本方金が「見える化」さ発的に行動でき 備される。	れ、市国	きが自		人と地均環境に	・の目標】 或がつながり、自 こだわるまちをE する人々が増え	指し		くらしの安心や値 豊かさを実感で 環境を通じて、1 界とつながる物 る。	きる。 也域、自然、世
			項	目			単位	区	分		F度 19)	R2年度 (2020)	R3年 (20)		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
⊒			事業	費(A)			千円	予: 決:			11,246	8,246 2,178		6,397	19,522 10,891	5,399
スト			人件	費(B)			千円	決	······ 算		6,883	6,644		6,671	6,954	_
推 移		総:	コスト(0	;)=(A+	В)		千円	決	 算		17,232	8,822		13,046	17,845	_
	-			東の数(D			人				58,545	59,499		60,035	60,352	60,770
		対象	あたりコ	<u>ま想定数</u> スト(C/	(D)の		千円				0	0		0	0	
	中間	アウトカ		F平均值 果指標】		设定	単位			【現状】			目標①】		_	目標②】
進	エコチ 計】	<u>(事業の</u> ヤレンシ		<u>反映す</u> Dエント		【累	件		R4年度	610	年実績	R5年度	810	年実績	R7年度	1210
捗 状 況	第4次環 いる。 市民が自	発的に理	ト画におい 環境配慮	行動を行	iうための	きっかけ	 キーワードを、「人 作りとして令和4 ² 数を成果指標と記	丰度から「				標の根拠:調査名 0件の参加を見る		など出典)	
	事業	開始から	の経緯	など			「環境基本計画 こ密着しているこ				た。お扱	支露目会と して長	長久手市	の気象	についての講演	会実施し、環
振り返り	Ŷ	3和4年原	度の成績		自家用	車を使月	ド、コメント、特記 用しない通勤やイ 、、延べ610人の	省エネを			挑戦し、	達成報酬として	環境に	寄与する	特典を付与する	becoチャレン
		改善术	パント		20304	年までの	と、改善の方法な)取組のキーワー まされていないた	ードを「人)意義や効果を
			(事業の	成果を高	めるため	の事業の	の方向性)									
今後	今後 方向		公共施	設におり	ける使用	電力量	の見える化を令	和6年度	までに	実施する	.					

	事務事業①			玛	環境基本計画推	推進事業			
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		ションプラン】 E等に関するイベント参	Д	見込	2,357	2,607	2,707	2,807	2,907
事業を構成する事務事業①	加	者【累計】		実績 	1,676	2	2	2	2
成する	(2) 環境審議会	の開催回数【単年】		実績	2	2	2	2	2
事務事	(2)			見込					
業 ①	(3) 	任度(2022) \		実績					
	\ 開 为 . 冶 到 Ø (N 4	中央(2022)) /					今後	後の方向性	改善・見直し
	環境配慮行動を促進す	^ト るため、「ながくてe	coチャレンジ2	022」を実施し	、610人の参加:	があった。	=	スト投入	現状維持
	事務事業①			地球温	暖化対策設備	導入促進事業			
		指標的な活動の指揮)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	【アク	ションプラン】		見込	40	50	60	70	80
業を構	(1) スマートハウス	ス化に対する支援件数 【累計】	λ	実績	39				
事業を構成する事務事業②		ちづくりアンケート回収 ・数【累計】	件	見込	10	20	30	40	50
る事務	П	· 奴【术印】		実績	8				
事業	(3)			見込 実績					
2	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>		入版			△ 22	後の方向性	改善・見直し
	地球温暖化対策設備を	· 在有した住宅を促進する	るため、補助制	度を実施してお	おり、令和4年度	ぎは34人に補助		文の万円 圧	以音・元直し
	た。 環境配慮行動を促進す	「るため、「ながくてe	coチャレンジ2	022」を実施し	、610人の参加:	があった。		スト投入	現状維持
	事務事業②				自然環境保全	全事業			
	活動 (事務事業の具体	指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	見込	5	10	15	20	25
を構出	7 — (実績	7	4	4		
成する	(2) 二ノ池湿地群係	ションプラン】 保全管理計画推進協議 開催【単年】		見込 実績	1	1	1	1	1
事務	【アク	ションプラン】		見込	180	200	220	240	260
業を構成する事務事業③	加者数(及び駆除イベントの参 (延べ数)【累計】	Д	実績	341				
	<備考:活動の概要(R4 令和5年3月7日二ノ池湿	年度(2022))> 地群保全管理計画推進	協議会を開催した	<u> </u>			今後	後の方向性	改善・見直し
								スト投入	
	環境学習会(東小4年生ポストサミット参加者								現状維持
					事務事業②の	D続き			現状維持
	ポストサミット参加者	至 21人	単位	区分	事務事業②0 R4年度 (2022)	D続き R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	現状維持 R8年度 (2026)
事	ポストサミット参加者 事務事業③ 活動 【アク	者 21人 指標 ションプラン】		区分	R4年度	R5年度			R8年度
事業を構	ポストサミット参加者 事務事業③ 活動 【アク	指標	単位		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	(2024)	(2025)	R8年度 (2026)
事業を構成する	ポストサミット参加者 事務事業③ 活動 【アク	者 21人 指標 ションプラン】 への市民参加者数【単		見込 実績	R4年度 (2022) 一	R5年度 (2023)	(2024)	(2025)	R8年度 (2026)
事業を構成する事務	ポストサミット参加者 事務事業③ 活動 【アク	者 21人 指標 ションプラン】 への市民参加者数【単		見込 実績 見込 実績	R4年度 (2022) 一	R5年度 (2023)	(2024)	(2025)	R8年度 (2026)
事業を構成する事務事業	ポストサミット参加者 事務事業③ 活動 【アク	者 21人 指標 ションプラン】 への市民参加者数【単		見込 実績	R4年度 (2022) 一	R5年度 (2023)	(2024)	(2025)	R8年度 (2026)
事業を構成する事務事業③	ポストサミット参加者 事務事業③ 活動 【アク	者 21人 指標 ションプラン】 への市民参加者数【単 年】		見込 実績 見込 実績 見込	R4年度 (2022) 一	R5年度 (2023)	(2024)	(2025)	R8年度 (2026)

事業	番号 19 事業名 清掃事業 担当部 第6次総合計画・基本目標 3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物 決算書 ページ							部課	くらし文化	部環境課				
	第6%	欠総合計画・基本	本目標	3 <i>H</i>	んなでき	未来へつなぐ 緑	はまちの宝物						_	
	行政	では、一切では、	課題	_							会計区分		一般会計	t
	法	定受託事務の有	有無	無								予算區	区分(款 一 項 -	- 目)
基	その作	也(関係計画、要	長綱等)	有	一般廃棄	物処理基本計画、生	ごみ処理機等購入	費補助金3	を付要綱				4-2-1 清掃費	
本情報	事業	開始の背景、総	圣緯等	昭和42	!年もえる	るごみ収集開始、								
		民・民間事業者 連携協働の可能		民間	事業者	とのみ協働可	(両者と協働不可	「の場合(はその理(由)				
		①事業内(どんな活動を行)		②アウトプット (活動の結果、	ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成界 象はどうなるの			④最終ア (市としてど・	
事業フロー	市民 目記 塵施氏 かにかん	、資源の収集 対する業務を でみ減量や分	そ行うとと	:もに、 .やす		一般廃棄物処の実施施策、 み減量・収集 ンの17の取組	アクションプラ		市民のみその	の目標】 資源分別意識 ものの発生抑 成される。			市民1人ひとり する課題につ として捉え、分 発生抑制を当 として取り組む	いて自分ごと ト別やごみの たり前のこと
		項	目		-	単位	区分		F度 19)	R2年度 (2020)	R3年 (20		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
							予算	,	152,805	162,867	•	161,219	, ,	249,609
J		事業	費(A)			千円			150,389	154,483		142,924	167,088	_
スト			-費(B)			千円	決算		9,357	8,916		8,729	·	_
推 移		総コスト((C)=(A+	B)		千円	決算		159,746	163,399		151,653	175,855	-
		事業対象 (R5年度	象の数(D は想定数			人			58,545	59,499		60,035	60,352	60,770
		対象あたり		(D)の		千円			3	3		3	3	
	中間	引アウトカム【成 (事業の意図を			設定	単位	R4年度	【現状】			目標①		_	目標②】 度(2033)年実績
進 捗 状	家庭系	1人1日あたり	のごみ排	非出量		g		484			検討中			検討中
状 況		設定根拠)	゚゙みの減	量につた	いげるた	め、市民1人あた	-りのごみ排出量	遣とした 。		標の根拠:調査名 棄物処理基本記				て設定。
l e_	事業	開始からの経絡		策を展開理基本記 混入して もえるご	が別品目の細分化、さまざまな媒体や機会を用いた情報提供、ごみ発生抑制のための支援など、古くからごみ減量に向けてさまざまな施 長を展開し、平成28年度までは順調にごみは減量していたが、それ以降減量は鈍化傾向となり、令和2年度当時は長久手市一般廃棄物処 見基本計画に定める令和5年度の目標からは約15%乖離があった。もえるごみ組成調査を実施したところ約30%が本来資源であるものが 入していたこともあり、目標を達成するためには市民の資源への分別やごみそのものの減量行動を促す必要があるため、令和3年度に えるごみ袋増額の検討を始めていた。									
振り返り	4	令和4年度の成	果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度から検討していたもえるごみ袋増額の方針をいったん見直し、市民がごみ減量に取り組みやすい環境づくりを市が先行して実施することとした。増額とともに併せて実施する予定だった17の取組を「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」として策定した。										
		改善ポイント		かねてが への広 にしてい	からの課 報するたい。 いきたい。	こと、改善の方法な 題であった市民へ め更なる啓発方法	の啓発について、							
		(事業の)成果を高	めるため	かの事業	の方向性)								

今後

今後の 方向性 市民のごみ減量意識や分別意識を高め、ごみ減量目標を達成するため、令和4年度に策定した「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」の17の取組や、令和5年度中に策定する長久手市一般廃棄物処理基本計画に位置づける施策を進め、毎年度ごみの減量状況を確認する。基本計画に定める令和6年度末のもえるごみ排出目標に減量が達成できなかった場合は、もえるごみ袋増額を再度提案することとし、目標が達成できた場合は継続的にごみ減量状況を確認し、目標から乖離するような状況になれば、もえるごみ袋増額を検討する。

		•								
	事務事業①				循環型社会推	進事業				
		指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
事業	(1) ごみの組成調	査におけるもえるごみ	%	見込	30.0	28.0	26.0	24.0	22.0	
・ 業 を 構	くい 袋に含まれる資	資源混入率	90	実績	32.4					
成す	【アクションプラ (2) 1人1日あたりの	ン】)ごみ排出量(家庭系	_	見込	645	633	621	609	597	
る	及び事業系)【』		g	実績	687					
事務事	(3) 分別講座・環境	。 5学習等出前講座開催	6	見込	2	2	2	2	2	
事 業 ①	数		回	実績	5					
\odot		4年度(2022))> 集アクションプランを策定 て「充電5品目」の回収を		説明会を開催			今往	後の方向性	拡充	
	・市が洞小学校で小学4:	信」を発刊するとともに毎年生全員にごみ分別出前 ペットボトル水平リサイク	講座を開催				٦	スト投入	拡充	
	事務事業②									
	活動	指標	224 /.L	ΕΛ	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	

	事	務事業②									
		活動]指標	27.71	- 0	R4年度	R5年度	R6年	度	R7年度	R8年度
	(事	野務事業の具体	的な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(20)	24)	(2025)	(2026)
事	(1)	海尚 に推	まわる市民の 1 粉	Д	見込						
事業を構成	(1)	運営に携わる市民の人数 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】	577句目氏の人数	^	実績						
成す	(2)	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】			見込						
する事	(2)				実績						
務事	(3)	相定の相保』			見込						
務事業2					実績						
-0	<備考:	活動の概要(R4	1年度(2022))						今往	後の方向性	
コスト投入								スト投入			

	事務事業	(3)									
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年	度	R7年度	R8年度
事	(4)	m.w 146			区刀	(2022)	(2023)	(202	(4)	(2025)	(2026)
業	(1) 道	連宮に携	わる市民の人数	人	実績						
を構成	(2) 【アク	クションフ	プラン(総合計画)の		見込						
及する	(2)	指第	定の指標】		実績						
事	(3)				見込						
務事業3					実績						
3	<備考:活動の	概要(R4	年度(2022))>						今往	後の方向性	
										スト投入	

事業	# 第6次総合計画・基本目標 3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物				担当部	『課	くらし文化	部環境課								
	第6次	7総合計	·画·基本	目標	3 <i>H</i>	んなでき	未来へつなぐ 絹	はまちの	つ宝物				決算		_	
	行政	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一											会計区分		一般会計	+
	法	定受託事	事務の有	無	無									予算区	区分(款 一 項 -	- 目)
基	その他	也(関係	計画、要	綱等)	有	一般廃棄	棄物処理基本計画 さも服・図書リユー	ī、清掃セ: ス事業実施	ンターリ. 施要領	ユース掲	示板運営	要領、清掃セン			4-2-1 清掃費	
本 情 報	事業	開始の	背景、経	緯等			定の第4次長久 、平成29年度出	張ながく	てエコノ	ヽウス閉	設、令和	ロ4年度西部及び				一(ながくてエ
			事業者と の可能			両者と	協働可	(両者と協	協働不可	の場合し	はその理₿	曲)				
	(_	事業内 活動を行)		②アウトプット (活動の結果、					アウトカム【成果 象はどうなるの:			④最終ア (市としてど・	*
事業フロー		り】 に4か所 ーを運? ョンでの リユース ・行うこ	た設置と で で で で に で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	源回収 回収及で での不見 書等)の 民が資	ス が再資 用品 の回収 源を		資源回収量がは減量し、資流がる。				市民のみその	の目標】 資源分別意識 ものの発生抑 成される。			市民1人ひとり する課題につ として捉え、分 発生抑制を当 として取り組む	いて自分ごと ^別やごみの たり前のこと
	!	項目					単位	区分	分		F度 (19)	R2年度 (2020)	R3年) (202 ⁻		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
			事業	弗(4)			千円	予算			9,722	9,829	1	10,279	11,432	12,846
	İ		尹未:	貝(A)			713	決算			9,704	9,454	1	10,373	11,883	_
ス ト 推			人件:	費(B)			千円	決算			7,070	6,733		6,632	6,703	_
移	į	総	コスト(C	s)=(A+	B)		千円	決算	算		16,774	16,187	1	17,005	18,586	_
	-		事業対象 R5年度に			人				186,514		178,059	212,105		214,655	220,000
		対象	あたりコ 過去3年	スト(C/	D)の		千円				0	0		0	0	
	中間	• • • • •	カム【成り D意図を				単位			【現状】 〔2022〕	年実績		目標①】	F実績		目標②】 度(2028)年実績
進捗状			資源	化率			%			20.9			26.9			30.0
状 況	(指標の	設定根拠	L)								(数値目	標の根拠∶調査名	、調査年を	など出典	1)	
	資源を	回収する	ることで、	ごみの	減量に	つながる					資源回り	収量÷ごみ排出	量			
	事業	事業開始からの経緯など しやすい環 エコハウスを が定着した。				↑環境を勢 フスを増く した。	がくてエコハウスを 整えるため、平成2 やし、市内に市が管	9年度には 管理運営す	は長湫南 「るエコノ	部地域	こ出張なた	がくてエコハウス、	令和4年度	こには西	i部と東部にそれる	ぞれ出張ながくて
振り返り	令和4年度の成果 令和4年度 が管理運営					活動のエピソード、コメント、特記事項など) 8 和4年度には西小校区共生ステーション駐車場、福祉の家駐車場にそれぞれ出張ながくてエコハウスを増やし、市内にお 8 管理運営するエコハウスを合計で4か所とした。その結果、利用者数も徐々に増え、市民の資源化意識が定着した。										
		改善术	ポイント		今後も	資源回収	と、改善の方法な 収拠点を増やし、 営できるような資	市民が						運営で	きる数には限界	があるため、
							の方向性)									
今後	市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者が増加していることから出張エコハウスを開設したが、今後は市や 今後の 大向性 大向性 大向性 ボスクリ協議会や連合会・区会とも連携し、各小学校区に1か所以上、地域による資源回収の仕組みを作り、地域主体のごみの減量化・資源化を推進していきたい。また地域拠点に人が集まることにより、会話やつながりが生まれ、本市の地域コミュニティ強化につなげていきたい。															

	事務事業①				資源回収拠点	事業				
			単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事		わる市民の人数		見込	48	48		96	144	19
未 を 構	(1) 理呂に焼	がの言葉の人数		実績	0					
成 す		ションプラン】 ションプラン】 回収拠点設置数【累計】	箇所	見込	4	4		4	4	
る 事	川による貝派に	3.似灰点改巨数【糸门】		実績	4					
事業を構成する事務事業①	(3) 地域による資	資源回収拠点設置数	箇所	見込 実績	0	1		2	3	
1)	<備考:活動の概要(R4 ・西部と東部に出張なが	年度(2022)) > くてエコハウスを設置し、ī	市が管理運営す		を合計4か所とした	:.			後の方向性 スト投入	改善·見直l
	事務事業②									
	活動 活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事				見込	(EGEE)	(2020)	(202	"/	(2020)	(2020)
耒 を 構	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績						
成 す		プラン(総合計画)の 定の指標】		見込						
る事	打 目。	上の11保』		実績						
事業を構成する事務事業2	(3)			見込 実績						
2	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))		34,0					後の方向性	
									スト投入	
	事務事業③									
	活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業な	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績						
構	(2) 【アクションフ	プラン(総合計画)の		見込						
する	指	定の指標】		実績						
事業を構求する事務事業3	(3)			見込						
業 3	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))		実績				<u></u> ۵	4の士良州	
								77	後の方向性 	
								٦	スト投入	

生涯学習推進事業 事業番号 21 事業名 担当部課 くらし文化部生涯学習課 決算書 第6次総合計画・基本目標 1 「やってみたい」でつながるまち 会計 行政改革指針 重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) 社会教育法、第2次長久手市生涯学習基本構想、ながくて・学び・アイ講座運 有 その他(関係計画、要綱等) 9-4-1 社会教育総務費 基 本情報 社会教育法に基づき社会教育を奨励するため、学習意欲を気軽に持つきっかけとなる公民館講座や市民が互いに学び合う 事業開始の背景、経緯等 ことができるながくて・学び・アイ講座を開講している。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 4最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【今後の目標】 【誰を対象に】 市内在住・在勤・在学の人(講座に よっては市外の人も応募可) 【目的】 事ジ 業ッ 自立した活動(育成サークル 地域人材の育成、地域での学 等)に参加した市民が、活動 び合い、仲間づくり・居場所づく 高い満足度を維持すること クモデル 講座終了後も個人の学習活 を継続し、やがて地域人材と りのきっかけとして、市が公民館 で、市民の学習意欲が満たさ 動の継続が継続され、自立し なり、地域での学び合いに貢 講座をとおして豊かな学習機会 れる。また、講座から発生した た活動(育成サークル等)が 献する 自立した活動(育成サークル等)に参加することにより、市 を提供し、市民が学習意欲を高 また、仲間づくり・居場所づくり 立ち上がる。 めたり、生きがいを感じたりでき が、市民主体のまちづくりへと 民が居場所や生きがいを見つ るような状態にする。 発展する。 ける。 【内容】 公民館講座の開講、講座終了 後の学習活動の支援 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)1818 751 予算 1 689 744 751 事業費(A) 千円 決算 1.110 397 321 410 ス ۲ 人件費(B) 千円 決算 4,218 3,180 3,594 2.269 推 移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 5,328 3 57 3,915 2 679 事業対象の数(D) 人 458 294 131 191 300 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 12 千円 12 18 19 過去3年平均值 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 (事業の意図を反映する指標) R4年度(2022)年実績 R6年度(2024)年実績 R8年度(2026)年実績 全講座アンケートの平均満足度 % 86.20% 80% 80% 捗)状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 満足度は、受講生の学習意欲を満たした指標であり、満足感を得ることが、今後の 受講者アンケートのコメントから講座満足度80%は、受講した講座に 自主的な継続学習や生きがいにつながっていくため 満足したか否かの基準値として、読み取ることができるため 第2次長久手市生涯学習基本構想に基づき、市民が学習意欲を持つきっかけとなる公民館講座を開講している。また、講座 終了後は、市民による自主的な学習及び自主学習サークル(育成サークル)の立ち上げの支援を行っている。公民館講座で 事業開始からの経緯など は、市内で活動する団体に運営を依頼する協働主催講座と、講師も受講生と共に学び合う「ながくて・学び・アイ講座」の2種 類を軸として展開している。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り返り 令和4年中のながくて・学び・アイ講座については、当初公民館での開催を予定していたが、公民館の新型コロナウイルスワクチン集 令和4年度の成果 団接種会場としての期間が延長されたため、急きょ他の公共施設と調整し、会場を確保した。令和5年1月から公民館の一般利用を 再開し、会場を公民館に戻した。ながくて・学び・アイ講座は、全体の6割を超える14講座が開講し、そのうち4割を超える6つの講座 から育成サークルが立ち上がった。 (改善が必要なこと、改善の方法など) ながくて・学び・アイ講座は、受講希望者が参加しやすく、魅力が伝わるような発信方法を工夫する必要があるので、特に、 改善ポイント 講座タイトルや内容、対象者を講師と相談しながら進めるように見直す。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 任意団体との協働主催講座では、より多くの市民に参加してもらうために、受講生のアンケート結果を随時反映させて、講座名称、講座内容、 今後の

今後

方向性

開催時間帯等を設定する。また、ながくて・学び・アイ講座では、育成サークルの設立支援を行い、講座終了後の受講生の継続的な学習活動 につなげていく。育成サークルは、令和5年度から令和6年度までに10以上成立させることを目標とする。学習の場の自発的な活性化を促進 することにより、地域住民同士がつながるまちづくりを目指す。

事務事業①				生涯学習推進	事業				
	動指標 操体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	売ります。	Д	見込	25		(=== 1,	35	35	
E	再即入奴 /		実績	18					
【アク (2) 公民:	アションプラン】 館講座開講数	講座	見込	10			20	20	20
	【単年】		実績	16					
(1) 運営に持 (1) 運営に持 (2) 公民: (3)			見込 						
く備考:活動の概要 R4年度までは、公民	館が新型コロナウイルスワ			こ伴う講座の会場	易変更などを考慮	し、受	今後	後の方向性	改善・見直し
講有剱及ひ講座開講	ち数の見込数値を減らして	U120						スト投入	現状維持
事務事業②									
	動指標	₩ / T	EA	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度	R8年度
	体的な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(2024)		(2025)	(2026)
(1) 運営に携	売わる市民の人数	人	見込			/			
			実績						
	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込						
			実績						
(1) 運営に持(2) 【アクション 指(3)			見込 実績						
<備考∶活動の概要	(R4年度(2022))>						今後	 後の方向性	
								スト投入	
+ 76 + All (A)									
事務事業③	動指標			R4年度	R5年度	R6年度	: [R7年度	R8年度
	制用保 制力る市民の人数	Д	区分	(2022)	(2023)	(2024)		(2025)	(2026)
(1) 建当[-])	547の日氏の人致		実績						
(2) 【アクション	プラン(総合計画)の 記定の指標】		見込						
(1) 運営に持 (2) 【アクション 指 (3) (3) (3)	ルベンガロ行示』		実績						
(3)			見込						
- - <備考:活動の概要	(R4年度(2022))>		実績						
							今後	後の方向性	
							٦.	スト投入	

事業番号 事業名 文化の家企画事業 担当部課 22 くらし文化部生涯学習課 決算書 第6次総合計画・基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 会計 行政改革指針,重点課題 7 市民参加の仕組みづくり 一般会計 区分 法定受託事務の有無 予算区分(款 一 項 一 目) 無 ながくて未来図(長久手市第6次総合計画)(H31.3) その他(関係計画,要綱等) 有 9-4-5 文化の家施設費 基 長久手市文化芸術マスタープラン(H30.3) 个情報 本市は、歴史の中で培われ継承・発展してきた風土や伝統文化を持ち、近隣含め、大学が多数存在し、地域には学生や芸術 家、専門家が多数在住している。地域の特性と市民一人ひとりの個性を活かしつつ、人々が協力して新たな魅力ある文化芸 術の創造を図る。豊かな地域社会が織りなす質の高い生活空間を創出することにより、市民がゆとりと潤いに満ち、生き生き 事業開始の背景、経緯等 ときらめいているまちを目指す。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか) ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ①事業内容 ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民、アーティスト 事業フロージックモデル 市民が芸術体験を通して、豊 文化芸術マスタープランに メディアや新聞等に取り上げら かな心を育み、未来を生きる 【目的】 沿った多様な事業(公演鑑賞 れる機会を増加させ、掲載数 楽しみと希望を見いだしてい 市の文化芸術政策の基本理念『と 事業や、講座、アウトリーチ を維持することで、事業を知る く。また芸術活動を通した市民 もに創る きらめく長久手』を実現す 等)の開催。市民に多様な芸 機会を創出し続ける。事業を 活動に参加することで、人と人 るために、文化芸術マスタープラン 術体験の機会を提供する場が 知った市民が、芸術体験に参 の絆を深め、誰もが孤立しな の3つの基本方針のもと、6つの事 増加する。 加する。また市民の文化の家 い社会が形成されていく。 業に取り組む。事業については、重 事業への関心が高まる。 点的な5つの施策を定め、今計画 期間において特に力を入れて取り 組む。これらの取組を基礎にして さまざまな分野に文化芸術を活用 していく。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 項目 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)38,003 38,106 予算 44.020 40.288 35.431 事業費(A) 千円 決算 33,091 21,925 24,031 35,078 ス 人件費(B) 千円 決算 37.018 27,600 32.517 35.693 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決質 70 109 49 525 56 548 70 771 事業対象の数(D) 人 37,044 5,152 23,356 30,000 37,000 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均值 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R6年度(2024)年実績 R8年度(2026)年実績 (事業の意図を反映する指標) 新聞等への掲載回数 回 52 44 58 捗 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典))状況 算出方法 事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値 ・数値目標の根拠 を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため。 新聞上版の対象となる公演数が例年約50事業あり、各事業のプレスリリースを行っている。少なくとも・ 事業一社に掲載されることを目標としている。 文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となってほしい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地 事業開始からの経緯など 域の文化を発信する「わが家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文 化芸術マスタープランに基づき事業を企画、展開させてきた。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振 返 令和4年度の成果 コロナ禍以降、来場者が落ち込んでいたが、令和4年度は、一定の集客を取り戻すことができた。 ij (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 広報が行き届かずに、事業終了後に開催を知ったなどという声をいただいたため、広報手段に課題を残している。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 長久手市文化の家の事業の内容、クオリティは非常に高く、オリジナル公演を多数創出して、アーティストとの協働も実現している。しかしながらこの価値の大きな公演への来場者数については、まだ集客は可能と思われる。このため、広い世代にアプローチができるように、SNSや、若い世代に通用する方法による広報手段を取り入れ、さらなる集客へとつなげていく。令和8年度までに文化の家LINE登録者数1000人

を目指してPRしていく。また長久手市が抱える課題に対して、文化芸術をうまく活用した事業を他課と連携して開催しアプローチを行っていく。

今後の

方向性

後

	事務事業①				芸術鑑賞	事業					
		指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		R8年度 (2026)
事業		見れる市民の人数	\forall	見込	30	30		35		40	45
業を構	(文化の家フ	(文化の家フレンズスタッフの人数)		実績	28						
成す	(2) 【アクションプラ	【アクションプラン】文化の家での学校 鑑賞会開催回数		見込	2	2		2		2	2
っる 事	鑑賞	全開催回数	回	実績	1						
務事	(2)			見込							
業 ①	(3)			実績							
\odot		4年度(2022))> ・に基づきさまざまな事業? が、それでも着実に来場者						今征	後の方向性		改善・見直し
	なった。学校鑑賞会には	た、それでも看美に未場合 は東京大学先端科学技術 してもらうことができたが1	研究センター特任	E教授のヴァイオ				J	スト投入		現状維持
	事務事業②				アートスクール	レ事業					
	活動	指標	出仕	反公	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度		R8年度

=	事務事業②				アートスクール	レ事業			
(活動 (事務事業の具体	指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	運営に携	運営に携わる市民の人数 (市内在住講師の人数)	\downarrow	見込	5	5	!	5	5
(1)	(市内在	住講師の人数)	~	実績	2				
(2)	「マクシーン	プラン】新規受講人数		見込	100	100	100	100	100
(2)	【アクションフ	プン】制税文調入数	Д	実績	42				
(3)		平井本	%	見込	100	100	100	100	100
(3)		え き 講率	%0	実績	66				
	き:活動の概要(R4			o F # 0 500 / 10 3	中华 同华山		今	後の方向性	改善・見直し
		:症に係る規制等が緩和。 一新するため、R4年度に					:	コスト投入	現状維持

	事務事業②			文	化芸術アウトル	リーチ事業					
	活	動指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年	度	R7年度	R8年度	
	(事務事業の具	体的な活動の指標)	平位	四月	(2022)	(2023)	(202	4)	(2025)	(2026)	
事 業		携わる市民の人数 在学のアウトリーチ出演		見込	5	5		5	5		5
を構		ティストの人数)	^	実績	4						
成す	(2) 【アクション	プラン】体験型の活動数		見込	6	6		6	6		6
,る 事	(2) (7) 7) 3)	ノフプ 体験主の石 勤奴	П	実績	1						
務事	(3)			見込							
·業 ②	(3)			実績							
•		、中学校については全3校						今往	後の方向性	改善・見直	L
	体育館、武道場等でき して交流を深めること	や校により様々であったが、 ができた。	その他にも交流を	を深めるために放	文送室、映像配信	等、学校側と協力	か・工夫	=	スト投入	現状維持	F

	事務事業②				市民企画支援	爭業			
			単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	電学に推	わる市民の人数		見込	300	300	300	300	300
業 を 構	()	人数・フレンズ会員数)	人	実績	158				
成	(2) [7/2/2]	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		見込	2	2	2	2	2
する 事	(2) 【アクション	ンプラン】事業数	λ	実績	2				
务事業	(3)			見込					
)				実績					
	<備考:活動の概要(R4: 団体が自主的に市民企画		日1日の無料し	ᆒᄼᄓᄝᄼᅔ	业众学纪1、10	소청쓰다 가요?		後の方向性	改善・見直し
	団体が自主的に市民企画 数(80名→40名)にして行 た。						で行っ	スト投入	現状維持
	事務事業②			アート	トのまちフェスラ	ティバル事業			
	活動技 (事務事業の具体的		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
		わる市民の人数 フェスティバル実行委	,	見込	10	10	10	10	10
		の人数)		実績	7				
		ンプアートのまちフェス	,	見込	2,000	18,000	500	18,000	500
	<i>ナ</i> イハル	事業来場者数 ————————————————————————————————————		実績	1,922				
	(3)			見込					
	<備考:活動の概要(R4:	年度(2022))>		実績					
	ながくてアートフェスティバ 開催することができた。実	2行委員会が自分たちで	開催できるだけの	の力が育ってきて	いる。令和4年度	の来場者数は実	注行委	後の方向性 のかんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	改善・見直し
	員会単独の開催であり、「フェスティバルとは別に開	催した国際芸術祭ポップ	プアップの来場者	数を記載している	る。なお、市が主作			スト投入	現状維持
	ティバルは隔年で開催して	(いくこととなっ (いる。(甲土催 じないと			アエI 士 WL			
	事務事業② 括動技	七抽			造スタッフ創造 R4年度	店動事業 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体的		単位	区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
		タッフ事業への	%	見込	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	、'' 市内在信	E者の参加者数		実績	1,131				
		ラン】創造スタッフに ジナル事業の数		見込	10	10	10	10	10
)	よるイパン	/) ル争未の剱		実績	9				
	(3)			見込					
-				実績					

6人の創造スタッフがそれぞれの専門性を生かし、様々な事業を開催することができた。特に創造スタッフ劇場「NEON」では 6人の総力を結集した、完全オリジナルのステージを完成させ、開催当日は大雪に見舞われたものの、開演時間を遅らせる ことで無事に開催することができた。集客についてはまだまだ増加させたい。

現状維持

事業番号 文化 文化財事業 23 事業名 担当部課 くらし文化部生涯学習課 決算書 第6次総合計画·基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 一般会計 行政改革指針·重点課題 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 有 古戦場公園再整備基本計画 その他(関係計画、要綱等) 9-4-6 文化財費 基 本情報 平成28年度に策定した古戦場公園再整備基本計画にしたがって、この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承する 事業開始の背景、経緯等 ために、古戦場公園に古民家を含む歴史民俗体験施設を整備する。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 市民とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 Ô 【目的】 事業フロージックモデル 江戸時代後期の建築とされ、市内 長久手のくらしぶりや歴史民 に現存する最古級の古民家を活用 俗文化を後世に継承する古民 移築後の古民家で、長久手の 古戦場公園に、市民と協働し し、この地域のくらしぶりや歴史民 家や歴史民俗資料館を活用し くらしぶりや歴史民俗文化を て古民家を移築整備する。 俗文化を後世に継承するため、歴 史民俗資料館の附帯施設として、 て、体験活動や継承活動を市 体験したり、継承活動を支援 民が主体的に行うようになる。 したりする市民の増加 古戦場公園に移築する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 区分 項目 (2021) (2019)(2020)(2022)(2023)予算 35 982 33 637 22 771 28 141 53 927 事業費(A) 千円 П 決算 25,792 21,373 19,427 37,292 ス 7 千円 人件費(B) 決算 6.326 5.472 5.541 6.428 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決質 32 118 26 845 24 968 43 720 事業対象の数(D) 59,500 60,000 60,300 60,500 60,800 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 0 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 [月標②] 単位 R13年度(2031)年実績 R4年度(2022)年実績 R8年度(2026)年実績 (事業の意図を反映する指標) 移築後の古民家で、主体的に活動する市 1.000 人 106 500 民の延べ人数 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 現状の市民ワークショップの参加者数を参考に、令和7年度末の古民 移築後の古民家の活用にあたっては、主体的に考え、行動することができる市民が 家の供用開始に向けて、事業に関心を持つ市民が増加することを想 必要であるため 定し、目標数値を設定した。 平成28年度の古戦場公園再整備基本計画策定以来、古民家の移築に向けて、市民ワークショップでの事業趣旨説明や古 事業開始からの経緯など 民家の補修を行ってきた。令和4年度に解体・移築設計業務を行い、令和5年度に古民家の解体を予定し、令和7年度末の 供用開始を目指している。施設の運営を担うことができる市民を今後もワークショップ等を通じて増やしていく必要がある。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り返り 古民家移築に関する市民ワークショップを4回開催し、大学生、外国人の方を含む延べ106人が参加した。 また、長久手中央土地区画整理組合から本事業への御理解を得て288,717,043円の寄附金を受納し、本事業を進めるにあ 令和4年度の成果 たり、市の財政的負担を大幅に軽減することができた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 市民の中からファシリテーターを育成し、市民主体で意見交換・活動ができるようにしていくことやサイレント・マジョリティの声 をいかに集約・反映させるかが重要であると考える。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

今後

今後の

方向性

古民家移築をはじめとする歴史民俗体験施設整備事業を進めるにあたり、寄附をいただた長久手中央土地区画整理組合をはじめとする多くの市民から魅力的で素晴らしい施設を整備して欲しいとの意見に応えるため、工事を確実に進捗させる。また、供用開始に向けて、主体的に活動してくれる市民を増やすため、引き続き市民ワークショップを開催して、市の取組の情報発信に努める。

	事務事業①			歴史	· 足民俗体験施設	と整備事業			
	 活動 「事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	/1) + D +	+n	ı	見込	120	200	300	400	50
未を書	(1) 市民参	加の延べ人数	人	実績	106				
式す		ションプラン】	棟	見込	_	-	_	1	_
, る 事	整備する	る古民家の棟数 	14	実績	-				
事業を構成する事務事業①	(3)			見込					
業		L ± 6		実績					
	<備考:活動の概要(R4・市民参加の延べ人数	は、市民ワークショップ				国再整備事業に	関する 今	後の方向性	改善・見直し
	市民ワークショップを4回	3開催し、大字生、外国	人の方を含む類	些へ106人の市 月	らか参加した。			I +n 3	++- -
							-	コスト投入	拡充
	事務事業②								
	活動		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度	R7年度 (2025)	R8年度
事	(事務事業の具体	吖は心判♥ク拍除ク		見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2023)	(2026)
業 を	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績					
構成	「アクション」	プラン(総合計画)の		見込					
する も	(2) おりりょう 指り	定の指標】		実績					
事業を構成する事務事業②	(2)			見込					
業の	(3)			実績					
2)	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>					今	後の方向性	
							=	コスト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	B7年度	R8年度
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務	(2) 【アクション】	プラン(総合計画)の		見込					
成 す	(2) 【アクション) 指:	定の指標】		実績					
								1	

実績

今後の方向性

コスト投入

<備考:活動の概要(R4年度(2022))>

事業番号 古戦場公園再整備事業 24 事業名 担当部課 くらし文化部生涯学習課 決算書 第6次総合計画・基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 一般会計 行政改革指針·重点課題 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 有 古戦場公園再整備基本計画 その他(関係計画、要綱等) 9-4-6 文化財費 基 本情報 昭和14年に国指定史跡に指定された長久手古戦場は、「史跡長久手古戦場」として貴重な文化財となっている。経年劣化が 著しい古戦場野外活動施設の活用のあり方の見直しも含めて、公園一帯を有効活用し、歴史の学びの場、体験の場及び交 事業開始の背景、経緯等 流の場の拠点として古戦場公園を再整備する。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 (n 事ジ業ツ 国指定史跡「長久手古戦場」 【目的】 の文化財としての本質的価値 貴重な文化財である国指定史跡長 *フロー ・クモ デル を見出すことを目的として、野 久手古戦場を保存・継承し、歴史 古戦場公園再整備事業に関 戦場であった当時の状況を再 の学びの場、体験の場及び交流の 古戦場公園再整備事業によ する工事を計画どおり進捗さ 現する方針で再整備を行い、 り、古戦場公園一帯が学び、 場の拠点として古戦場公園を再整 せる。 古戦場公園により多くの市民 体験及び交流の拠点となる。 備する。 が関心を持って訪れるように する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2021)(2022)(2023)(2020)予算 52 602 164 3 1 2 2 42 335 47 091 事業費(A) 千円 П 決算 49,316 2 10,377 26,342 ス 7 千円 人件費(B) 決算 7,380 5.620 5.691 6.579 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決質 56 696 5 622 16 068 32 921 事業対象の数(D) 59,500 60,000 60,300 60,500 60,800 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 0 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 [月標②] 単位 R4年度(2022)年実績 R8年度(2026)年実績 R13年度(2031)年実績 (事業の意図を反映する指標) 再整備後の古戦場公園で、主体的に活動 1.000 人 106 500 する市民の延べ人数 (指標の設定規拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 状 況 現状の市民ワークショップの参加者数を参考に、令和7年度末の古戦 再整備後の古戦場公園では、主体的に考え、行動することが出来る市民が必要であ 場公園の供用開始に向けて、事業に関心を持つ市民が増加すること るため。 を想定し、目標数値を設定した。 事業開始からの経緯など 令和5年度にガイダンス施設建設工事の着手が決定され、令和7年度末の供用開始を目指すこととなった。施設の運営を担 うことができる市民を今後もワークショップ等を通じて増やしていく必要がある。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り返り 古戦場公園再整備事業に関する市民ワークショップを4回開催し、大学生、外国人の方を含む延べ106人が参加した。 また、長久手中央土地区画整理組合から本事業への御理解を得て288,717,043円の寄附金を受納し、本事業を進めるにあ 令和4年度の成果 たり、市の財政的負担を大幅に軽減することができた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 市民の中からファシリテーターを育成し、市民主体で意見交換・活動ができるようにしていくことやサイレント・マジョリティの声 をいかに集約・反映させるかが重要であると考える。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

今後の

方向性

· 後

古戦場公園再整備事業を進めるにあたり、寄附をいただた長久手中央土地区画整理組合をはじめとする多くの市民から魅力的で素晴らしい施設を整備して欲しいとの意見に応えるため、古戦場公園再整備工事を確実に進捗させる。また、供用開始に向けて、主体的に活動してくれる市民を増やすため、引き続き市民ワークショップを開催して、市の取組の情報発信に努める。

	事務事業①			Ż	丁 戦場公園再整	E備事業			
		指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)		R8年度 (2026)
事	(1) +			見込	120	200		300 400	50
耒 を 埋	(1) 市民参	加の延べ人数	人	実績	106				
博 成 す		ションプラン】	%	見込	8	10		70 100	_
, る 事	整備二	工事の進捗率	70	実績	7				
事業を構成する事務事業①	(3)			見込					
業 ①				実績					
	<備考:活動の概要(R4 ・市民参加の延べ人数 市民ワークショップを4[は、市民ワークショップ				園再整備事業に	関する	今後の方向性	改善・見直し
	山氏 ノークフョクフを中	当所催し、八子王、介色	100000000	E- (100 X 0) 111 B	にか・参加した。			 コスト投入	拡充
								コスト投入	1/4/5
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体	指標的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)		R8年度 (2026)
事				見込	X===,	((2323)	(222)
業を増	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績					
事業を構成する事務事業②	(2) 【アクション】	プラン(総合計画)の		見込					
っる 事	(2) 「アッション」 指:	定の指標】		実績					
務事	(3)			見込					
業の				実績					
)	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>						今後の方向性	
								コスト投入	
	事務事業③								
	活動	指標			R4年度	R5年度	R6年度		R8年度
事		わる市民の人数	Д	区分	(2022)	(2023)	(2024)		(2026)
業を	(1) 建省化抗	X A CATHUR THOU		実績					
事業を構成する事な	(2) 【アクションフ	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込					
する	指	たり1日信』		実績					
事				見込					

実績

今後の方向性

コスト投入

<備考:活動の概要(R4年度(2022))>

事業番号 総合型スポーツクラブ運営事業 25 事業名 担当部課 くらし文化部生涯学習課 決算書 第6次総合計画・基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 会計 行政改革指針·重点課題 6 協働事業の拡大 一般会計 区分 法定受託事務の有無 予算区分(款 - 項 - 目) その他(関係計画、要綱等) 9-5-1 保健体育費 有 長久手市スポーツ推進計画 基 本情報 がんばらっせ長久手スポーツクラブは、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、子どもから高齢者までの幅広い年代の 人が様々なスポーツを気軽に楽しむ地域主体のスポーツクラブを目指し、平成24年度に設立した。しかし、当初から地域主 事業開始の背景、経緯等 体の運営の担い手不足を解消することができず、現在の実施事業は、行政主体の教室開催のみで、本来のあるべき形で運 営されていない。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 事業フロー(ロジックモデル 市民(在住、在学、在勤) スポーツ活動をする人が増 えることで、心身の健康状態 の改善や生活の質が向上す 気軽に参加することができる 【目的】 スポーツ教室のプログラムが 市民が主体的に運営する ・健康な市民が増加し、健康 増える。 様々なスポーツ教室の開催 寿命が伸びることで、医療費 スポーツを気軽に楽しむ人 子どもから高齢者までの幅広い年 の削減につながる。 が増え、スポーツ教室の参加 代の人が、スポーツと触れあうこと ができるスポーツクラブを市民や地 ・世代間交流が生まれ、地域 率が向上する。 の絆が強まる。 域が主体となって運営することがで きるよう支援する。 R3年度 R1年度 R2年度 R4年度 R5年度 単位 区分 項目 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 3 480 3 3 5 1 3 123 2 3 3 5 事業費(A) 千円 П 決算 2,423 1,422 2,373 2,116 ス 7 千円 人件費(B) 決算 2.578 3.170 2.860 3.008 推移 千円 総コスト(C)=(A+B) 決質 5 001 4 592 5 233 5 1 2 4 事業対象の数(D) 459 254 340 466 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 11 13 15 15 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【目標①】 【目標②】 【現状】 単位 R 年度(R4年度(2023)年実績 R 年度((事業の意図を反映する指標))年実績)年実績 進 教室の開催数 教室/年 36 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 状 況 市民が気軽に参加することができるスポーツ教室の開催回数を指標とする。 平成24年度に「がんばらっせ長久手スポーツクラブ」を立ち上げたが、当初から行政側と委員(市民)との間に認識のずれが生じていて、事業運営が軌道に乗らなかった。委員(市民)は、クラブ運営の担い手となることに負担を感じ、市が働きかけ 事業開始からの経緯など るも事業に参画することがなかった。よって、事業運営は事務局である市が行ってきた。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り返り 市の体育施設等は、令和5年度から指定管理者制度を導入することから、これまで市が主催してきたスポーツ教室に「がん 令和4年度の成果 ばらっせ長久手スポーツクラブ」教室を統合して、指定管理者がスポーツ教室を引き継いで行うこととした。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 指定管理者によるパリエーション豊富なスポーツ教室の開催が期待できること及び市スポーツ協会によるスポーツ教室が充実していること 並びに市議会で議員から「総合型スポーツクラブ事業は、市職員の負担となっており、本市にそぐわないため、やめてはどうか。」との意見 改善ポイント もあったことから、既存の考え方にとらわれず、事業のあり方を見直す。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

スポーツ教室は、指定管理者制度を導入することでバリエーション豊富なスポーツ教室の開催が期待できる。また、市スポーツ協会によるス

ポーツ教室のプログラムが充実していることもあるため、既存の考え方にとらわれず、事業のあり方を見直し、廃止する。

今後の

方向性

· 後

	事務事業①			総合	型地域スポーツ	ソクラブ事業			
	活動 活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事				見込	541	-	-	-	-
業を構成	(1) 市民の教	室参加の会員数	λ	実績	466	_	-	-	_
傾成す		ションプラン】 ニナナトナン・イシューナ	組織	見込	0	-	-	-	-
する事務事業①		主体となって設立した 運営組織	布 且 市 以	実績	0	_	ı	_	1
務事	(3)			見込					
· 業 ①		-		実績					
	く備考:活動の概要(R4 がんばらっせ長久手ス 操、ヨガ、テニス等)	スポーツクラブ教室は を36教室開催した	。利用者アンク	ケート及びスポ	ポーツ教室の評価	西を実施した網	吉果、	後の方向性	休・廃止
	廃止することとし、‡ を行った。	旨定管理者管理者によ	る市民ニースを	を反映したスポ	一ツ教室を取	り人れるよう見		1スト投入	縮小
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	, ,	見込					
事業を構成		17 0 11 12 07 7 7 32	^	実績					
::成 す		プラン(総合計画)の		見込					
る 事	1月。	定の指標】 		実績					
する事務事業②	(3)			見込					
美 ②	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))		実績					
							今	後の方向性	
							=	1スト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (2025)	R8年度
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
を構	「アカシュン	プラン(総合計画)の		見込					
事業を構成する事務事業③	(2) 【アクション) 指:	定の指標】		実績					
る 事 _数	(0)			見込					
事業	(3)			実績					
3	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>					今	後の方向性	

事業番号 杁ケ池公園管理事業 26 事業名 担当部課 くらし文化部生涯学習課 決算書 第6次総合計画・基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 1 経営改革の推進 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) 都市公園法、長久手市都市公園条例、長久手市都市公園条例施行規則、長久手市体育施設設置及び 管理に関する条例、長久手市スポーツ推進計画、長久手市公共施設等総合管理計画、長久手市公共施 その他(関係計画、要綱等) 有 9-5-2 体育館費 基本情報 市民がスポーツ施設及び公園を安全に利用することができるようにするためには、経年劣化している施設を適正に維持管理 事業開始の背景、経緯等 する必要がある。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ①事業内容 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【今後の目標】 【誰を対象に】 杁ケ池公園、杁ケ池体育館及び杁 0 ケ池テニスコート 事ジ業ツ 業フロ クモデル 指定管理者制度の導入 施設が常に市民が安全、快適 【目的】 スポーツ施設及び公園の利 長寿命化工事の実施 に利用することができる状態 用者が増える。 に保たれている。 施設利用者の満足度が向上 指定管理者制度の導入及び長寿 する。 命化工事を実施することで、スポー ツ施設及び公園を、市民が安全 快適に利用することができるように する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 120 654 29 593 78 843 80 335 事業費(A) 千円 決算 105,971 30,579 68,755 55,307 ス ト推 人件費(B) 千円 決算 3,154 3,932 2,944 4,577 総コスト(C)=(A+B) 決算 109.125 千円 34.511 71.699 59.884 事業対象の数(D) 箇所 3 (R5年度は<u>想定数</u>) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 26.707 23.926 21.236 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【目標②】 【現状】 【目標①】 単位 R 年度(R5年度(2024)年実績 (事業の意図を反映する指標) R4年度(2023)年実績)年実績 トレーニングルーム利用者数(延べ) 8 247 12800 人 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) **杁ケ池体育館の施設において、最も手軽に利用することができる施設であるトレーニ** 年間開館日数320日×利用者数40人/日 ングルームの利用者数を指標とすることで、利用者の満足度を推し量る。 杁ケ池公園及び杁ケ池体育館は、共用開始から30年以上が経過している。予算の範囲内で毎年度計画的に修繕に取り組 事業開始からの経緯など んでいるが、本来の機能回復までいたっておらず、施設の経年劣化が進んでいる。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り返り 令和4年度は、杁ケ池体育館の東出入口土間改修工事及び排煙窓改修工事を行った。 令和4年度の成果 令和5年度から指定管理者制度を導入する。 (改善が必要なこと 改善の方法など) 改善ポイント 予算を確保したうえで、より利用者の安全性や満足度が高まるよう、優先順位をつけて施設改修工事を実施する。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後 今後の 施設の適正な維持管理のため、「長久手市公共施設等総合管理計画」及び「長久手市公共施設個別施設計画」に基づき計画的に修繕を行 方向性

事務事業①			既存2	スポーツ施設長	- 寿命化事業				
活動	指標		226132	R4年度	R5年度	R6年	度	R7年度	R8年度
(事務事業の具体		単位	区分	(2022)	(2023)	(202		(2025)	(2026)
	ションプラン】	+/=n.	見込	1	0		1	1	
(1) 長寿命(比改修完了施設 【累計】	施設	実績	1					
。	マニュアルに基づく定	— viv	見込	1	1		1	1	
	期点検	回数	実績	1					
			見込						
(3)			実績						
<備考:活動の概要(R4 杁ケ池体育館の東出入[int-				△ %	 後の方向性	拡充
NO ACTUAL DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE P			1 2720				7 12	× • > > > 1 - 3 T	1/4/6
							⊐	スト投入	拡充
± ₩ ♠									
事務事業②	 			R4年度	R5年度	R6年	: ##	D7左座	R8年月
活動: (事務事業の具体		単位	区分	(2022)	(2023)	(202		R7年度 (2025)	(2026
/1\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1-7+P0 *		見込						
(1) 運営に携	わる市民の人数	, ,	実績						
(2) 【アクションフ	プラン(総合計画)の		見込						
	定の指標】		実績						
(0)			見込						
(3)			実績						
<備考:活動の概要(R4	年度(2022))			l l	l		今後	を あまま	
							, ,	~~~~	
							٦	スト投入	
事務事業③									
	指標		区公	R4年度	R5年度	R6年	度	BJ年度	R8年度
(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	区分	(2022)	(2023)	(202	24)	(2025)	(2026
., E17.13			実績						
(2) 【アクションフ	プラン(総合計画)の		見込						
指)	定の指標】		実績						
(3)			見込						
			実績			-			
<備考:活動の概要(R4	年度(2022))->						今征	後の方向性	

社会福祉事業 事業番号 27 事業名 担当部課 福祉部福祉課 決算書 第6次総合計画·基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 行政改革指針·重点課題 6 協働事業の拡大 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) その他(関係計画、要綱等) 有 ながふく障がい者プラン、長久手市避難行動要支援者支援要綱 3-1-1 社会福祉総務費 基 本情報 災害時等において自身での避難が難しい等の高齢者、障がい者等を支援できるよう、避難行動要支援者名簿を地域と共有 事業開始の背景、経緯等 し、日頃からの見守りを行い、いざというときに地域で支え合える体制づくりを目指す。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 章がい者等(身体障害者のうち1級及び2 級の者(腎臓機能障害者は3級及び4級を 含む。)、知的障がい者のうち療育手帳A (0 判定の者、精神障がい者のうち精神障害 事業フロー 者保健福祉手帳1級の者、これらに準ずる 対象となる人に避難行動要 状態にある者) 支援者登録の案内を送付し、 災害時に高齢者や障がい者 登録の勧奨を行う 等が取り残されないよう、地域 対象者が避難行動について ・福祉専門職や民生委員・児 【目的】 で支え合えあえる体制ができ 自身で考え、より多くの人が 童委員協議会等に制度の周 登録を行う。 知をし、対象者への働きかけ や登録支援を依頼する。 災害時等において自身での避難が難しい 手の高齢者、障がい者等に、避難行動要 と援者として災害時に必要な情報を登録 てもらい台帳として整備するとともに、要 支援者名簿を関係団体、地域団体等と共 fし、日頃からの見守りを行い、いざという きに地域で支え合う体制づくりを行う R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 16 822 22 119 23 614 24.724 27.665 事業費(A) 千円 П 決算 14,286 17,199 18,976 20,574 ス 7 人件費(B) 千円 決算 15.881 9.614 9.735 16.364 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 30 167 26.813 28 711 36 938 事業対象の数(D) 484 568 579 580 580 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 37 50 53 64 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【月標②】 単位 (事業<u>の意図を反映する指標)</u> 避難行動要支援者登録率 R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R8年度(2026)年実績 ※旧高齢者実態把握調査の対象者を除 40% % 33% 35% (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 状 況 登録率は、制度の認知度及び災害への備えについての意識向上の度合いが分かる 令和4年度の登録者数/対象者数(障がい者)を基準として設定 指標であるため 事業開始からの経緯など 災害対策基本法に基づき、災害時等において自身での避難が難しい等の高齢者、障がい者等を支援できるよう、避難行動 要支援者名簿を地域と共有し、日頃からの見守りを行い、いざというときに地域で支え合える体制づくりを目指す。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り返り 令和4年度の成果 令和4年度中に、登録申請様式を個別避難計画に対応し様式に改訂し、愛称をみまもり台帳とした。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント まだまだ制度の周知と地域の支え合いの体制づくりが十分とは言えない状況である。民生委員・児童委員、自治会関係者な どの地域の関係者や福祉専門職の協力が得られるよう引き続き取り組んでいく。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) みまもり台帳の登録時に発生していた入力作業等の事務軽減のため、AI-OCRを活用するとともに、既存のシステムの見直しを行い、令和5 今後の

新規システムには、台帳機能に加え地図機能を登載することにより、ハザードマップ等の地図データと避難行動要支援者の居住地を対照す

年10月に新規システムの導入を目指す。

ることが可能となる予定である。

· 後

方向性

					18. de 11. de al.	+ 1~ + w			
	事務事業①			障	がい者災害時	支援事業			
	(事務事業の具体	が指標 本的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 避難行動要式	フションプラン】 支援者登録者数【単年】 者実態把握調査の	Д	見込	390	400	410	420	430
を構	対	象者を除く。		実績	367				
業を構成する事務事業①	(2) ※旧高齢	規登録者数 者実態把握調査の 象者を除く。	人	見込 実績	40	40	40	40	40
事務				見込					
業	(3)			実績					
\cup	<備考:活動の概要(R/個別避難計画に対応 の様式は2月に送付	4年度(2022))> した様式に改訂し、民 しており、令和5年度	生委員児童委員に要支援者ごの	」 員協議会、福祉 とに個別避難計	上専門職に説明し ・画が策定される	し周知した。改 る予定。		後の方向性	改善・見直し
	※上の実績は、令和						٦	スト投入	拡充
	事務事業②								
		助指標 本的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事				見込					
業 を 構	(1) 運営に打 	携わる市民の人数 	Д	実績					
事業を構成する事務事業②		プラン(総合計画)の 記定の指標】		見込					
事務				実績 見込					
事業の	(3)			実績					
	<備考:活動の概要(RA	4年度(2022))					今後	後の方向性	
								スト投入	
	事務事業③								
	活重				R4年度	R5年度	R6年度	B7年度	R8年度
事		第7日 (表) 集わる市民の人数	Д	- 区分 	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
末 を#									
事業を構成する事務事業③		プラン(総合計画)の 旨定の指標】		見込 実績 一					
る事経	(2)			見込					
事業	(3)	4年中(2022)\\		実績					
3	<備考:活動の概要(R	4年度(2022))							

今後の方向性

事業番号 地域福祉推進事業 28 事業名 担当部課 福祉部福祉課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 行政改革指針·重点課題 7 市民参加の仕組みづくり 一般会計 区分 法定受託事務の有無 予算区分(款 - 項 - 目) その他(関係計画、要綱等) 有 長久手市地域福祉計画 3-1-1 社会福祉総務費 基 本情報 平成30年度に策定した、第2次長久手市地域福祉計画に基づき、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、「地域福 事業開始の背景、経緯等 祉の推進」のための取組を行う。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 ٠ 市民、事業者、市職員 事ジ業ツ 市民活動の推進、きっかけづ 地域共生社会の実現を目指 社会福祉協議会、民生委員・ クモ くりとなる仕組みを構築し、地 し、「気づき、つながり、届き、 児童委員、保護司会·更生保 【目的】 域社会への更なる参加を促す 支え合う、たつせがあるまち 護女性会、市民活動に取り組 ーデル とを目的とし、長久手市が笑 ながくて」により、住み慣れた む団体等と連携し、地域福祉 顔あふれるいきいきとした地 地域において誰もが安心して 自分たちで解決できない様々な課題 を推進し、社会的に孤立せ 域社会となることを目指す。 暮らせるまちになる。 こ対して、市民・団体・事業者・行政な ず、助けを求めることができる どが協働して解決に取り組み、住み 市民が増加する。 貫れた地域において誰もが安心して **暮らせるまちづくりを進める。** R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 区分 項目 (2020)(2019)(2021)(2022)(2023)予算 116 225 119 136 107 845 112 556 110.585 事業費(A) 千円 П 決算 105,523 112,502 112,502 102,616 ス 7 千円 人件費(B) 決算 11.956 13.581 16.850 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 105 523 124 458 126 083 119 466 事業対象の数(D) 人(※市民) 58,545 59,499 60,035 60,352 60,770 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R9年度(2027)年実績 (事業の意図を反映する指標) 生活上の問題で手助けが必要なとき、 所の人たちに助けを求めることができる % 35 24.5 25 | 捗状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名,調査年など出典) 平成29年度調査時に32.9%。社会的に孤立化が進みがちな傾向がある中で、地域 長久手市地域福祉に関する市民意識調査調査結果報告書 福祉事業の推進により、助けを求める関係のある町となることを目指す。 平成26年9月策定の地域福祉計画・地域福祉活動計画に次いで、平成31年に第2次長久手市地域福祉計画を策定し、地域 事業開始からの経緯など 福祉を推進している。平成28年1月に、市民活動のきっかけづくりや、健康づくり・介護予防等を目的として、ながくて地域ス マイルポイント事業実施要綱を制定。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り返り 令和4年度の成果 令和4年度から対象年齢を18歳以上から小学生以上に拡大。18歳未満は36人(ポイント交換は2人)が登録。新型コロナウイ ルス感染症の影響で令和2年度から交換者数が減少傾向にあったが、令和4年度に件数が増加した。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 手帳登録者数は継続してあるが、ポイントを交換する方が固定化し、頭打ちの傾向があり、一定の成果は果たしたものととら 改善ポイント えている。対象事業が拡大しており、どのような事業を対象とするかの再検討の必要がある。

今後

今後の

方向性

(事業の成果を高めるための事業の方向性)

事業が定着し、市民活動のきっかけづくりという目的は果たした。「気づき、つながり、届き、支え合う、たつせがあるまち ながくて」をより推 進していくために、対象事業の定義や要件等の見直しを実施するとともに、事業の縮小・廃止を含めた新たな展望を示す。

	事務事業①			ながく	て地域スマイル	ポイント事業			
	 活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事				見込	5		5		
来 を 壊	(1) 市民国	団体新規登録	団体	実績	1				
構成す		ションプラン】 (ント事業 交換者数	,	見込	620	550	550	550	55
、 る 事		【単年】	,	実績	518				
業を構成する事務事業①	(3) スマイルポイン	ント事業 個人登録者	Д	見込 実績	1,000 792	850	900	900	90
1	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>		天視	792		今往	後の方向性	改善・見直し
	市主催行事、福祉施設等 ントをQUOカード、図書な					∼を付与し、貯まっ		スト投入	現状維持
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	見込					
水を構	(i) Elicips	317-01112007703	,	実績					
成 す		プラン(総合計画)の 定の指標】		見込					
る事	fa.	上の扫除』		実績					
事業を構成する事務事業②	(3)			見込					
2	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))>		実績					
							今 行	後の方向性 	
							=	スト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	 実績	(LULL)	(2020)	(2024)	(2020)	(2020)
を 構	/o. 【アクション [*]	プラン(総合計画)の		見込					
成する	(2) 【アクション) 指:	定の指標】		実績					
事業を構成する事務事業③	(2)			見込					
事業	(3)			実績					
3	<備考:活動の概要(R4	.年度(2022)) >					今往	後の方向性	

事業	番号	2	9	事美				障がい	者福祉	止事業			担当	部課	福祉部	福祉課
	第6岁	マ総合計	∙画•基本	目標	4 誰	もがいき	きいきと安心して	暮らせる	i まち				決 算	‡書 −ジ	_	
	行政	改革指	針•重点	課題	ı								会計区分		一般会計	+
	法	定受託事	事務の有	無	無									予算[区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他	也(関係語	計画、要	綱等)	有	ながふ	く障がい者プラン	,						3-1-4	身体障がい者	畐祉費
本 情 報	事業	開始の	背景、経	緯等	障がい	者の社会	会参加の促進及	び自立生	生活を支	を援する) o					
			事業者と の可能		民間	事業者と	とのみ協働可	(両者とは	劦働不可	の場合	まその理	由)				
	•	_	事業内 活動を行)		②アウトプッ (活動の結果、					アウトカム【成り 象はどうなるの			④最終ア (市としてど	
事業フロー (ロジックモデル)	L 及 () ()	児、障か 児、域生 う う う う う う う う う う う う う う る 言 く じ し り し の る に う し り し り し り し り し り し り し り し り し り し	こ】 《い者(版書 立生一ばの出版のでは、	業の受 うため、う た給付と に に た に に い た に と の に の ま の ま の も の も の も の り の り の り の り の り の り の り	給者 芸組外は大施 は外、大施する。		各種手当の支: 人への補助・助 る。				手当や	の目標】 制度を活用し、 章がい者等が堆			障がい者が社会において自分ら とができる。	
			項	目			単位	区:	分		丰度)19)	R2年度 (2020)	R3年 (20		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
			→ alle	=th /				予:	算		94,068	96,975		98,745	101,319	99,419
П			事業	費(A)			千円	決	算		88,229	100,242		95,561	95,605	_
スト	i		人件:	費(B)			千円	決	——— 算		11,297	16,321		22,841	20,220	_
推 移		松	コスト(C)=(A+	B)		千円	決	<u></u>		99,526	116,563	-	118,402	115,825	_
			事業対象 R5年度に				人				464	495		501	516	526
		対象	<u>あたりコ</u> 過去3年	スト(C/	(D)の		千円				225	229		229	233	
	中間	アウトカ	カム【成身 の意図を	果指標】	の数値	設定	単位			【現状】	年実績		【目標①]			目標②】
進捗状	就労定		事業の和				人		1 2	21	1 2012		22	1 2018		24
が状況	平成30 ら一般		ら実施す 多行後半				↓ よ、就労移行支 <u>‡</u> る事業であり、-				過去3点)と整合を図るか	均利用	者数を記) 役定。調査年は、 手度である令和5	
	事業	開始から	らの経緯	など	障がい	者の障が	がい者の社会参	加の促注	進及び自	自立生活	舌を支援	する。				
振り							ド、コメント、特記									
· 返 り	ŕ	和4年	度の成界	₽			に就労定着支援 :見学事業につい								労を継続してい	る。
		改善力	ペイント				と、改善の方法な		沿ったi	適正な過	重用がで	きているか、検	討を加え	ていく必	必要がある。	
			(事業の	成果を高	あるため	りの事業	の方向性)									
今後		後の 句性	市民主	体の活動	動が促進	進される	よう、社会見学	事業、理	解促進	事業等(の助成金	について、広幹	は 記 注力・	する。		

事務事業①			障か	い者地域生活	香港備事業			
活動 活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
「アク	ションプラン】 域生活体験グループ 業利用者【累計】	Д	見込実績	20	16		_	_
黄 艾	果他用有 【 系訂】 実施事業者数	事業者	見込	2	2		_	_
5	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	7.7.1	実績	0				
(2) 事業5 6 6 (3)			見込 実績					
<備考:活動の概要(R4 コロナの感染拡大防」		/ が休 職 利 ほ	7 7 7 7 7		であったため	今	 後の方向性	休・廃止
していない。なお、事年度で事業を廃止する	事業開始当時と比べる	とグループホ-	ームが増加し認	知も進んできる	ているため、全	3和5	コスト投入	縮小
事務事業②								
活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
等 (1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込 実績					
	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込					
(3)			見込					
く備考:活動の概要(R4	-年度(2022))		実績				後の方向性	
							後の方向性 	
事務事業③								
活動	指標		5 ()	R4年度	R5年度	 R6年度	B7年度	R8年度
	わる市民の人数	Д	区分 実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
「アクション	プラン(総合計画)の		見込					
成 (2) 【アクション) 指 3	定の指標】		実績					
(1) 運営に携 構 (2) 【アクション 指 (3) (3) (3) (3)			見込					
美 	-年度(2022))		実績				- L - L	
						今	後の方向性 ————	

事業	番号 30	事業	集名		障	がい者自立る	支援事	業		担当	部課	福祉部	福祉課
	第6次総合計画·基	本目標	4 誰	もがいき	いきと安心して	暮らせるまち					章書 −ジ	_	
	行政改革指針•重	点課題	_							会計区分		一般会計	+
	法定受託事務の	有無	無								予算區	区分(款 一 項 -	- 目)
基	その他(関係計画、	要綱等)	有	ながふ	く障がい者プラン	,					3-1-4	身体障がい者を	逼祉費
本 情 報	事業開始の背景、	経緯等	べき事具	頁(社会	活動や介護者、	活を総合的にす 居住等の状況) 記に応じて柔軟に	を踏ま	え、個別	に支給決定が	バ行われる	「障害福	証せサービス」と	
	市民・民間事業者 連携協働の可能		民間	事業者と	とのみ協働可	(両者と協働不可	「の場合	まその理	曲)				
	①事業に (どんな活動を				②アウトプット (活動の結果、	ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【F 象はどうなる			④最終ア (市としてど	
事業フロー(ロジックモデル)	【誰を対象に】 障がい児、障がい者 え及び地域生活支援 【目的】 障害者総合支援法に サービス等の給付をな	事業の受 基づく障害 活支援支持	給者)		・障害福祉サー ・地域生活支援 活用具の給付、 活援サービスの支 施	事業(日常生、地域生活支		障がいり、ひき	を理由に外出 を理由に外出 こもり状態に 会参加する。	なること		障がい者が社会 において自分ら とができる。	
]	項目			単位	区分		手度)19)	R2年度 (2020)		F度 21)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	 					予算	,	776,887	800,5	,	839.868	948,220	967,846
П	】 】 】	業費(A)			千円	決算		697,838	762,7	09	815,231	849,479	-
スト#	人作	牛費(B)			千円	決算		32,804	26,1	64	20,781	22,828	-
推 移	総コスト	(C)=(A+	B)		千円	決算		730,642	788,8	73	836,012	872,307	-
		象の数(D)			人			464	4	95	501	510	526
	対象あたり		D)の		千円			1,475	1,5	53	1,612	1,658	
	中間アウトカム【成	成果指標](の数値説	设定	単位	R4年度	【現状】		R5年	【目標①	_	_	目標②】 (2026)年実績
19	利用者1人・年あた 用時間	りの移動	支援事業	業の利	時間		44			48			55
状 況	(指標の設定根拠) 利用者1人あたりの移 が外出を通して社会					出が困難な障か	い者	コロナ神を設定		況及びコロ 章害福祉語	コナ禍以 十画(3年	降の需要拡大を 間)と整合を図	
1 =	事業開始からの経	辞なと こうしゅうしゅ	べき事り	頁(社会 人、利用	活動や介護者、 者の方々の状況	活を総合的に引居住等の状況)	を踏ま	え、個別	に支給決定	「行われる	「障害福	福祉サービス」と	
振り返り	令和4年度の成	, =			ド、コメント、特記 支援協議会にお	いて、本市の相	談支援	体制の引	蛍化・拡充にる	かけて検討	を行った	⊆.	
	改善ポイント		市に一5	定の裁量		ど) 活支援事業につ からの意見も踏る				見直しを行	っている	。今後、移動支	援事業の対
	(事業	の成果を高	めるため	の事業の	の方向性)								
今後		生活支援事 5 由に 目 直		節正な実	施に向けて、事	業メニューのうち	ち給付を	行う事業	業(日中一時	支援事業、	移動支	援事業等)の実	施要領を令和

地域生活支援事業の適正な実施に向けて、事業メニューのうち給付を行う事業(日中一時支援事業、移動支援事業等)の実施要領を令和 5年度中に見直す。

	事務事業①			障か	い者基幹相談	炎支援事業			
	活動	指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体	的な活動の指標)	十世	27	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業		ションプラン】	件	見込	4,412	4,417	4,42	2 4,427	4,432
業 を 構	相談	《件数【単年】 ————————————————————————————————————	П	実績	1,592				
成す	(2) 個別訪問調査	におけるアンケート回	件	見込	114	120	12	0 120	120
,る 事	(2)	収数	П	実績	117				
務	(3)			見込					
事業①	. ,			実績					
)	<備考:活動の概要(R4 (1)相談件数の算定方法	年度(2022)) > 去を変更したため、件	数が大幅に減り	りした 。			4	後の方向性	拡充
		象者が増え続けるため 節囲を見直したため、			かつ継続的に	調査を行必要か		コスト投入	現状維持
				_	_				_

	事務	事業②			障がいる	者コミュニケー	ション支援事業	ŧ				
	(事務	活動 務事業の具体	指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
事業	(1)			Д	見込	8	8		8	8		8
を構	(1)	一 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	T負研修多加有 【単年】	^	実績	3						
が成す	(2)		ションプラン】 奉仕員研修参加者	\forall	見込	5	5		5	5		5
っる 事	(2)	安利丰配。	学任員研修多加名 【単年】	^	実績	10						
務	(3)				見込							
事 業 ②	, ,				実績							
	令和4年度	ほは、手話奉	年度(2022)) > :仕員養成講座(基礎詞						今往	後の方向性	拡充	
		体験講座は 進市と共同	長久手市と東郷町にて 開催。	開催した。※5	手話は日進市・	東郷町・豊明	市と共同開催。	要約		スト投入	現状維持	宇

	事務事業③			<u> </u>	章がい者外出す	を援事業 しんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい					
	活動	指標	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年』 (2024		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
ļ.		ションプラン】		見込	20	25	(2024	30	, ,		_ o
ま 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		従事者養成研修終了 数【累計】	Д	実績	20						
북	(2) 移動支持	爰事業利用人数	Д	見込	50	52		54	56	58	3
	(2)	发争未利用人奴	~	実績	35						
	(3)			見込							
:)	. ,			実績							
	<備考:活動の概要(R4		中歩きたたち	_ +	·		\=#.6∓	今往	後の方向性	改善・見直し	
		事業所において研修が 所の人員体制上、研修							スト投入	縮小	

生活保護事業 事業番号 31 事業名 担当部課 福祉部福祉課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 5 横断的な事務の推進(連携改善) 区分 法定受託事務の有無 有 生活保護法、生活困窮者自立支援法 予算区分(款 - 項 - 目) 生活保護法施行細則、 有 その他(関係計画、要綱等) 3-3-1 生活保護総務費 基 長久手市生活困窮者自立相談支援事業実施要綱等 本情報 生活保護法に基づく扶助事業 事業開始の背景、経緯等 生活困窮者自立支援法に基づく扶助事業 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との センシティブな情報を含むため原則的には困難であるが、事業によっては協力企業等との協 両者と協働不可 連携協働の可能性 働が考えられる。 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 生活困窮者 (D 事ジ業ツ 【目的】 自立相談支援の実施 生活困窮状態で相談があり、 生活保護法の定める要件を満た クモ 就労支援の実施 各種支援を行った結果、生活 す生活困窮者の程度に応じ必要な保 家計改善支援の実施 保護に至らなかった世帯の増 護を行い、その最低限度の生活を保 生活保護世帯の減少 I デル 学習支援の実施 障するとともに、その自立を助長す る。生活困窮状態から早期に脱却す カΠ 住宅確保給付の実施 - 時生活支援の実施 生活保護から早期に自立によ ことを目指し、包括的かつ継続的な り脱却する世帯の増加 支援を実施する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2021)(2022)(2023)(2020)予算 37 109 35 083 38 212 78 585 49.190 事業費(A) 千円 П 決算 32,794 51,056 40,261 50,639 ス 7 人件費(B) 千円 決算 22,406 25.268 25.563 26.729 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 55 200 76 324 65 824 77 368 事業対象の数(D) 317 530 505 353 365 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 183 164 199 149 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R14年度(2032)年実績 R4年度(2022)年実績 (事業の意図を反映する指標) R9年度(2027)年実績 生活困窮状態で相談があり、各種支援を行った結果、 157 世帯 155 156 生活保護に至らなかった世帯数 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 状 況 生活困窮者からの相談を受け、必要に応じた支援を実施した結果、生活保護申請に 至らなかった世帯が増加することは、生活保護世帯の減少傾向を図ることができる R4年度の新規相談件数162件、うち生活保護申請7件 相談件数は横ばいもしくはコロナ収束により減少傾向と想定されるこ とから、生活保護申請件数を5年で1件ずつ減らしていく。 指標であるため 平成25年に生活困窮者自立支援法が成立し平成27年度から同法に基づく制度が発足して以来、各種支援事業を展開して 事業開始からの経緯など きた。コロナ禍により令和2年度及び令和3年度は新規相談件数が倍増するなど大きな影響があったが、同制度を活用し、生 活保護に至る前に適切な支援を行ってきた。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り返り 自立相談支援事業については、土日も相談受付を実施している事業所に業務を委託しているため、市役所での相談受付と 令和4年度の成果 合わせると、相談業務の通年実施(年末年始を除く)が実現している。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 生活困窮に陥る原因等が多様化、複雑化しているため、研修等により相談員の専門的な知識の蓄積を図る。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 令和6年度以降、予算を確保した上で、生活保護業務や生活困窮者自立支援事業の先進地視察や実務研修へ積極的に参加し、専門的な · 後 方向性 知識の習得を図る。

	事務事業①			生	活困窮者自立	支援事業			
ı	活動 (事務事業の具体	! 指標 :的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	/ ₁ 、【アクションプラ	ン】生活困窮者自立支		見込	105	110	110	110	11
		新規相談件数	人	実績	162				
	(O) サエル=#1-E	╗╗ ┇╗ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇ ┇	ı	見込	50	55	60	65	7
	(2) 生活保護に	関する面接相談件数	人	実績	49				
	(3)			見込					
	(3)			実績					
支•	<備考∶活動の概要(R4 を援実績 自立相談支援事業 新	規相談件数162件 勍	式労支援者数13人				今往	後の方向性	拡充
- :	家計改善支援事業 新 学習支援事業 参加者	規相談件数4件 数40名 ·住宅確保	給付金8人	•個別訪問調査	₹15件		٦	スト投入	現状維持
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体	指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
_	(1) 運営に携	わる市民の人数	, ,	見込					
	(1) 建当1-抗	幻る目氏の人数	^	実績					
	(2) 【アクション】	プラン(総合計画)の		見込					
	指	定の指標】		実績					
	(3)			見込					
				実績					
<	<備考∶活動の概要(R4	1年度(2022))>					今征	後の方向性	
_							٦	スト投入	
	事務事業③								
	活動	 指標		5 0	R4年度	R5年度	R6年度	B7年度	R8年度
				区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)

	事	務事業③									
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年	度	R7年度	R8年度
重	(4))田 火 1-1#			区刀	(2022)	(2023)	(202	4)	(2025)	(2026)
業を	(1)	(1) 運営に携わる市民の人数		Д	実績						
構成	(2)		プラン(総合計画)の		見込						
次する	(2)	指:	定の指標】		実績						
事	(3)				見込						
事業を構成する事務事業③					実績						
3	<備考∷	活動の概要(R4	年度(2022))>						今往	後の方向性	
									_	スト投入	

事業	番号 32 事	業名		介護職員確何	保事業		担当部課	福祉部	長寿課
	第6次総合計画·基本目標	4 誰もがし	きいきと安心して	暮らせるまち			決算書 ページ	_	
	行政改革指針·重点課題	_					会計区分	一般会計	t
	法定受託事務の有無	無						区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関係計画、要綱等)		手市潜在的有資 初任者研修等受詞			長久手市介護	3	-1-2 老人福祉	費
本 情 報	事業開始の背景、経緯等		ナービス事業所に う介護人材を量と	質の両面から充	を実させていくこ。	とが求められてい		要介護者が安心	してサービスを
	市民・民間事業者との 連携協働の可能性	民間事業	音とのみ協働可	(両者と協働不可	「の場合はその理	曲)			
	①事業内容 (どんな活動を行うの)	n)		ト【活動指標】 . どうなるのか)		アウトカム【成果 象はどうなるの:		④最終ア (市としてど	'ウトカム うなるのか)
事業フロー	◆【誰を対象に】 市民 【目的】 市内で安心して過ごせるよう サービス事業所における介記 質の向上に向け、研修等を行	長人材の /	潜在有資格者進のための職介護職員初任う。	場体験研修や	市内介	さの目標】 護サービス事業 加と質の向上	所の	要介護者が安心を受けられる。	
	項目		単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
				予算	1,850	, ,	975	, ,	1,025
	事業費(A)		千円		235	145	82	0	_
スト	人件費(B)		千円	決算	2,259	1,479	1,123		-
推 移	総コスト(C)=(A	+B)	千円	決算	2,494	1,624	1,205	756	-
	事業対象の数 (R5年度は想定		Д		5	5	5	5	5
	対象あたりコスト(過去3年平均	C/D)の	千円		4	3	1	0	
	中間アウトカム【成果指標 (事業の意図を反映・		単位	R4年度	【現状】 ((2022)年実績		目標①】 (2023)年実績		目標②】
進	介護人材確保数		人		0		5		5
捗 状 況	(指標の設定根拠) 新規に介護人材を確保すれ 提供できると考えられるため	ば、人材不足の	状況が解消され、	質の高いサーヒ	ごスが の介護 も、人材	ナービス事業所へ を確保する必要か	の就職は3~5人 「あるため。長久	単) ・ ・ ・ ・ と少ないことから、 手市の介護事業所 対金制度を利用し、	、毎年少しずつで fに就職してもら
	事業開始からの経緯など		までは、介護職員 開催を中止した。		護サービス事業	者と市の共催に	こより、福祉の家	マで実施していた	が、コロナ禍
振り返り	令和4年度の成果		ード、コメント、特記 長久手市では介記 った。		 修は開催中止し	た。愛知県での	研修は行われ	ていたが、長久月	手市に就職した
	改善ポイント	コロナ禍では	にと、改善の方法な 、介護サービス事 新型コロナウイル	業所で接触を行					
	(事業の成果を	高めるための事	業の方向性)						

今後の 方向性

コロナ禍により、長久手市介護職員初任者研修等、当面の事業縮小や中止は避けられないところがある。 ただ、将来にわたって要介護者等が安心してサービスを受けることができるよう、介護サービス事業所で働く介護人材を量と質の両面から 確保するために新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、介護職員初任者研修等事業を行い人材確保に努めていく。

事務事業①				介護職員確保	果事業			
	• •	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
1 —4× . ==	シン(総合計画)の		 見込	5			5 5	
(1) 【アッションノ) 指定(の指標】	人	実績	0				
英			見込	1	1	1	1 1	
テー(2) 介護職員初任 る	者研修実施回数	回	実績	0				
(1) 【アクションフラ 指定の 指定の (2) 介護職員初任 (3)			見込					
事 (3) 集 ①			実績					
<備考:活動の概要(R4年	度(2022))>					今	後の方向性	改善·見直
令和元年度までは、介記 たが、コロナ禍で3年退 件、令和3年度は1件、今	車続で開催を中止し	介護サービス た。職員確保の	事業者と市の共 のための受講料	:催により、福: 助成金の利用	祉の家で実施し は、令和2年度	してい は3 =	コスト投入	現状維持
事務事業②	7712 - 77216 0 11 8							
活動指	 標	24 LL	T.()	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事務事業の具体的	な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
国 美 (1) 運営に携わ	る市民の人数	人	見込					
			実績					
ス (2) 【アクションプラ 指定(ラン(総合計画)の の指標】		見込					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			実績					
事業 (1) 運営に携わ を構成す (2) 【アクションプラ 指定((3)			見込 実績					
 	度(2022))>		天視					
						今	後の方向性 	
						=	コスト投入	
事務事業③								
活動指	標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 運営に携わ	る市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
*			見込					
成 (2) 【アクションプラ 指定(ラン(総合計画)の の指標】		実績					
			見込					
	(3)							
 (3)			実績					
(1) 運営に携わ では、 (2) 【アクションプラ 指定(3) (3) (3) (備考:活動の概要(R4年)	度(2022))>>		実績			<u></u>	後の方向性	

事業	業番号 35 事業名					子ども医療費支給事業						福祉部保険医療課	
	第6次	て総合計画・基本	卜目標	2 子	どもがえ	元気に育つまち					決算書 ページ	_	
	行政	改革指針·重点	課題	_							会計	一般会計	+
	法	定受託事務の有	無	無							予算[区分(款 - 項 -	- 目)
	その化	也(関係計画、要	綱等)	有	長久手	市子ども医療費	責主給条例				3	-1-3 福祉医療	費
	事業	開始の背景、経	経緯等			貴の一部を支給 わせ開始した。	することにより子				目的とし、昭和4	18年4月に愛知	県乳児医療制
		民・民間事業者。 携協働の可能			両者と協	岛働不可	(両者と協働不可 医療費を支給すため)				市民·民間事業	美者との連携協働	動にそぐわない
)	②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ③中間アウトカム【6 (対象はどうなる							7ウトカム うなるのか)	
4	①事業内容 (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 18歳年度末までの者(通院については、中学校卒業までの者) 【目的】 子どもの疾病または負傷について必要な医療を適切に受けられるよう医療費を支給することで、子育て中の親の経済支援並びに子どもの受診機会の確保に繋げ、子どもの健全な育成を支援する。					出生等によりまを持った者への受給者証の発明利用者への医・適切な実施。	行や内容の説 療費の支給や、	/ j	子どもほ	をの目標】 医療費の支給内 医療受診につい の増加		子どもたちが安 健やかに成長で るまちを目指す	することができ
	項目				単位		区分	R1年	度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
						+12		(201	9)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)
			l H			+12	予算	(201	25,615	(2020) 407,847	(2021) 430,228	(2022) 440,836	(2023) 464,544
			費(A)			千円	1 11	4:	,	, ,	430,228	440,836	464,544
		事業					予算	4:	25,615	407,847 375,978	430,228 430,173	440,836	464,544
		事業	費(A) 費(B)	В)		千円	予算	4.	25,615 25,484	407,847 375,978	430,228 430,173	440,836 440,288 4,027	464,544 - -
		事業 人件 総コスト(C 事業対)	費(A) 費(B) こ)=(A+ 象の数(D)		千円	予算 決算 決算	4.	25,615 25,484 2,338	407.847 375.978 3,263 379,241	430,228 430,173 3,541 433,714	440,836 440,288 4,027 444,315	464,544 - - -
		事業 人件 総コスト(C 事業対象 (R5年度) 対象あたり=	費(A) 費(B) こ)=(A+ 象の数(D よ想定数) (t) (D)の		千円 千円	予算 決算 決算	4.	25,615 25,484 2,338 27,822	407.847 375.978 3,263 379,241	430,228 430,173 3,541 433,714 11,220	440,836 440,288 4,027 444,315	464,544 - - - - 13,152
		事業 人件 総コスト(C 事業対象 (R5年度! 対象あたりコ 過去3年 (アウトカム(成)	費(A) 費(B) シ)=(A+ 象の数(D は想定数 コスト(C/ 手平均値 果指標】) (i) (D)の の数値i	设定	千円 千円 千円 人 千円	予算 決算 決算 決算	4. 4. 4. [現状]	25,615 25,484 2,338 27,822 11,212 37	407,847 375,978 3,263 379,241 11,278 36	430,228 430,173 3,541 433,714 11,220 37	440,836 440,288 4,027 444,315 11,173 37	464,544 - - - 13,152
	中間	事業 人件 総コスト(C 事業対象 (R5年度! 対象あたりコ 過去3年 ボアウトカム【成! (事業の意図を 医療費の対象者	費(A) 費(B) こ)=(A+ 家の数(D は想定数 コスト(C/ 手平均値 果指標】 と反映する) (t) (D)の の数値i る指標)		千円 千円 人	予算 決算 決算 決算	4.	25,615 25,484 2,338 27,822 11,212 37	407,847 375,978 3,263 379,241 11,278 36	430,228 430,173 3,541 433,714 11,220	440,836 440,288 4,027 444,315 11,173 37	464,544 - - - 13,152
	中間子ども 付ける 子ども かくこう 子ども かくこう こうしん アンドラ かいしん アンドラ マン・マー・アン・マー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	事業 人件 総コスト(C 事業対象 (R5年度! 対象あたりニ 対象あたりニ 当アウトカム【成: (事業の意図を 医療費の対象を 額 設定根拠)	費(A) 費(B) こ)=(A+ 象の数(D数 コスト(C/ 手平均値 果指標 を ますくする) (1) D)の の数値i る指標) うたりの	医療	千円 千円 人 千円 単位	予算 決算 決算 決算	4. 4. 4. 4. 4. (現状) (現状) (2022) 4. 39,406	25,615 25,484 2,338 27,822 11,212 37 年実績 子ども- 要以上	407,847 375,978 3,263 379,241 11,278 36 R9年度 標の根拠:調査名	430,228 430,173 3,541 433,714 11,220 37 目標①】 (2027) 年実績 39,406 、調査年など出身 療費支給額が、	440,836 440,288 4,027 444,315 11,173 37	464,544 - - - 13,152 (目標②) 度(2032)年実績 39,406
	中間子ども 費支給 (指標の 子どもがに、案り	事業 人件 総コスト(の 事業対象 (R5年度) 対象あたりニ 対象あたり (事業の意図を 変換 で 変換 を 変換 を 変換 を 変換 を 変換 を 変換 を 変換	費(A) 費(B) シ)=(A+ 象の数(D) ままして(C/ 手 果指映する 者一人 あ すくするた) 対) D)の の数値 3指標) うたりの ことは重め。	医療 要であ まる 日本	千円 千円 十円 人 千円 単位 人 るが、必要以上 り、これまでの者	予算 決算 決算 決算 R4年度 の医療を使わる で非課税世帯の	4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4	25,615 25,484 2,338 27,822 11,212 37 年実績 び子要績 での者を	407,847 375,978 3,263 379,241 11,278 36 R9年度 標の根拠:調査を 一人あたりの医に に医療費を使用 目標額とした。	430,228 430,173 3,541 433,714 11,220 37 目標①】 (2027) 年実績 39,406 、調査年など出身 療費支給額が、 引していないと考	440,836 440,288 4,027 444,315 11,173 37 R14年月 毎年度同等程度 えられるため、4	464,544 - - 13,152 【目標②】 度(2032)年実績 39,406 ほであれば、必
	中間子ども給の子どもなって、案の子に、案の事業	事業 人件 総コスト(C 事業対度) 対象あたりニ 対象あたりニ が医療の対象を 額 変を摂動の対象を 額 設定根拠) が医療を受けや りしていくことも	費(A) 費(B)) = の数に の想え「CO/値 工ス平 指映 人 すす重 など	(活動の 令和54	医療 重要であ 手4月の年 エピソー 乗1月よ	千円 千円 千円 千円 人 単位 人 あが、必要以上 りで入済者での特別 り、こ末メント、医療 り、入院医療	予算 決算 決算 決算 R4年度 の医療を使わる で非課税世帯の	(現状) (現状) (2022) 4 39,406 にいよう 交卒業まで 次本の医療	25,615 25,484 2,338 27,822 11,212 37 年実績 「数と以額をといるでで表す。 でで表するでで表する。 でで表するでで表する。 でで表するでで表する。 でで表するでで表する。	407,847 375,978 3,263 379,241 11,278 36 R9年度 標の根拠:調査を 一人医療費とした。 上医療費とした。 上医療費とした。	430,228 430,173 3,541 433,714 11,220 37 目標①】 (2027) 年実績 39,406 、調査年など出身 療費支給額が、 引していないと考 対象としていた。 そが放大した。	440,836 440,288 4,027 444,315 11,173 37 R14年月 毎年度同等程度 えられるため、4	464,544 - - - 13,152 (目標②) 変(2032)年実績 39,406 まであれば、必 令和4年度の実
	中間子ども給の子どもなって、案の子に、案の事業	事業 人件 総コスト(の 事業対象 (R5年度! 対象あたりコ 過去3年 (事業の意図を 医療費の対象を 額 設定根拠) が医療を受けやも りしていくことも 開始からの経緯	費(A) 費(B)) = の想と(C/値 まなと)(D値 標) をするた	(i) (i) (i) (ii) (iii)	医療 要であ 手も初い より より より より より より より より より より	千円 千円 千円 千円 十一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	予算 決算 決算 決算 決算 の医療を使わる 配院ともに中学校で非課税世帯の 事項など)の支給に同にてど	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	25,615 25,484 2,338 27,822 11,212 37 年 数 ど以額 を度 限制 医療の で費 を度の を度の の費	407,847 375,978 3,263 379,241 11,278 36 11,278 36 R9年度 標の根拠:調査を 一人あたりの使用目標額とした。 上医療費支給の業 上とに発するよう事業	430,228 430,173 3,541 433,714 11,220 37 日標①】 (2027) 年実績 39,406 、調査年など出身療力としていた。 対象としていた。 代の全ての者を 郵送により周知 め、制度変更の通	440,836 440,288 4,027 444,315 11,173 37 R14年」 毎年度同等程度 えられるため、会 ものを、入院についた。	464,544 - - 13,152 (目標②) 妻(2032)年実績 39,406 まであれば、必 令和4年度の実 Oいて18歳に こ。制度変更に ジェネリックの利

子ども医療費の対象となる世帯に対して、子ども医療費制度の説明を行えるのが、医療証の発行時のみとなっているため、費用面などを考え個別に通知を送る以外の方法で、子ども医療制度について考えてもらえるような方法を検討する。

今後の 方向性

事務事業①			7	子ども医療費支	給事業			
活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	ン】 入院費助成について、 「変更となったため制度	Д	見込	600	720	750	750	750
案内を行う。 【アクションプラ	ン】		実績 見込	1,939	1,000	1.000	1 000	1.000
(2) 出生等により新	規に受給資格を持っ 医療費受給者証の発	Д	実績	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	910		見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>					今往	後の方向性	改善・見直し
送った。	生世代の入院について いては広報により全世			4年度は高校生	世代全体に通	知をコ	スト投入	拡充
事務事業②								
活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込					
			実績					
	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込					
14.	X-47 1H 1/K 2		実績					
(3)			見込 					
<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>		入帳				《	
						71	後の方向性 	
						=	スト投入	
事務事業③								
活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1) 運営に携	わる市民の人数	人	 実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2023)	(2020)
(2) 【アクション	プラン(総合計画)の		見込					
	定の指標】		実績					
(3)			見込					
	(/- 		実績					
<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))					今往	後の方向性	

事業番号 成人保健事業 34 事業名 担当部課 福祉部健康推進課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 5 横断的な事務の推進(連携改善) 区分 法定受託事務の有無 右 健康増進法 予算区分(款 一 項 一 目) 有 長久手市健康づくり計画 その他(関係計画、要綱等) 4-1-2 予防費 基 本情報 健康増進法(平成14年法律第103号)第19条の2に基づく健康増進事業として、がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検 診などを行い、また若い世代からの生活習慣病を予防する対策の一環として、市民が自分の健康状態を確認し、早期発見・ 早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的とし実施。健康づくり計画(第2次)からは「健康管 事業開始の背景、経緯等 理」の項目として位置付けている。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 民間事業者とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 主に40歳以上の市民(ただし、39 事業フロー(ロジックモデル 歳以下健診は、16歳~39歳以下を 対象) 【目的】 各種健診の受診行動を通し 各種健診の受診者数及び受 市民の健康寿命が延伸する。 て、市民が自分の健康に関心 診率が増加 を持ち、自ら健康づくりに取り 各種健診事業を行い、市民が受診 することで、自分の健康状態を確 組む人が増える。 認し、疾病の早期発見や早期治療 につながる。 若い世代から健康に関心を持ち、 健康の保持増進を図る。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2021)(2022)(2023)(2020)予算 144.327 151 677 153.387 154 650 161.539 事業費(A) 千円 П 決算 141,090 151,696 148,094 143,252 ス 7 人件費(B) 千円 決算 21.607 18.934 22.262 26.983 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 162 697 170 356 170 235 170 630 事業対象の数(D) 30,624 28,384 24,949 24,826 25,074 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 6 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R14年度(2032)年実績 (事業の意図を反映する指標) R9年度(2027)年実績 健康診查受診者数 26.092 27.423 24.826 人 捗 (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 状 (指標の設定根拠) 況 受診者の増加が、疾病の早期発見、早期治療につながるため R4年度実績をベースにし、延受診者数の年1%増 平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」において、基本目標である「健康寿命の延伸」を達成するための領域の・ 事業開始からの経緯など つとして、「健康管理」を挙げ、性別・年齢を問わず各種健診の受診を進めていくこととしている。令和3年度に眼底検査を検 診項目から外したことで総受診者数が減少したが、令和4年度はコロナ禍による受診控えも回復傾向にある。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り返り 健診予約にweb予約システムを導入し、健診日の変更が受診者自らできるようにして、受診者の利便性を高めた。また、2つ 令和4年度の成果 の健診を同時に受診できる日を設定した(乳がん検診と子宮頸がん検診のセットを6日間、39歳以下健診と子宮頸がん検診 のセットを1日設定)。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント がん検診推進事業として、20歳女性に子宮頸がん検診無料クーポン券、40歳女性に乳がん検診無料クーポン券を送付して いるが、特に子宮頸がんクーポン券の利用率が3.3%と低く、若い世代の受診を促進する必要がある。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 特に若い世代の子宮頸がん検診受診促進を図るため、2つの検診を同時受診できる日を設定する。 今後の

後

方向性

web予約システムを活用して、集団検診での検診日を受診者自ら選択できるようなweb予約システムの活用や、受診票(受診券)の送付方 法の見直しにより、R9年度までにさらに受診者の利便性を高め、受診しやすい環境を整えていく。

事務事業①				39歳以下健調	多事業			
		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
[77b]	ションプラン】		見込	380	400	410	420	430
	下健診受診者数	Д	実績	270				
現 式 よ (a) 子宮頸がん検	診とのセット検診の受	ı	見込	75	120	130	140	15
ナ (2) テ _{西類が} の検 る ま	診者数	, ,	実績	54				
· · · · · · · · · · · · · ·			見込					
			実績					
<備考: 沽動の概要(R4			. 				後の方向性	改善・見直し
市国民健康保険加入の3 た。健診受診者数が、令 ほかにも、子宮頸がん検	和3年度の202人から、27	70人に増加した。			もい ト健診の勧挙		スト投入	現状維持
事務事業②								
活動		単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事務事業の具体	的な活動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
(1)			実績					
<u> </u>			見込					
(1) (2) (3)			実績					
7			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	.年度(2022)}>					今後	後の方向性	
							スト投入	
事務事業③								
活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
(1) 運営に携 成 (2) 【アクションコ 指 (3) (3) (3) (3)	f=\ /\		見込					
な (2) 【アクション』	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))					今後	後の方向性	

					長久	、手市行政				評価票)				
事業	番号	35	事	業名		•	健康づくり推	進事業	<u> </u>		<i>,</i>	部課	福祉部健	康推進課
	第6次	総合計画·基	本目標	4 誰	もがいき	いきと安心して	暮らせるまち				ペ-	‡書 -ジ	_	
	行政司	改革指針·重	点課題	5 横	断的な事	事務の推進(連携	携改善)				会計 区分		一般会計	t
	法定	ミ受託事務の	有無	有	健康増	進法						予算[区分(款 - 項 -	- 目)
基本	その他	(関係計画、	要綱等)	有	長久手	市健康づくり計画	<u> </u>						4-1-2 予防費	
本 情 報	事業閉	開始の背景、	経緯等			基づき平成15年 建康づくり計画(第	[2次)」を策定し	、継続し	て健康で	づくり事業に取り			ら事業を開始した	≃。その後、平
		:・民間事業者 携協働の可能			両者と	協働可	(両者と協働不可]の場合 	はその理	由)				
	(.	①事業I どんな活動を)			【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成り 象はどうなるの			④最終ア	
	<u> </u>	対象に】	. 1 3 5 5 7 5 7	,		(加到の神木、	C 7/2/00/13/7			の目標】	7,7		(1)20 (2	<i>J.G.</i> 00713 /
事業フロー (ロジックモデル)	市民(作 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 る 人	建康づくり事業	又り組むこ	とがで		健康測定会ででいい。 健康測定会ででいい。 健康は、健康は、健康のでは、 は、健康のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	度を知る。 構し、健康に関こつける。 こ参加し、歯科 心を高める。 眼講座に参加		健康で、自分関係を対象がある。	くり事業に参加 汁の健康づくりに 高める。 くり事業で得た! 人にも伝えるこ 健康づくりに関心	対して 知識を とで、周		自ら健康づくり! 増えることで、す の健康寿命がる	
	İ	:	項目			単位	区分		年度	R2年度 (2020)		F度 21)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
							(2019)		3,385	3,189		2,760	, ,	6,502
_		事:	業費(A)			千円	決算		2,341	1,681		1,819		_
スト		人	件費(B)			千円	決算		16,348	12,640		15,677	15,071	-
推 移		総コスト	(C)=(A+	-B)		千円	決算		18,689	14,321		17,496	17,413	-
	-	3 -1	象の数([Д			14,332	13,242	!	11,901	11,989	11,989
		対象あたり	gは想定数 Jコスト(C			千円			1	1		1	1	
	市 題	過去3	8年平均值 t里均槽		20 中	, , ,		【現状】			【目標①			[目標②]
		(事業の意図			ix Æ	単位	R4年度		年実績		(2027) (2027)			度(2032)年実績
進	健康づく 事業)	くり事業参加	1者数(例	建康推進	課主催	人		11,989)	7	12,292			12,602
· 排 状 況	(指標の語	没定根拠)							(数値目	標の根拠:調査4	呂、調査年	など出典	()	
沅						べきる人を増や 進につながるた		してい		進課主催の健原 実績をベースと			参加者数	
<u>-</u>	事業閉	開始からの経	緯など	る啓発:	を目的に している	に健康教育、8520 。令和4年度はた	0・9020運動、禁 がん患者補整具	煙外来	治療費即	カ成、健康マイレ	ノージ事	業などを	」を達成するため ・展開し、市民の ・。	
振り返り	令	和4年度の原	 发果	令和4年 長寿課 科相談	F度は健 と連携し を実施し	、骨密度測定の した。食と健康を	月と2月の2回開付 1他に栄養相談・ 考える会(市民[や血管	ーン測算	官、歩行測定な	ど実施し	た。また	康測定会では、 、参加者に歯科 開発を実施した。	健康教育·歯
		改善ポイント		健康測	定会で	と、改善の方法な 令和4年度は三郎 里実習をしたいと	T会との共催が						ををしていく。小学	生白けの朝食
		(事業	の成果を高	高めるため	りの事業の	の方向性)								
今後	今後 方向	性 甲氏				めるきっかけを打 とや民間への移 ^り		手市健	康づくり言	計画(第2次)」 <i>0</i>)最終年	度である	5令和6年度末ま	でに、健康づく

事務	事業①		健康づくり教室事業											
	活動	指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
(事務	8事業の具体	的な活動の指標)	丰匠	四月	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)					
(1)	運営1-1	携わる市民の数	\downarrow	見込	30	30	30	35	40					
(1)	建五[5]	547 © 111 EC 07 9X	^	実績	29									
(2)	【アク	ションプラン】	1	見込	500	500	500	500	500					
(2)	健康講	座の延参加者数		実績	452									
(3)				見込										
(3)				実績										
・食と健康を	考える会、な	・年度(2022))> にがくてすこやかメイトの2・ レイル予防のレシピ紹介1			今	後の方向性	改善・見直し							
		訳:体成分分析装置測定: 講座「更年期を健やかに			座36人、健康測定	至会111人、歯科係		コスト投入	現状維持					

	事務事業②		健康づくり計画推進事業									
	活動	指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年月	芰	R7年度	R8年度		
	(事務事業の具体	的な活動の指標)	- i=	-//	(2022)	(2023)	(2024)		(2025)	(2026)		
事業		プションプラン】 ジ優待カード発行者数	,	見込	300	330		500	500	500		
を	()) 庭康、「ル	【単年】	^	実績	412							
式よ	(2) ラジオ	-体操講師派遣		見込	2	4		5	5	5		
業を構成する事	(2)	冲沫 뼈即派追	П	実績	2							
	(3)			見込								
務事業2	, ,			実績								
_		1年度(2022))> 目標である「健康寿命の3 18歳以上の市内在住、在				達成するかイベン	小に参	今征	後の方向性	改善・見直し		
	く、アプリでの参加も可。	養得でき、50ポイント達成し 発」健康体操として啓発。						٦	スト投入	現状維持		
	事務事業③											

	,	737 A @								
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	B7年度	R8年度
ᇂ					区刀	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事 業を	(1)	運営に携	わる市民の人数	Д	実績					
構成	(2)		プラン(総合計画)の		見込					
次する	(2)	指:	定の指標】		実績					
· 事 務	(3)				見込					
事					実績					
業 ③	<備考∷	活動の概要(R4	年度(2022))					今	後の方向性	
						=	コスト投入			

事業	番号	36	6	事業	名			母子保健	事業			担当	部課	福祉部健	康推進課
	第6次約	(合計	画·基本	目標	2 子	どもがテ	元気に育つまち						章書 −ジ	_	
	行政改	革指釒	计•重点:	課題	5 横	断的な	事務の推進(連	隽改善)				会計 区分		一般会計	-
	法定	受託事	務の有	無	無								予算[区分(款 一 項 -	- 目)
基	その他(関係計	十画、要組	綱等)	有	母子保	健法、第2期長	久手市子ども	育て支	援事業計	画		4	-1-4 母子保健3	ŧ
本 情 報	事業開	始の背	背景、経 線	緯等	法に基	づき、昭	【和34年から事業	美を実施してい	る。						
			事業者と の可能性		民間	事業者と	とのみ協働可	(両者と協働不	可の場合	はその理り	由)				
	ٹے)		事業内容 舌動を行				②アウトプッ (活動の結果、	ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成身 象はどうなるの			④最終ア (市としてど	*
	◆【誰を文 近産婦・孚 近産婦の】 1 1 1 1 1 1 1 1 1	礼幼児 	とその家		ସି ଚିତ୍ର		まちの保健師を 師等に相談した 所)を整備する		保健師	をの目標】 等に相談できる が増える。	環境		市民の健康の値	呆持・増進	
			項目	B			単位	区分		年度)19)	R2年度 (2020)	R3 ±		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
			事業費	費(A)			千円	予算 決算		116,927 107,024	124,494		132,058 117,340	131,726 183,010	125,486
コス	!		人件看	弗/D)			千円	決算		27,156			41,599	42,252	
推移	-	40-			-\					·	31,929				_
恀			コスト(C) 『業対象				千円	決算		134,180	140,668		158,939	225,263	_
		(R	5年度は あたりコン	は想定数)		Д			20,049	20,049		20,049	20,049	20,049
			過去3年		J) ()		千円			7	7		7	9	
			」ム【成果)意図を			设定	単位	R4年	【現状】 (2022)	 年実績		目標① (2023)			目標②】 (2024)年実績
進	まちの保]数	0		90	1 2 4 3 4		100	1 2 4 1 2		120
進 捗 状況	(指標の設	定根拠	<u>l</u>)							(数値目		、調査 年	など出身	ŧ)	
況	まちの保付	建師の)実施が [.]	保健師等	等に相言	淡しやす	い環境の整備に	こつながるため)	児童館	等でのまちの保	:健師の	実施予算	定回数とした。	
	事業開	始から	の経緯	_	平成26 る。	年4月か	ら地域保健活動	動として、保健館	ボが地域	に出向き	大市民の健康や	や子育て	の悩み	について相談等	を実施してい
振 り					(活動の	エピソー	ド、コメント、特記	事項など)							
返り	令和	04年月	度の成果	-	児童館	の他に、	市民主催の子	育てサロン等に	を加し	保健師等	等の相談業務に	ついて	、周知し	ている。	
	ā	改善ポ	イント				と、改善の方法なこついて知らない		め、HP	、課の事	業等で周知する				
			(事業の原	成果を高	めるため	の事業	の方向性)								
今後	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 方向性 令和8年度までに相談支援体制の充実、関係機関との連携によ								こより切れ	1目ない	支援体制の整備	を図る。	o		

	事務事業①				母子保健事務	务事業				
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 母子保健コー	-ディネーターの配置	Д	見込	3	3		3	3	;
を 構				実績	2					
事業を構成する事務事業①		ションプラン】 ディネーターの相談件 数	件	見込 実績	795 913	786		740	740	740
· 事 務		~		見込	010					
事業	(3)			実績						
(1)	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>						今後	後の方向性	改善・見直し
	妊娠期から出産・育リ 別支援プラン作成9件	見まで関係部署と連携 ・、個別相談220件、ま	し、切れ目なし ちの保健師426	い支援を行う。 件、予防連絡会	妊娠届出スク :12回	リーニング630	件、個		スト投入	現状維持
	事務事業②									
	活動			産前	産後サポータ	一派遣事業				
	(争務争業の具体	指標 的な活動の指標)	単位	産前 区分	産後サポーター R4年度 (2022)	一派遣事業 R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		的な活動の指標)	. –		R4年度	R5年度				
事業を構		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	単位か所	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)		(4)	(2025)	
事業を構成す	(1) 委i	的な活動の指標) 托事業者数 ションプラン】	か所	区分 見込	R4年度 (2022) 4	R5年度 (2023)		(4)	(2025)	(2026)
事業を構成する事	(1) 委i	的な活動の指標) 托事業者数	. –	区分 見込 実績	R4年度 (2022) 4 4	R5年度 (2023) 4		4	(2025)	
事業を構成する事務事	(1) 委i (2) 【アク 新規利用	的な活動の指標) 托事業者数 ションプラン】	か所	区分 見込 実績 見込	R4年度 (2022) 4 4 60	R5年度 (2023) 4		4	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業②	(1) 委託(2) 【アク 新規利用(3)	的な活動の指標) 託事業者数 ションプラン】 登録者数(単年)	か所	区分 見込 実績 見込 実績	R4年度 (2022) 4 4 60	R5年度 (2023) 4		4	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業②	(1) 委i (2) 【アク 新規利用	的な活動の指標) 託事業者数 ションプラン】 登録者数(単年)	か所	区分 見込 実績 見込 実績	R4年度 (2022) 4 4 60	R5年度 (2023) 4		4 65	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業②	(1) 委託(2) 【アク 新規利用(3)	的な活動の指標) 託事業者数 ションプラン】 登録者数(単年) 年度(2022))>	か所人	区分 見込 実績 見込 実績 見込 実績	R4年度 (2022) 4 4 60 24	R5年度 (2023) 4	(202	4 65 今後	(2025) 4	(2026)

	事系	務事業③								
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	RJ年度	R8年度
重	(4)	VER 336 r = 146			区刀	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
業を	(1)	連宮に携	わる市民の人数	Д	実績					
事業を構成す	(2) 【アクションプラン(糸につのた		プラン(総合計画)の		見込					
がする	(2)	指定の指標】			実績					
る事務	(3)				見込					
務事業③					実績					
3	<備考∶氵	舌動の概要(R4	4年度(2022))>					4	後の方向性	
									コスト投入	

放課後児童クラブ事業 事業番号 37 事業名 担当部課 子ども部子ども未来課 決算書 第6次総合計画・基本目標 2 子どもが元気に育つまち 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 有 長久手市児童クラブ運営要綱 その他(関係計画、要綱等) 3-2-1 児童福祉総務費 基 本情報 児童福祉法の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもたち に対し、授業の終了後に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図 事業開始の背景、経緯等 る。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市内に住所を有する小学校1年生か 事業フロー(ロジックモデル b6年生までの児童 放課後の児童の居場所事業 【目的】 に対して、市民に事業を理解 していただき、子育て支援施 受入れ定員の拡充数 加入希望者の受入れ割合が 策に対する満足度が高い状 9割5分を超えること。 人所要件を満たす児童をすべて受け 入れ、放課後児童の居場所(生活の 場)を確保する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 区分 項目 単位 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 149.165 162 834 170 230 188 051 201.319 事業費(A) 千円 П 決算 153,731 173,366 177,552 200,181 ス ۲ 人件費(B) 千円 決算 8.743 99.604 78.631 82 617 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 162 474 256 183 282 798 272 970 事業対象の数(D) 883 986 1,045 1,031 1,031 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 283 265 255 235 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R5年度(2027)年実績 R6年度(2032)年実績 (事業の意図を反映する指標) 進 加入希望者の受入れ割合 95 % 94.2 95 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 全ての利用希望児童を放課後児童クラブで受け入れることにより、放課後 (児童クラブ、学童保育所においての) 児童の居場所を確保することができるため 参加児童数/申込者数 事業開始からの経緯など 毎年度、待機児童対策のために、受入れ児童数を増やす対策を行ってきたが、常に需要が供給を上回る状況となっている。 現状の分析を行い新たな施策検討が必要な状況となっている。 振り返り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年度の成果 低学年を優先した参加児童の選定を行い、待機児童が生じている南小学校区では、高学年の児童館下校を実施した。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 今後も、受入数、時間延長、保育内容など、利用ニーズが増加傾向かつ多様化しており、市がすべての利用ニーズに対応 することは困難になってきている。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の

待機児童の解消や生活の場としての適切な保育環境の提供に向けて、令和6年度から、民間活力を活用した新・放課後子ども総合プラン

に基づく、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型運営を実施する。

· 後

方向性

事務事業①			放課後	の子どもの居場	易所拡充事業			
活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	プラン(総合計画)の 定の指標】		見込	20	20	40	0	
	定の指標』 員の拡充数【単年】	人	実績	20				
(2) 受力	入れ児童数	, ,	見込	1,045	1,045	1,045	1,045	1,0
(2) 支力	八化元重数	^	実績	1,031				
(3)			見込					
			実績			_		
<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))>					今後	後の方向性	改善∙見直
生地日产料 18 夕 1、 =		ケの旧主約でも	h. t. 中 tr. l. t			_	→ 1 +0.3	++ *
待機児童数が多い、同	判小学校区では、高子	・年の児里郎 下1	仪を美肔した。 			_	スト投入	拡充
事務事業②								
活動	 指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事務事業の具体	的な活動の指標)	74		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
(1) 運営に携	わる市民の人数	人	見込 ——実績					
			見込					
	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))		人们				(a + + ld	
						今位	後の方向性	
						٦	スト投入	
事務事業③								
活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
			見込					
(2) 【アクションフ 指:	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))	T	入小县				6 - 1 6	
						今征	後の方向性	

事業番号 保育園事業 38 事業名 担当部課 子ども部子ども未来課 決算書 第6次総合計画・基本目標 2 子どもが元気に育つまち 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 子ども子育て支援事業計画 その他(関係計画、要綱等) 有 3-2-5 保育園費 基 本情報 就労等の事情により、その保護者が児童を保育できない場合に、保育園で保育を行う。 事業開始の背景、経緯等 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 市民とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 就労等の事情により、その保護者が 児童を保育できない場合の児童及び <u>_</u> その保護者 事業フロージックモデル 保護者は、児童を預けること で、就労等が可能となるが、 市民と保育園が連携すること 【目的】 保育士の負担が増えることに 市民と保育園が連携した状態 で、子育てしやすいまちにな よる保育士の負担を軽減する 子育てしやすいまちを目指し、保護者 となり、園では充実した保育 ため、保育園おたすけ隊の人 の就労や病気等の理由により、家庭 が行われる。 数を増やす。 で十分な保育を受けられない子どもを 身の発達を援助しながら、保護者に **かわって保育を行う環境を整える。** R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2021)(2023)(2020)(2022)予算 272 845 318 521 380.295 355.913 399.044 事業費(A) 千円 П 決算 251,942 305,401 364,878 359,943 ス 7 人件費(B) 千円 決算 10.432 323.323 306,210 348.201 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 262 374 708 144 628 724 671 088 事業対象の数(D) 袁 6 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 86 788 63 324 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R6年度(2024)年実績 (事業の意図を反映する指標) 保育園児童館等地域交流事業として、お 人 70 77 85 たすけたいの登録者数 捗 状 (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) (指標の設定根拠) 況 保育園の様々な事業の負担軽減のために、人数を増やす必要があるため 目標は、1園あたり10~15人×6園=85人とした。 事業開始からの経緯など 地域の住民の方々と一緒に保育園の子ども達を見守るしくみづくりのために事業を開始した。 振り返り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 園児のお散歩に同行していただいているおたすけたいの方の中には、5年以上継続している方もおり、保育士が安心して園 令和4年度の成果 児の見守りに加わっていただいている。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 園によって、登録者数に差があるため、地元周知を図る。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の · 後 方向性 園によって、登録者数に差があるため、令和7年度までに特に少ない園の地元周知を図ることで、全体の登録者数を85人に増やす。

	事務事業①				保育園事務	 事業			
		 指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体	的な活動の指標)	- 単位	区方	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業①	(1) 運営に携	見れる市民の人数	人	見込	85	85	8	85	85
を 構				実績	85				
成 す		プラン(総合計画)の	人	見込	85	85	8	85	8
る 事	指定の指標』	(保育園おたすけ隊)		実績	70				
務 事		プラン(総合計画)の	人	見込	70	70	70	70	70
美 ①	担との担保:	【児童館おたすけ隊)		実績	70				
	<備考:活動の概要(R4							後の方向性	改善・見直し
	コロナ禍で、保育園に出 整備や、送迎時の安全が	向いての活動が少なかっ 対策、行事の手伝いなど、	たが、収束後は、保育園のちょっと	これまでのような とした困りごとを即	、草取り、落ち葉だ かける活動行う。	清掃等の保育園		 コスト投入	現状維持
									5九1八小庄1寸
	事務事業②								
		1指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
事業を構成する事務事業②	(事務事業の具体	的な活動の指標)	. –	見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
	(1) 運営に携	見わる市民の人数	人	実績					
				見込					
े इ		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
事				見込					
事業	(3)			実績					
2	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))		X198				₩ 0 ±5₩	
							7	後の方向性 	
							=	コスト投入	
	事務事業③								
		 指標			R4年度	R5年度	R6年度	RJ年度	R8年度
1				区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
美	(1) 運営に携	きわる市民の人数 	Д	実績					
構 戈	(2) 【アクション	プラン(総合計画)の		見込					
5	指	定の指標】		実績					
事 务	(3)			見込					
事業を構成する事务事業3		1左座(2022))		実績					
3)	<備考:活動の概要(R4	+平度(2022))					今	後の方向性	

事業	番号	3	9	事第			地均	或型保育事業	支援	事業		担当	部課	子ども部子	ども未来課
	第6岁	ア総合計	画•基本	目標	2 子	どもがぇ	元気に育つまち					決算 ペー		_	
	行政	改革指統	計•重点	課題	_							会計区分		一般会計	t
	法	定受託事	事務の有	無	無								予算[区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他	也(関係記	十画、要	綱等)	有	子ども・	・子育て支援事業	業計画					;	3-2-5 保育園費	
本 情 報	事業	開始の育	背景、経	経等	事業に	位置づ(けられ、国の給化	・子育て支援新 寸制度の対象事 呆育事業が2園開	業として	「開始した					
		民•民間 連携協働			民間	事業者の	とのみ協働可	(両者と協働不可	の場合	はその理	曲)				
	•	_	事業内 舌動を行	容 fうのか))			ト【活動指標】			アウトカム【成男 象はどうなるの			④最終ア (市としてど	'ウトカム うなるのか)
事業フロー		り】 保育事場 とうの児 での地域	ての保育 とはま と事 しの保育 での保育	が必要 小規模庭のの 場をする がよる がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない	呆 育 事 育 ま 業 で 加					保育園	をの目標】 が増えることで、 な園児が入所す る。			待機児童の減な	Þ
			項	[目			単位	区分		年度	R2年度	R3年		R4年度	R5年度
	i							予算	(20)19)	(2020) 7,637	(20)	7,271	(2022)	(2023) 9,575
П			事業	費(A)			千円	決算			5,573		6,708	·	-
スト			人件	費(B)			千円	決算		_	1,491		1,879	1,361	-
推移)=(A+			千円	決算		0	7,064		8,587	25,821	-
				東の数(D は想定数			園			5	6		7	7	8
				Iスト(C/ E平均値			千円								
	中間			果指標】 ·反映する			単位	R4年度	【現状】	年実績		【目標①】 〔(2023):		_	目標②】
進	地域型	保育事	業者数				箇所		7			8			8
捗 状 況		設定根拠 童の解》		かに受け	入れ施	設を増く	やす必要がある	ため。			です。			としており、市が	認可した施設
	事業	開始から	らの経緯	など	本市で	は、平成	戊27年度から小 ラ	規模保育事業所	が2園、]、家庭的	的保育事	耳業が2園開業し	ている。
振り							・ド、コメント、特記								
り返り	ŕ	う和4年)	度の成績	果				新規事業者に係 施策を並行して写			る監査を実施す	るなど、	入所希	望児童の受け <i>刀</i>	人れ先の確保
					(改善か	・必要なこ	と、改善の方法な	i ど)							
		改善力	ペイント		保育の	質の向.	上のため、現行	の保育事業者へ	も保育	内容に関	関する監査を実	施する。			
			(事業の	成果を高	らめるため	めの事業	の方向性)								
今後		後の 句性		年4月1 査を実施			する保育所にて	ついて、指導監査	を実施	し、保育	の質の向上を図	図る。今後	後も、既	存の施設につい	ても引き続き

	事務事業①			+th	域型保育事業	古 控車業				
				عاد	R4年度	R5年度	R6年	- r#=	R7年度	 R8年度
	^{位判} (事務事業の具体		単位	区分	(2022)	(2023)	(202		(2025)	(2026)
事				見込	84	103		103	103	10
業を	(1)	定員数	, ,	実績	84	103		103	103	10
構 成	[7 /12:->:-	プラン(総合計画)の		見込	7	8		8	8	
する		地域保育所の設置数)	か所数	実績	7					
事業を構成する事務事業①				見込						
事 業	(3)			 実績						
1	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>		2 4				^.	* O + O + I	1.t 1.
								7 1	後の方向性	拡充
	令和5年4月開園予定の	の小規模保育事業所を	公募し決定した	.				٦	スト投入	現状維持
	事務事業②									
	活動		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年		R7年度 (2025)	R8年度
事	事務争未の具体	的な活動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(20)	24)	(2023)	(2026)
· 業 を	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績						
事業を構成する事務事業②	7 —4.3.3.	(#\ \ = \ \ 0		見込						
する	(2) 【アクション。 指	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
事 務				見込						
事業	(3)			実績						
(2)	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>						今往	後の方向性	
							-			
								٦	スト投入	
	事務事業③									
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
事	(1) 運営に携	わる市民の人数	人		(2022)	(2023)	(20)	24)	(2025)	(2026)
未 を 世				実績						
博成する		プラン(総合計画)の 定の指標】		見込						
事業を構成する事務事業③				実績						
事 務 車	(3)	(3)		見込						
業の	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022)) >		実績			1			
9								今往	後の方向性	
									スト投入	

事業	番号	4	0	事美	業名			利用者支援	事業			担当	部課	子ども部子	ども未来課
	第6次	マ総合計	画•基本	5目標	2 7	どもがぇ	元気に育つまち					決算 ペ-		_	
	行政	改革指針	計·重点	課題	_							会計区分		一般会計	+
	法	定受託事	事務の有	無	無								予算	区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他	也(関係記	十画、要	綱等)	有	子ども・	・子育て支援計画	画事業					;	3-2-5 保育園費	
本 情 報	事業	開始の背	背景、 経	緯等	て支援	事業等を	を円滑に利用で		子育で	コンシャ	者等、または妊 ルジュを配置し、 援を行う。				
		民•民間 連携協働			ī	市民との	み協働可	(両者と協働不可	の場合	まその理	由)				
		① (どんな)	事業内 舌動を行)			ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成果 象はどうなるの:			④最終ア (市としてど・	*
事業フロー(ロジックモデル)		保育施設 利用でき に子育で 施設や 利用など	護者ない やようい でよるようで でようで	て支援 ³ こするた ェルジュ に関する	事業を めに、 を配置 5サー		相談者は、市役気にせず、気軽 ジュに相談する また、コンシェノ 向き、コンション PRすることが深くなる前に る。	経にコンシェル うことができる。 レジュが園へ出 レジュの存在を 相談者の悩み			をの目標】			悩みをもつ保護	者の減少
			項	目			単位	区分		手度 119)	R2年度 (2020)	R3年 (20)		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
			事業	費(A)			千円	予算 		2,276	·		2,518	·	2,057 –
スト			人件	費(B)			千円	決算		301	296		437	435	_
推 移	H	総		s)=(A+	В)		千円	決算		2,576	2,666		2,493	2,492	_
	-	4	事業対象	kの数(D)		園	***		9	9		9	·	9
		対象	あたり=	<u>ま想定数</u> ιスト(C∕	(D)の		千円			•	1		1		
	山田	アウトカ		F平均值 B 华 煙 】		記 中	117		【現状】		'	目標①】	· ·		目標②】
		(事業σ	意図を	反映す	る指標)		単位	R4年度		年実績	_	(2023):	-	_	(2024)年実績
進 捗		数 (市行 ンター)		コ、電話	古・保育	育園 •	件		470			570			670
状 況		設定根拠に関する		相談を	受けるこ	ことで、気	を問や状況を解え	央するため			標の根拠:調査名 月50人×12月と			ŧ)	
+=	事業	開始から	らの経絡	など	たため との連	、窓口に 絡調整等		ルジュを配置し、 そを行う。			呆護者のニーズ 共を行い、必要に				
振り返り	ŕ	5和4年)	度の成績	果	コロナ	禍で行事	が中止された其	期間は、保育園や			向いての相談業 談を受けることだ			ったが、保育所入	、所相談が増
		改善术	パイント				と、改善の方法なりる施設		が、最終	冬的に保	育施設が足りな	いためī	市民の二	ニーズに応えられ	ιない場面が
			(事業の	成果を高	あるたる	めの事業	の方向性)								
今後		句性	入所で	きなかっ	た者へ		ノーフォローとして				談者の悩みが浮 一時保育の利用				

	事務事業①			子	育てコンシェル	ジュ事業				
ı	ニュース (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
4	「事物事業の共産	11767日到 271日1示/		見込	— (Z0ZZ)	(2023) —	(202	4)	-	_
事業を構成ける事务事業の	(1) 運営に携	わる市民の人数	_	実績	_	_	_		_	_
	(2) 【アクションフ			見込	640	570		670	670	67
	(2) 指定の	指標】相談件数	人	実績	470					
	(3)			見込						
				実績						
•	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))>						今往	後の方向性	改善・見直し
4	令和4年度の相談者数	数 市役所窓口158	人、電話229	9 人、保育園・	保健センター	等83人		7	スト投入	現状維持
	事務事業②									
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
				見込	(LULL)	(2020)		''	(2020)	(2020)
	(1) 運営に携	わる市民の人数	, , ,	実績						
		プラン(総合計画)の		見込						
	指	定の指標】		実績						
	(3)			見込						
)	、, <備考:活動の概要(R4	年度(2022))		実績						
	\ 開与 . 心	+長(2022))						今往	後の方向性	
								٦	スト投入	
	事務事業③									
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(202	4)	(2025)	(2026)
- - - -	[¬h:\	プラン(総合計画)の		見込						
	(2) 【アクション)	定の指標】		実績						
) 	(2)			見込						
	(3)			実績						
)	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022)) >						今往	後の方向性	
									¬ (+л. 1	
								_	スト投入	

子育て支援センター運営事業 事業番号 41 事業名 担当部課 子ども部子ども家庭課 決算書 第6次総合計画・基本目標 2 子どもが元気に育つまち 会計 行政改革指針 重点課題 一般会計 無 予算区分(款 一 項 一 目) 法定受託事務の有無 有 子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画 3-2-1 児童福祉総務費 その他(関係計画、要綱等) 情報 平成20年度から、次世代育成支援法(当時)に基づき、子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助を行う 事業開始の背景、経緯等 ものとして開始した事業。令和3年度から重層的支援体制整備事業の地域づくり事業にも追加。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ①事業内容 ③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市内の児童及びその保護者 【目的】 事*ジ* 業ッ 子育て親子が交流でき、子育 業フ て等に関する相談や援助を受 ネフロー クモデル けることができる。地域の子育 子育て親子の交流の場の提供、子育 て関連情報の提供や子育てに 子育て世帯の孤立化を防ぎ、 子育てしやすいまちとなる。 て等に関する相談・援助の実施、地域 虐待等のない環境で子育てが 関する講習会等の実施するこ の子育て関連情報の提供、子育てに できる。 とにより、子育てに関する情報 関する講習会等の実施。 や知識を得ることができる。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 3.096 6.266 8.137 8.138 8.408 事業費(A) 千円 決算 3.039 5.66 7.580 8.045 ス ト推移 人件費(B) 千円 決算 6.291 7.514 9.237 11.553 決算 総コスト(C)=(A+B) 千円 9.330 13.175 16.817 19.598 事業対象の数(D) 人 10,876 10,852 10,792 10,713 10,713 (R5年度は<u>想定数</u> 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均值 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R6年度(2024)年実績 (事業の意図を反映する指標) 谁 子育て支援センター来館者数 人 6.049 24.960 24.960 捗 状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名,調査年など出典) 子育て親子の交流、子育て等に関する相談や援助、地域の子育て関連情報の提供 子ども・子育て支援事業計画地域子育て支援拠点事業の量の見込み 子育てに関する講習会等は子育て支援センターで実施している。このため、来館者数 (子育て支援センターの施設上の入場可能である人数で設定) 平成20年度に開所し、子育てに関する事業を時代のニーズを捉えながら事業を展開をしている。平成26年からはアウトリーチとして、地域 事業開始からの経緯など の身近な児童館等に出向き、リズム遊びなどの教室を実施し、相談・援助活動を進めてきた。令和2年のコロナ禍では休館時期を3ヶ月設け た後に制限を設けて再開し、未就園児の居場所としての役割を努めた。 振り返り マスク着用が困難な幼児を対象にした講座や運動系の講座は、時間短縮や人数制限を設けた。計画した教室等は、下半期は中止すること 令和4年度の成果 なく開催できた。感染対策をしての開館や行事は実施方向で進め、コロナ禍ではあったものの特に0歳から就園までの児童と保護者の孤立 化防止に努めた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類になり、外出自粛等の制限は緩和されたため、事業、行事の参加者数や実施時 改善ポイント 間を平時に近づける見直しを行う必要がある。

(事業の成果を高めるための事業の方向性)

今後の 方向性

今後

ワンオペ育児による孤立感の解消を目的に、乳幼児の親子対象のサロンをR4度に実施し、好評であったため継続する。また今後も母子保健分野との連携による子育て支援の実施を継続指し、協定事業者との行事のコラボレーションも併せて展開を図る。コロナ制限は緩和されたが、今後も安全に過ごせる環境整備の継続とニーズに合致したプログラムの改善等に取り組む。

	事務事業①			7	子育て支援セン	ター事業			
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業			Д	見込	24,960	24,960	24,960	24,960	24,960
業を構		その。日本人		実績	6,049				
成 す	(2) 1	亍事回数	回	見込	36	36	36	36	36
る事				実績	29				
成する事務事業①	(3)			見込					
1	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>		実績					
	・子育て親子の交流の)場の提供と交流の促	進に関する事務	務・子育て等に ながるカラナゼ	関する相談、扱	援助の実施に関	する事	後の方向性 	改善・見直し
	務・地域の子育て関連 務・コロナ禍での入館	型情報の提供に関する。 官制限、行事の定員制	事務・子育てが 限、時間短縮な	なひ子育て支援 よど感染対策を	に関する講習会 整備しての実施	き等の実施に関 配とした。		スト投入	現状維持
	事務事業②								
			単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を構成する事				見込	(2022)	(2020)	(2024)	(2020)	(2020)
	(1) 運営に携	わる市民の人数	X	実績					
愽 成 す		プラン(総合計画)の		見込					
, る 事	指:	定の指標】 		実績					
務事業	(3)			見込					
業 ②	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))>		実績					
							今 行	後の方向性	
							٦	スト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	 実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
を 構	[77 h 2 2	プニン. (※ 会 手) あ		見込					
事業を構成する事務事業③		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
る事務	(2)			見込					
事業	(3)			実績					
3	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>					今往	後の方向性	

事業	番号	42	事業	美名			家庭児童相談	至爭多	ŧ		担当部記	课 子ど	も部子と	ごも家庭課
	第6岁	マ総合計画・基本		2 子と	゙゙もが゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	元気に育つまち					決算書 ページ		_	
	行政	改革指針•重点	課題	_							会計区分		般会計	
	法	定受託事務の有	無	無								予算区分(款 -	- 項 -	目)
基	その他	也(関係計画、要	[綱等)	有り	児童福	祉法、第2期子。	ども・子育て支援	賽事業計	画			3-2-1 児童福	祉総務	·費
本情報	事業	開始の背景、経		平成24 ⁴ も家庭課		施行による福祉 ≃なる。	事務所設置に係	半い、当	時の子育	育て支援課に設	置し事業開	始。平成31年	4月に	子ども部子ど
		民・民間事業者の 携協働の可能		襾	すると協	劦働不可	(両者と協働不可 特に個人情報(^{由)} 相談業務である	ため			
		①事業内(どんな活動を行					ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成身 象はどうなるの				ウトカム なるのか)
事業フロー	児童 児 	を対象に】 びその保護者等 付】 しつけの相談、、 談、子どもに関っ ての相談のほか を援を実施	児童虐待 する幅広	い問題		適切な支援、株な育児ができる			保護者 相談室	での目標】 が育児に困ったに相談することに 受けられる。		児童が健となる。	全に育	成できるまち
		項	i目			単位	区分	R1年 (20	F度 19)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)			R5年度 (2023)
							予算		267	267		26	26	30
-		事業	費(A)			千円	決 算		242	237		17	21	_
スト		人件	費(B)			千円	決算		8,550	10,566	8	,139 1	1,300	-
推 移		総コスト(C	C)=(A+I	B)		千円	決算		8,792	10,803	8	,156 1	11,321	-
		事業対象 (R5年度)				人			10,876	10,852	10	,792 1	10,713	10,713
		対象あたり〓				千円						1	1	
	中間	『アウトカム【成』 (事業の意図を			定	単位	R4年 _度	【現状】 〔(2022)			【目標①】 夏(2023年実	E 績		目標②】 (2024)年実績
進 捗	家庭相	談員数				人		3		7	3			3
状	(指標の	設定根拠)				<u> </u>				<u> </u> 標の根拠∶調査名				
況						「るには、相談を 童相談員の数を		う相談	(注意)家 理由は児	子育て支援事業計 家庭児童相談員は 児童虐待・DV対策 ため、家庭児童村	要保護児童 等総合支援	対策事業の会計 事業補助金(国1	1/2)の	対象となるた
	事業	開始からの経絡				施行による福祉		半い、当	時の子育	育て支援課に設	置し事業開	始		
振り返り	ŕ	う和4年度の成績	果	正職員か だその後 が、近隣	バ育休行 €、年度 :市が行	ド、コメント、特記 復帰し、会計年原 途中で会計年原 E期付き雇用で	度職員2人を相談 度相談員1人が自 募集したために、	自己都合	で退職し	した。求人は通知				
		改善ポイント		社会福祉 者の雇用	土士や利につい	と、改善の方法な精神保健福祉士 のでは課題があった。	資格等の専門耶	世の正明	世員の採	用枠がないため	に、給与面	等から職員が	定着した	ない。専門職
		(事業の)成果を高	めるための	の事業の	の方向性)								

今後の 方向性

今後

令和6年4月には母子保健と児童福祉を一体化する「こども家庭センター」設置の予定で進めている。具体的なガイドラインは国から未発出であるが、今後は国の指示に従い、他市に遅れをとることなく進める。

	事務事業①			!	家庭児童相談	室事業				
	活動! (事務事業の具体)		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を構		プラン(総合計画)の 票】家庭相談員数	Д	見込	3	3		3	3	3
を構成				実績 見込	282	219		219	219	219
次する	(2) 相	目談件数	件	実績	219	213		213	210	210
事 務				見込						
成する事務事業①	(3)			実績						
	<備考:活動の概要(R4)								後の方向性	改善・見直し
	相談員は1人未雇用、1	1人途中退職。相談件第	数の見込は前年	F度の実績値(家庭係分のみ)			٦	スト投入	現状維持
	事務事業②									
	活動: 活動: (事務事業の具体)		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事		わる市民の人数	1	見込			/			
を構	(1) 理呂に伤	かる川氏の人数	Д	実績						
成 す		^プ ラン(総合計画)の 定の指標】		見込						
る事	187	との相保』		実績						
事業を構成する事務事業②	(3)									
2	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))		入帳				≙ 2	後の方向性	
									スト投入	
	事務事業③	IL T			245-5	25 L ± T	D0 /		22/2	70/
+	活動技			区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		B7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業を	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	実績			/			
構 成		プラン(総合計画)の		見込						
する	相	定の指標】 		実績						
事業を構成する事務事業③	(3)			見込						
業 ③	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))	実績						// o - t- t- t-1	
								今往	後の方向性	
								_	スト投入	

こどもの発達相談室事業 事業番号 43 事業名 担当部課 子ども部子ども家庭課 決算書 第6次総合計画・基本目標 2 子どもが元気に育つまち 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) ながふく障がい者ブラン、こどもの発達相談室条例、長久手市こどもの発達相談、室条例施行規則、長久 手市親子通園事業どんぐり教室の運営に関する要綱 有 その他(関係計画、要綱等) 3-2-1 児童福祉総務費 基 本情報 子どもの発達に関する専門相談を早期に受けられるようにすることで、保護者の不安軽減、早期療育につ 事業開始の背景、経緯等 ながると考えられるため、相談体制の充実が求められていた。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働不可 連携協働の可能性 特に個人情報に配慮が必要な相談業務であるため。 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 療育を必要とする市民 【目的】 事ジ業ツ 出生から就園、就学、就業へと切れ クモ 目のない療育支援体制の整備、保 関係機関と連携した件数や小 障害があっても「自分らしく」暮 健・医療・福祉・保育・教育といった関 療育を必要とする人が必要な しデ ル 児科医相談者数が増える。 らせるまちを実現 係機関との連携強化を目的に相談室 サービスに繋がる件数が増加 する。 を設置し、児童の発達に関する専門 職による相談窓口の充実、早期療育 へのつなぎを行う。また、児童の所属 たへの巡回相談等、障がい児を取り 巻く関係機関との連携の拠点とする。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2020)(2021)(2022)(2023)(2019)予算 16.546 19 582 18.867 事業費(A) 千円 П 決算 10,814 15,435 ス 7 人件費(B) 千円 決算 10.828 13.657 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 0 29 092 0 21.642 事業対象の数(D) 10,852 10,792 10,713 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 2 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R9年度(2027)年実績 R14年度(2032)年実績 R4年度(2022)年実績 (事業の意図を反映する指標) 進 発達相談室での相談人数 182 190 200 人 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名,調査年など出典) 令和3年度から始めたことを鑑み、令和4年度の実績182回を基準と 発達相談室での相談は、療育を必要とする人が必要なサービスに繋げるためのもの し、10年後の目標をその10%増とし、マイルストーンとしてその半分 であるため、その人数を指標とする。 を5年後の目標とした。 事業開始からの経緯など 令和3年度から開室。相談人数は着実に増加している。相談後の方針として、最適と思われる機関へのつなぎ、又は一定期 間後の状況確認が実施できている。 振り返り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 連携のための仕組づくりとして、「長久手市医療的ケア児等ケース会議設置要綱」、「長久手市療育支援個別ケース等協議 会設置要綱」を制定し、7月、11月、3月に「医療的ケア児等ケース会議」、5月、12月、2月に「学童・青年期連絡会」、「乳幼児 令和4年度の成果 連絡会」を開催した。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 相談後の支援方針について、事例ごとに評価をし実績を積み上げ体系化していく。 必要な方へ必要な時期に、情報が届くよう、引き続き相談室の周知に努めていく。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の · 後 方向性 関係機関による各種連絡会の開催の一方で、地域課題の把握や、課題検討のための協議会等への提案を行う。

	事務事業①			٦	どもの発達相語	淡室事業				
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (20		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事		プラン(総合計画)の	II	見込	36	36		36	36	3
事業を構成する事務事業①		定の指標】 連携して支援した件数	件	実績	110					
成す	(2) 小児和	斗医相談者数	Д	見込	48	48		48	48	4
, る 事	(毎	週火曜日)	\	実績	43					
- 務 事	(3)			見込						
·業 ①				実績						
	<備者:活動の概要(R4 発達相談室として受け付		236件(182人)	٥				今後	後の方向性	改善・見直し
									スト投入	現状維持
									スト投入	近1人推1寸
	事務事業②									
	活動		単位	区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
事業を構成する事務事業②	(事務事業の具体	的な活動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(20	24)	(2025)	(2026)
	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績						
	[見込						
する		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
事 務				見込						
事業	(3)			実績						
۷	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))						今後	後の方向性	
								٦	スト投入	
	事務事業③									
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年		RZ年度	R8年度
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人		(2022)	(2023)	(20	24)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業③				実績 見込						
成す	(2) 【アクションン 指:	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
うる 事				見込						
務事	(3)			実績						
業 ③	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))>		J (136				Δ*	冬の士庁 歴	
								7	後の方向性 	
										1

児童発達支援センター事業 事業番号 44 事業名 担当部課 子ども部子ども家庭課 決算書 第6次総合計画・基本目標 2 子どもが元気に育つまち 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) 児童福祉法、ながふく障がい者プラン、長久手市児童発達支援セ 有 その他(関係計画、要綱等) 3-2-1 児童福祉総務費 ンター条例、長久手市児童発達支援センター条例施行規則 児童発達支援センターを市町村に1つ設置する必要があることから、市の中核的な療育施設としての児童発達支援センタ-事業開始の背景、経緯等 を整備した。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働不可 連携協働の可能性 市民・民間との協働の余地がない事業であるため ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 療育を必要とする市民や関係機関 【目的】 障がいのある就学前児童に対し、独 市の中核的な療育施設とし 立自活に必要な知識技能の付与、集 1日あたりの通所者数及び保 障害があっても「自分らしく」暮 て、関係機関との協議・連携 団生活への適応のための訓練などを 育所等訪問事業の利用者数 らせるまちを実現 が進み、早期療育の必要性 行う「児童発達支援事業」と所属先へ が増える。 の周知、保護者支援や地域と の訪問を行う「保育所等訪問支援」を のつながりに資する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 区分 項目 単位 (2020)(2021)(2022)(2023)(2019)予算 25 500 41.498 41.234 事業費(A) 千円 決算 21,567 40,901 千円 人件費(B) 決算 7.910 9.452 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 0 0 29 477 50 353 事業対象の数(D) 81 144 170 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 238 121 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R9年度(2027)年実績 R14年度(2032)年実績 (事業の意図を反映する指標) 市の中核的な療育施設として、関係機関 回 27 40 54 との協議・連携の場 (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) (指標の設定根拠) 協議・連携は、児童発達支援センターが持つ市の中核的な療育施設としての目的や 令和3年10月から始めたことを鑑み、令和4年度の実績27回を基準と 課題について、関係機関との協力や保護者支援等につながる可能性を高めるもので し、10年後の目標をその倍とし、マイルストーンとしてその半分を5年 あるため、その回数を指標とする。 後の目標とした。 事業開始からの経緯など 令和3年10月1日から開所。民間事業者とも顔の見える関係を築きつつ、連携を進めていく。指定管理者での運営を活か し、保育園、学校等に療育を身近なものにしていく。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年度の成果 複合施設で事業を行うことを活用し、上郷児童館への訪問、上郷保育園との植樹等行事に取り組んだ。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 地域の中核となるセンターとして、他の事業所との更なる連携が必要 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後の 指定管理者での運営を活かし、保育園、学校(令和5年度から学校への保育所等訪問支援を行う)等に療育を身近なものにしていく一方

で、民間事業者、地域とも顔の見える関係を築きつつ、連携を進めていく。

方向性

事務事業①			児童	童発達支援セン	ノター事業			
活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
【アクションフ	プラン(総合計画)の		見込	20	20	20	, ,	20
	定の指標】 こりの通所者数		実績	21.8				
/c> 保育所等訪	問事業の利用者数	1.45	見込	20	20	20	20	20
(7)	1/人の利用)	人/月	実績	33.8				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4 児童発達支援は延べ50		. 保育所等訪問 [:]	支援は延べ405	人(月平均33.8	人)利用	今往	後の方向性	改善・見直し
50±50, 2 71,200, 2 = =		V 100 3 100 100 100 100 100 100 100 100 1		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			スト投入	現状維持
						_	スト投入	近 (八雅)寸
事務事業②								
活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	1767日到777日1示/		見込	(2022)	(2020)	(2024)	(2020)	(2020)
(1) 運営に携	わる市民の人数		実績					
(アクションフ	プラン(総合計画)の		見込					
	定の指標】		実績					
(2)			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	年度(2022))					今往	後の方向性	
							. → l +Љ 3	
							スト投入	
事務事業③								
活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
Indo-s	ਰੀ= > .(ਆ∆=1 ਜਾ) ਨ		見込					
(2) 【アクション 指:	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
			見込					
(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4	年度(2022))					今往	後の方向性	
							スト投入	

事業	事業番号 45 事業名 ひとり親等福祉費 担当部課 子ども部子ども								ども家庭課
	第6次総合計画・基本目標	2 子ども7	が元気に育つまち				決算書 ページ	_	
	行政改革指針·重点課題	_					会計	一般会計	t
	法定受託事務の有無	無						区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関係計画、要綱等)	有 第2	期子ども・子育て支	[接事業計画			3	-2-3 母子福祉3	<u> </u>
本 情 報	事業開始の背景、経緯等	母子及び父 を実施	子並びに寡婦福祉				の貸付け、就労	支援、自立支援;	給付金事業等
	市民・民間事業者との 連携協働の可能性	民間事業	者とのみ協働可	(両者と協働不可	「の場合はその理				
	①事業内容 (どんな活動を行うのか	()		ト【活動指標】 . どうなるのか)		アウトカム【成身 象はどうなるの		④最終ア (市としてど	'ウトカム うなるのか)
事業フロー (ロジックモデル)	●【誰を対象に】 しとり親世帯に該当する者 【目的】 と話や就労などの相談、手当 た活や就労などの相談、手当 に言いました。		生活や就労な。 き、手当の受齢 サービスを受け		相談、** スを受け おける! とともに	その目標】 手当の支給及び、 けられることに寄 生活の安定に寄 に、次代の社会を 全な育成及び 翼る。	家庭に 与する - - 担う児	(ひとり親も)子 ちになる。	育てしやすいま
	項目		単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	!			予算	213,403	` ,	, í	` ′	178,180
П	事業費(A)		千円 決算		203,063	263,319	183,044	204,277	-
ス ト 推	人件費(B)		千円	決算	7,794	7,681	3,595	9,193	-
移	総コスト(C)=(A∃	⊦B)	千円	決算	210,857	271,000	186,639	213,470	-
	事業対象の数(I (R5年度は想定		人		410	405	405	411	411
	対象あたりコスト(C 過去3年平均(千円		514	669	548	550	
	中間アウトカム【成果指標 (事業の意図を反映す		単位	R5年	【現状】 度(4)年実績		【目標①】 度(5)年実績		目標②】 度(6)年実績
進 捗	母子父子自立支援員相談件	数	件		258		258		258
状況	(指標の設定根拠)								
	定例で県に報告している行政	報告数値であ	るため		り親の	自立支援を全般	的に対応。4半		☆。ひとり税の
	定例で県に報告している行政: 事業開始からの経緯など	母子及び父を実施してい	子並びに寡婦福祉		り親の対象は	自立支援を全般 横ばいであるた	的に対応。4半期 め、目標値は前	年同値とした。	
振り返り		母子及び父 を実施してい (活動のエピ) 主に児童 田窮に直面 た職業につっ	子並びに寡婦福祉	事項など) 「接を利用し、生 。就労相談は転り こついての相談と	り親の 対象は 象に対し、各種 活や就労につい 職の案件が多く	自立支援を全般 横ばいであるた 手当、福祉資金 てヒアリングをし 、希望職種や賃	的に対応。4半 め、目標値は前 の貸付け、就労 の貸付け、就労 にて対応している 金向上目的での	年同値とした。 支援、自立支援を ・。コロナ禍3年目	給付金事業等 目で直近で生活
振り返り	事業開始からの経緯など	母子及び父を実施してい (活動のエピ) 主に児童技 困窮に直つ (改善が必要 コロナ等によ	子並びに寡婦福祉いる。 アード、コメント、特記 養手当現況届出面 する相談は減った。 くため、資格取得になこと、改善の方法な こと、改善の方法な	事項など) 対象を利用し、生 。就労相談は転り こついての相談と など)	り親の 対象は 象に対し、各種・ 活や就労につい 職の案件が多く 向自立支援事業(自立支援を全般 横ばいであるた 手当、福祉資金 てヒアリングをし 希望職種や賃 の申請が増えた	的に対応。4半期 め、目標値は前 の貸付け、就労 の貸付け、就労 で対応している を向上目的での。	年同値とした。 支援、自立支援を 。コロナ禍3年目相談が多い。ま	給付金事業等 目で直近で生活

今後の 方向性

児童扶養手当額改定による増額あり。 ひとり親家庭の経済的安定を図ることを目的に令和5年度から養育費履行確保事業を開始し、ひとり親支援の充実を図る。

	事務事業①			子と	ごもの生活学習	7支援事業			
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 指定の指標】子	プラン(総合計画)の どどもの生活・学習支援	箇所	見込	4	4	4	4	4
を 構	事業の	の実施場所数		実績	4				
業を構成する事務事業①	(2) 参	÷加児童数	人	見込	2,590	2,394	2,394	2,394	2,394
る事				実績	2,394				
務事業	(3)			見込					
1	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>		実績					
							今 ———	後の方向性 	改善・見直し
	令和3年度から従来の 同様に実施。参加児重	居場所型を3から2箇所 直数の見込は前年度実約	、学習面を強 責値とした。	化した箇所を新	所たに2箇所追加	コした。令和4年	度も =	1スト投入	現状維持
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	У	見込					
事業を構成	(1) 建省(-1)	547@111E(077\ 3 X	Д	実績					
説 成 す		プラン(総合計画)の		見込					
する事	指	定の指標】		実績					
務事業	(3)			見込					
(2)	<備考:活動の概要(R4	年度(2022)]		実績			_		
							今	後の方向性	
							=	1スト投入	
	事務事業③						_		
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
を構	F-743-3-	(w) A = 1 = 1 = 0		見込					
成す		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
事業	(0)			見込					
事業を構成する事務事業③	(3)			実績					
3	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))					今	後の方向性	
								[+n. 1	
								スト投入	

事業	番号	事	業名								建設部	土木課	
	第6次総合	計画・基本	*目標	6 あえ	て歩し	ヽてみたくなるま	<u></u> -				決算書 ページ	_	
	行政改革	指針•重点	課題	_							会計区分	一般会計	+
	法定受	託事務の有	無	無							予算	[区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関	係計画、要	綱等)	有	喬梁長	寿命化修繕計画	画、舗装修繕計	画				7-2-1 道路維持發	ŧ
本 情 報	事業開始	の背景、紹	経緯等			する道路インフラ へては、安全で快						:基づき修繕を行 る。	うこととした。ま
		:間事業者。 弱働の可能		襾	可者と協	弨働不可	(両者と協働不同 道路維持管理			^{由)} 印識、技術が必	要となるため		
	(どん	①事業内 な活動を行)		②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるの							
事業フロー	●【誰を対象 道路利用者 【目的】 「国的】					判定基準上、要なくなる。	長修繕のものが			の目標】 快適な道路利用 る。	が可	計画的な修繕き り、維持管理費 市の財政の健全 る。	が削減され、
		項	目			単位	区分		年度 019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
П		事業	費(A)			千円	予算		272,713 254,286	243,479	324,43 254,04	•	233,640
スト		人件	·費(B)			千円	決算		14.024	29,846	37,11	·	_
推 移	1	総コスト(0	c)=(A+	-B)		千円	決算		268,310	261,647 291,156		6 265.110	_
	-	事業対象	象の数([))		_	<i>*</i> \ <i>\$</i> +		_	_	_	_	_
	対	(R5年度) 		/D)の		千円			_	_	_	_	
		トカム【成:	果指標】	の数値設	定	単位	R4年月	【現状】	 年実績		目標①】 (2026)年実績	R12年月	【目標②】 度(2030)年実績
進	舗装に関す					件		16件	1 2 430		12件		8件
進捗状況	(指標の設定	根拠)							(数値目	- 標の根拠:調査名	1、調査年など出	典)	
況	走行性、安全	全性が改善	きされるこ	ことにより	、満足	度が高まる。			8年後に	苦情件数を半え	咸(毎年1件ず	つ減少)	
	事業開始	からの経総	韋など			する道路インフラ っては、安全で快						ニ基づき修繕を行 る。	うこととした。ま
振り返り						ド、コメント、特記:		を行っ	た。また、	、R6年以降に実	!施する橋梁長	寿命化工事の実	施設計を行っ
				(改善が必	必要なこ	と、改善の方法な	(ど)						
	改	善ポイント		今後も修	繙計画	画に基づき、計画	回的に修繕を行	う必要な	がある。				
		(事業の)成果を高	高めるための	の事業の	の方向性)							
今後	今後の 方向性												

	事務事業①				橋梁長寿命仰	上事業			
	活動	指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体	的な活動の指標)	平 位	区刀	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業		アションプラン】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	橋	見込	16	22	26	31	36
業を構		(2019年度~)】	1e	実績	13				
成す	(2) 橋	梁修繕設計	橋	見込	4	5	5	5	5
,る 事	(2)	【単年】	何	実績	4				
務	(3) 法定点	京検(5年に1回)	に1回) 橋		-	_	_	_	69
事業①	.,		何	実績	-				
	<備考:活動の概要(R4 橋梁長寿命化修繕計画	4年度(2022))> の策定及び橋梁修繕工事	事の実施設計を行	_{うった。}			今	後の方向性	改善・見直し
	コスト投入現状							現状維持	

	事務事業②)				舗装修繕事	事業			
		活動:	指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	【アクションプラン】 (1) 整備延長			見込	1,215	1,505	1,805	2,105	2,405	
未 を 構				m	実績	1,219				
横成す	(0) Y Y	±πAr≎ı	- " / C 88 \	0	見込	12	12	12	12	12
っる 事	(2) 道路パトロール(年間)		回	実績	12					
務事	(2)				見込					
務事業②	(3)				実績					
	<備考:活動の概要 舗装修繕計画に基		年度(2022))> に修繕工事を行った。					今	後の方向性	改善・見直し
	=							1スト投入	現状維持	

	事	務事業③									
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年	度	R7年度	R8年度
車	(4)	VET 204 1 - 144			区刀	(2022)	(2023)	(20)	24)	(2025)	(2026)
事業た	(1)	連宮に携	わる市民の人数	人	実績						
を構成	(2)	【アクション	プラン(総合計画)の		見込						
す	(2)	指	定の指標】		実績						
る事数	(0)				見込						
務事業3	(3)				実績						
3	<備考∶)	舌動の概要(R4	1年度(2022))>						今	後の方向性	
									=	スト投入	

事業番号 47 **事業名** 住宅耐震事業 担当部課 建設部都市計画課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 行政改革指針 重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) 長久手市耐震改修促進計画 その他(関係計画、要綱等) 右 7-5-1 建築開発総務費 基 本情報 阪神・淡路大震災等の大震災で従来の被害想定を超えた被害に、これまでの地震対策のあり方に多くの課題を残すこことな 事業開始の背景、経緯等 り、平成19年度に住宅や建築物の耐震化を図るために「長久手市耐震改修促進計画」を策定した。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 民間事業者とのみ協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか) ①事業内容 ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 召和56年以前の木造住宅及び非木 造住宅の所有者 道路等に面する高さ1m以上のブロッ П ク塀等の所有者 事ジ業ツ 通行障害既存不適格建築物 ・業フロ (大規模な地震が発生した場 減災意識が高まり、費用負担 建築物等の耐震化により、大 合に、災害直後から避難・救 クモデル が軽減することで、住宅の耐震対策の実施、ブロック塀等 【目的】 規模な地震が起こっても住宅 助をはじめ、物資供給の応急 安全安心なまちづくりの観点から住宅 や建築物等が倒壊せずに人 活動のために緊急車両の通 こ対する耐震意識を高め、地震によ の撤去が行われる。 命と生活を守ることができる。 行等交通の確保を図ることを る建築物の被害、人命や財産の損失 目的として設定される道路沿 7軽減を図ることを目的として、無料 いの既存不適格建築物)の耐 対震診断・耐震改修の補助等を行い 震化率の増加 也震に強いまちづくりに貢献する。ま と、ブロック塀等の撤去費の補助によ **る減災化を進める。** R4年度 R1年度 R2年度 R3年度 R5年度 単位 項日 区分 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 24.691 17.739 13.320 13.315 13.369 事業費(A) 千円 決算 2,171 5.311 3.402 1.591 ス 7 7,765 人件費(B) 千円 決算 7.907 7.863 7.940 · 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 10.078 13.076 11.265 9 5 3 1 事業対象の数(D) 件 8 8 9 (R5年度は想定数 対象あたりコスト(C/D)の 1,370 1,408 1,059 千円 1 727 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R9年度(2027)年実績 R14年度(2032)年実績 (事業の意図を反映する指標) 通行障害既存耐震不適格建築物の除却又は 改修率(累計)(全54件を母数とし、全体 % 3.7 127 222 の目標値とする) |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠・調査名 調査年など出典) 地震によって倒壊した場合においてその敷地に接する道路の通行を妨げ、多数の者 第3次長久手市耐震改修促進計画(令和3年3月改定)により判明した の円滑な避難を困難とするおそれがあるものに対象を絞るため 通行障害既存耐震不適格建築物の棟数 木造住宅耐震改修等について、耐震化(減災化)を促進するために、平成30年度は住宅の除却費補助・ブロック塀等の除却 費補助創設、令和元年度は代理受領制度の開始、令和4年度は段階的耐震改修の開始により、耐震化の選択肢を増やし、 事業開始からの経緯など 所有者の金銭的負担を少なくすることで実績を増やす工夫をしている。令和5年度はブロック塀の補助額の算出方法を見直 し補助金額が少なく踏みとどまる所有者向けに、補助金額を見直し危険なブロック塀の撤去の促進をはかる。 振り返り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 市HP・市広報での事業掲載、ダイレクトメールの発送、戸別訪問、防災イベント(地震対策器具展示会)での周知及び耐震相 令和4年度の成果 談会を行い、事業の周知を積極的に行っている。また、ブロック塀の撤去費補助金については補助額の算出方法を見直し (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 補助制度及び住宅等の耐震化の意識啓発方法について工夫をこらす必要がある。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後 今後の

R5年度は、耐震診断済みで耐震対策の未実施の所有者に再診断、耐震改修及び除却等の補助制度について周知・啓発する。

方向性

	事務事業①				住宅耐震事	事業			
		り指標 は的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		字耐震不適格建築物の は改修率(累計)	%	見込	2	6	7	9	11
を構		件を母数とする)	90	実績	4				
事業を構成する事務事業①		"ションプラン 】	件	見込	30	30	30	30	30
・ る 事	,	の実施件数(単年)	"	実績	28				
務 事	(3) 防災イベ:	ントでの周知(単年)		見込	1	1	1	1	1
業	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>		実績	1				
	市HP・市広報に補助事		後の方向性	改善・見直し					
	を確認した。	格建築物に対して、全54 助累計件数(木診断の耐				.2件除却されてし		スト投入	現状維持
	事務事業②			-	ブロック塀等耐	:震事業			
		前指標 は的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	(事務事業の具体	(素的な活動の指標) (異の除却率(累計)	. –	区分					(2026)
事業を構	(事務事業の具体) ブロック5 (全体38	本的な活動の指標) 屏の除却率(累計) 箇所を母数とする)	単位 %		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成す	(事務事業の具体 (1) ブロックが (全体38f 【アク ブロック塀/	# 的な活動の指標) F	%	見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事	(事務事業の具体 (1) ブロックが (全体38f 【アク ブロック塀/ (2) (除却・改修済	本的な活動の指標) 解の除却率(累計) 箇所を母数とする)	. –	見込実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事	(事務事業の具体 (1) ブロックサ (全体38f 【アク (2) ブロック塀/ (2) (除却・改修済	解の除却率(累計) 解の除却率(累計) 歯所を母数とする) アションプラン】 パトロール件数(単年) みのものを除いた数を	%	見込 実績 見込 実績 見込	(2022) 18 16 38	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業②	(事務事業の具体 (1) ブロックサ (全体38f (アク (2) ブロック塀/ (除却・改修済 (3) 防災イベン	本的な活動の指標) 解の除却率(累計) 箇所を母数とする) カションプラン】 パトロール件数(単年) みのものを除いた数を と数とする) シトでの周知(単年)	% 箇所	見込 実績 見込 実績	(2022) 18 16 38	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業②	(事務事業の具体 (1) ブロックサ (全体38f 【アク (2) ブロック塀/ (2) (除却・改修済	本的な活動の指標) 解の除却率(累計) 箇所を母数とする) カションプラン】 パトロール件数(単年) みのものを除いた数を と数とする) シトでの周知(単年)	% 箇所	見込 実績 見込 実績 見込	(2022) 18 16 38 0	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業②	(事務事業の具体 (1) ブロックサ (全体38f (2) ブロック塀/ (2) (除却・改修済 (3) 防災イベン (備考:活動の概要(R4	本的な活動の指標) 解の除却率(累計) 箇所を母数とする) カションプラン】 パトロール件数(単年) みのものを除いた数を と数とする) シトでの周知(単年)	% 箇所	見込 実績 見込 実績 見込 実績	(2022) 18 16 38 0 1 1	(2023) 18 32	(2024) 21 31 1	(2025) 24 30	(2026) 26 29
事業を構成する事務事業②	(事務事業の具体 (1) ブロックサ (全体38f (2) ブロック塀/ (2) (除却・改修済 (3) 防災イベン (備考:活動の概要(R4	解の除却率(累計) 第の除却率(累計) 箇所を母数とする) アションプラン】 パトロール件数(単年) みのものを除いた数を 主数とする) シトでの周知(単年)	% 箇所	見込 実績 見込 実績 見込 実績	(2022) 18 16 38 0 1 1	(2023) 18 32	(2024) 21 31 1	(2025) 24 30 1 後の方向性	(2026) 26 29 1 改善・見直し
事業を構成する事務事業②	(事務事業の具体 (1) ブロックサ (全体38 【アク ブロック塀/ (2) (除却・改修済 (3) 防災イベン <備考:活動の概要(R4 防災イベントにおいて、)	解の除却率(累計) 第の除却率(累計) 箇所を母数とする) アションプラン】 パトロール件数(単年) みのものを除いた数を 主数とする) シトでの周知(単年)	% 箇所	見込 実績 見込 実績 見込 実績	(2022) 18 16 38 0 1 1	(2023) 18 32	(2024) 21 31 1	(2025) 24 30 1 後の方向性	(2026) 26 29 1 改善・見直し

	事	務事業③								
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
車					区万	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業を構成す	(1)	運営に携	わる市民の人数	人	実績					
構成	(2)	【アクション】	プラン(総合計画)の		見込					
	(2)	指	定の指標】		実績					
事	(3)				見込					
る事務事業③					実績					
3	<備考∷	活動の概要(R4	4年度(2022))>					4	後の方向性	
								:	コスト投入	

事業番号 新規就農総合支援事業 48 事業名 担当部課 建設部みどりの推進課 決算書 第6次総合計画・基本目標 3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) その他(関係計画、要綱等) 有 農業人材力強化総合支援事業事施要綱(国),長久手市農業次世代人材投資事業補助金 5-1-3 農業振興費 基 本情報 地域農業の担い手を育成するために、就農段階から農業経営の改善・発展段階まで一貫した支援が必要ということから、国 が平成26年度から認定新規就農者制度を農業経営基盤強化促進法に位置づけ、市が青年等就農計画を認定し、新規就農 事業開始の背景、経緯等 者へ支援を行うこととなった。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働不可 連携協働の可能性 事業の対象者が就農相談者に限定されているため。 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 就農相談者 事業フロー(ロジックモデル 【目的】 アグリサポート事業について 農の多様な担い手が育成さ 新規就農者数の安定的な増 農あるくらしの推進のため、新規就 PRを強化し、農地マッチング れ、市内の農業が活性化し、 加 農者の確保、育成に取り組む。 支援事業が広く周知され、長 遊休農地の減少につながる。 あぐりん村に出荷する生産者 久手市内で農地を借りる人が が増加し、生産者同士や市民 増えることで、新規就農者に と交流することで、地域の活 つながる人材を誘致すること 性化につながる。 ができる。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 区分 項目 単位 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 2 250 4 500 4 500 3 000 3.000 事業費(A) 千円 П 決算 3,750 4,500 4,500 3,000 ス 7 千円 人件費(B) 決算 1.779 1.374 3.269 3.687 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 5 5 2 9 5 8 7 4 7.769 6 687 事業対象の数(D) 件 2 3 3 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 2 408 2077 1 946 2 427 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【月標②】 単位 R4年度(2022)年実績 R9年度(2027)年実績 R14年度(2032)年実績 (事業の意図を反映する指標) 進 新規就農者数 人 0 1 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 新規就農者調査(農林水産省統計部)によると全国の新規就農者数 は、平成29年が55.7千人、令和3年が52.3千人であり5年間で約6%減少している。本市においても減少は例外ではないため、毎年度少なく 本市が制定した農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に年間1人の新 規就農者を確保することが目標として位置付けられているため とも1人は新規就農者を確保するため1人を目標とした 平成26年度から市が青年等就農計画を認定し、新規就農者へ支援を行うこととなり、次世代を担う農業者となることを志向 するものに対し、資金を交付し、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立を目指している 事業開始からの経緯など また、次世代を担う農業者を確保するため、農地マッチング支援事業を行っており、貸し手農地の情報を公開している。 令和5年度よりアグリサポート事業を開始し、さらなる支援の充実を目指す。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 返り返り あぐりん村及びあいち尾東農協に農地マッチング支援事業のチラシ等を設置し、周知を行った。 令和4年度の成果 マッチングが5件成立し、利用権の設定を行った アグリサポート事業の準備を進め、令和5年度から開始することができた。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 農地マッチング支援事業において、貸し手の農地登録数がまだ十分でなく、借りたい人からの相談があっても、多くの農地を 紹介できない状態であるため、遊休農地の所有者等に対するPRを強化する。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

今後

今後の

方向性

アグリサポート事業の各事業のPRを強化し、農地マッチング支援事業について貸し手の農地登録数を増やすことで、借り手の希望に近い 農地が見つかることにつながり、新規就農者につながる営農相談者数を増やしていきたい。

					** 15 + b + b - b - 1	5 viiv				
	事務事業①				新規就農支援					
		指標 な的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事		ションプラン】		見込	4	5		6	7	8
亲 を #		新規就農者数 計画認定者)【累計】	Д	実績	2					
傾成す		ーーーーーーーーーー パションプラン】 貸し手と借り手の	組	見込	5	5		5	5	5
, る 事		レグ件数【単年】	补 ഥ	実績	5					
事業を構成する事務事業①		リチング支援事業	筆	見込	25	50		75	100	125
業 ①	員し子の辰 <備考:活動の概要(R4	地の登録数【累計】		実績	25					
								今後	後の方向性	拡充
	継続交付対象者を含むもに、県職員等で構成	め2名の方に資金を交付 成するサポートチーム	けした。圃場確 と営農指導を行	認やヒアリング テった。	グによって就農	状況を確認す	るとと		スト投入	現状維持
	事務事業②								1	
		」指標 ふ的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	見わる市民の人数	\downarrow	見込						
事業を構成	(1) 建当门	いっぱいの人致	\	実績						
成す		プラン(総合計画)の		見込						
う 事	指	定の指標】		実績						
する事務事業②	(3)			見込						
業 ②		1 (T (\$\frac{1}{2}(0.000))\)		実績						
	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022)]》						今後	後の方向性	
									スト投入	
		T								
	事務事業③									
	活動]指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 	_	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事 業	(1) 運営に携	見わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(202	24)	(2023)	(2020)
を 構	「アクション	プラン(総合計画)の		見込						
事業を構成する事務事業③	(2) 【アクション、 指	定の指標】		実績						
事	(0)			見込						
寄事業	(3)			実績						
3	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))						今後	後の方向性	

事業番号 緑化振興事業 49 事業名 担当部課 建設部みどりの推進課 決算書 第6次総合計画・基本目標 3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) ・長久手市里山プラン・長久手市里山基本計画 その他(関係計画、要綱等) 有 5-1-5 緑化振興費 基 ・みどりの推進計画 ・緑の基本計画 本情報 手入れや管理が行き届かず放置された山林においては、廃棄物の不法投棄、倒木に伴う周辺への損害等周辺地域への悪 影響が懸念されている。そのためこれらの山林を適切に管理できる仕組みを整え、里山を保全・活用し、市民が快適、安全 事業開始の背景、経緯等 に生活できることが求められている。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 民間事業者とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) (対象はどうなるのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 里山プランに位置づけられた 【目的】 事 ジ 業 ツ 長久手市里山基本計画の市 地区が市民が愛着をもち楽し 業フ 民協働プロジェクトの内容に さを発見することができる *フロー 『行ってみたい「里山」』の姿に 基づいたイベントを、地元団体 地域資源として里山林の価値及び や近隣大学との協働により開 なり、さらなる里山林の価値 里山保全事業イベントの参加 愛着の向上を図るため里山保全 催した結果、団体の活動に興 及び愛着の向上・周知を図る 事業のイベントを開催する。 人数が増加 ため、市民が自主的にイベン 味を持つ市民が増え、活動団 体の構成者数が増える。 トを企画したり保全活動に参 加する。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2021)(2019)(2020)(2022)(2023)予算 19,524 17,476 1.339 2.653 1,144 事業費(A) 千円 8,577 895 П 決算 4.564 1.964 ス 7 人件費(B) 千円 決算 8,858 4,628 4,317 4,595 _ 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 17.435 9.192 5.212 6 5 5 9 事業対象の数(D) 人 58.545 57.466 60,035 60.352 60,770 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 0 n 0 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 (事業の意図を反映する指標) R4年度(2022)年実績 R5年度(2023)年実績 R7年度(2025)年実績 里山保全事業イベント参加者数 人 186 210 258 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) R4年度実績として、8イベントで186人の参加があり、1イベント当たり イベント参加者数は、イベントをきっかけに市民の地域資源としての里山林の保全活 24人となる。毎年1イベントずつ増やしていく。長久手市里山基本計画 用意識の高まり及び愛着の向上が行われたことを確認できる指標であるため の目標年次である、令和7年度を目標年次とした。 平成31年3月に策定した「長久手市里山基本計画」に基づき、市民主体での適切な里山保全・活用が図られることを目的と 事業開始からの経緯など している。まずは、関心のある市民を増やすことで、組織化に繋げていきたいと考えている。令和4年度については、プレ パークについて興味のある人材の発掘ができ、試行を実施することとなった。 振り (活動のエピソード、コメント、特記事項など) イベントの内訳としては、落ち葉焚きと燻製のイベント(26人)、プレーパークの試行計3回(延べ99人)、里山散策会【地元団体協働】(18人)、里山講演会計2回【地元団体協働】(延べ17人)、ザリガニ釣りイベント【近隣大学及び地元団体協働】(26人)。 令和4年度の成果 返り ザリガニ釣りイベントについては、愛知学院大学からのイベント提案を受け、みなみ里山クラブがサポートし実施した。協力してくれたお礼と して学生からは、みなみ里山クラブのイベント等の手伝いも可能な範囲で手伝うとの申し出もあった。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 各イベントの参加者に対してアンケート調査を行い、里山の保全活動に興味をもつ人材を発掘する。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

後

今後の

方向性

より多くの市民が参加し、里山に愛着を持ってもらえるようなイベントを地元住民と共に実施する。令和7年度までに市民団体の拡充と、さら なる市民団体による里山の保全、利活用を目指す。

	事務事業①			1	里山保全管理:	5用事業			
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	(1) 地元団体及び	近隣大学との協働によ		見込	4	5	5	6	6
未を構	り開催し	たイベント回数		実績	4				
事業を構成する事務事業①		ションプラン】	m²	見込	7,000	7,000	9,500	9,500	9,500
· る 事	里山整	備面積「累計」		実績	7,000				
務 事		活動を行っている	人	見込	25	27	29	31	33
業 ①	回14 <備考:活動の概要(R4	(の構成人数		実績	25				
	里山散策会【地元団体		計2回【地元	団体協働】、サ		後の方向性	拡充		
	び地元団体協働】の記				2.7	1.200		スト投入	現状維持
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込					
を構	(1) 建占に15	547-0111 EC 077C 9X	^	実績					
説 成 す		プラン(総合計画)の		見込					
る 事		定の指標】 		実績					
事業を構成する事務事業②	(3)			見込					
業 ②	<備考:活動の概要(R4	年 唐(2022)) >		実績					
	、	+13(2022)					今後	後の方向性	
								スト投入	
	事務事業③								
	括動 	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	B7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績				, ,	, ,
を構成し	(2) 【アクションフ	プラン(総合計画)の		見込					
事業を構成する事務事業③		定の指標】		実績					
事務	(3)			見込					
事業		左连(0000))>		実績					
3	<備考:活動の概要(R4	平度(2022)) >					今後	後の方向性	

事業	番号 50 事								
	第6次総合計画·基本目標	3 みんなつ	ご未来へつなぐ 糸	最はまちの宝物			決算書 ページ	_	
	行政改革指針·重点課題	7 市民参	11の仕組みづくり				会計	一般会計	t
	法定受託事務の有無	無						区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関係計画、要綱等)	無					7	7-1-1 土木総務費	費
本 情 報	事業開始の背景、経緯等	市道における 図っていく。	る街路樹について、				への愛着の形成	戊、街路樹管理 <i>σ</i>)質の向上を
	市民・民間事業者との 連携協働の可能性	両者	·と協働可	(両者と協働不可	「の場合はその理	曲)			
	①事業内容 (どんな活動を行うのか)		ト【活動指標】 、どうなるのか)		アウトカム【成り まはどうなるの		④最終ア (市としてど	'ウトカム うなるのか)
事業フロー(ロジックモデル)	●【誰を対象に】 市道の街路樹周辺に住む: 市民や企業等 【目的】 より多くの方が参加し、街路 いて愛着を持ってもらうため プト制度の登録者数が増加 う周知を行う。	A樹につ り、アダ	プト制度の周知 街路樹がある	凸線店舗につい ∪、アダプト制度	アダプI つ方が	その目標】 ・制度に興味関・増え、アダプト る人が増加する	度へ	市民の街路樹/ 成、街路樹管理	
	項目		単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
				予算	0	20	10	10	10
⊐	事業費(A)		千円	決算	0	0	0	0	_
ス ト 推	人件費(B)		千円	決算	0	813	824	983	-
移	総コスト(C)=(A -	-B)	千円	決算	0	813	824	983	-
	事業対象の数(I (R5年度は想定		Д		58,545	57,466	60,035	60,352	60,770
	対象あたりコスト(C 過去3年平均値	/D)の	千円		0	0	0	0	
	中間アウトカム【成果指標】 (事業の意図を反映す		単位	R4年度	【現状】 (2022)年実績		【目標①】 度(2027)年実績		[目標②] 度(2031)年実績
進 捗	市民参加の延べん	人数	Д		42		357		609
状況	(指標の設定根拠) 参加人数は、市民の街路樹へ	の愛着の向上	が確認できる指標	票であるため	グリーンロ・ 動参加がま する。 目標	5り、1団体当たり21人と	ニ対し29区間が設定されなる。全区間にアダプト	上) にている。R4年度実績とし 登録がされる29区間×21 とし、(29団体【目標】-26	1人=609人を目標②と
	事業開始からの経緯など 令和元年度に土木課から事業移管後、課題を抽出して、市民が参加しやすいことを意識した制度にして試行。令和4年7月から上級者制度及び初級者制度を設け、ハードルを下げた本格運用を開始した。ホームページや広報にて周知を行い、登録者数の増加に努めている。								
振り返り	令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 県道についてもアダプト制度を実施できるよう愛知県職員と協議を行い承諾をもらった。これに伴い広報やグリーンロード沿い企業へ直接声かけを実施し参加団体を増やすことができた。活動団体がアダプト制度を通して街路樹の管理だけでなく、街路樹下のスペースにサツマイモを植栽し、市が洞まちづくり協議会や近所のご友人等と世話や収穫等を呼びかけたことで継続的かつ活発的な活動が見受けられた。							
	改善ポイント	アダプト制度	こと、改善の方法な に登録した企業等 果と調整する必要	がゴミを捨てる	場合、ゴミ収集項	三のルート上まて	で運ぶ必要があ	る。ゴミ集積所が	ない場合近隣
	(事業の成果を高	高めるための事	業の方向性)						

今後の 方向性

令和4年度から引き続き市民団体に限らず、街路樹沿いの企業や既に草取り等を実施している方への声をかけを継続し、令和13年度までに主要道路の全区間に活動者の登録がある状態にする。

事務事業①				街路樹市民管	理事業			
	■ 動指標 体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	〒11501日30~7 日 赤/		見込	16	20	20	, ,	2
(1) 沿線店舗へ	のアダプト制度の登録勧誘	件	実績	16				
(1) 沿線店舗へ (2) 市民	· ・クションプラン】		見込	6	15	18	21	2
(2) 市民	管理団体数【単年】	団体	実績	12				
(3)			見込					
(3)			実績					
<偏考:沽動の概要(今往	後の方向性	拡充
・ホームページや広幸				(立)				
・愛知県の承認を受	ナ、グリーンロード沿い企業	美を周り参加を <u>呼</u>	乎びかけ(16者)			٦	スト投入	現状維持
事務事業②								
活	_ I 動指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	体的な活動の指標)	+12		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
(1) 運営に	携わる市民の人数	人	見込 					
			見込					
(2) 【アクショ	ンプラン(総合計画)の 指定の指標】		実績					
			見込					
(2) 【アクショ (3)			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))			△ 2	 今後の方向性			
						71	をの力向圧	
						٦	スト投入	
事務事業③								
活	動指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	B7年度	R8年度
(1) 運営に	携わる市民の人数	人		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
			実績 					
(2) 【アクショ	ンプラン(総合計画)の 指定の指標】		実績					
<u> </u>			見込					
(1) 運営に (2) 【アクショ (3) (3) (4 (表:活動の概要(実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))					△ 2	 後の方向性	
							タック 円性	

事業	番号	51	事業	業名			公園管理		担当部課	建設部みどりの推進課			
	第6%	欠総合計画・基本	本目標	1 「ヤ	らってみ	たい」でつながる	るまち				決算書 ページ	_	
	行政	で改革指針・重点	課題	_							会計区分	一般会	it
	法	定受託事務の有	頁無	無							予	算区分(款 - 項	一 目)
基	その作	也(関係計画、要	綱等)	無								7-4-3 公園費	
本 情 報	事業	開始の背景、経	経緯等	市民主作 を目的と									
			・民間事業者との 市民との				(両者と協働不可の場合はその理由) 民とのみ協働可						
		①事業内(どんな活動を行)			ト【活動指標】 . どうなるのか)			アウトカム【成界 象はどうなるの			アウトカム ごうなるのか)
事業フロー	◆【誰を対象に】 市民 【目的】 『安全で快適な公園づくりのため、公園施設の更新を行い、地域住民主体の都市公園愛護会の登録団体を増やす。				公園施設の言 愛護会の無い者 象に周の登録 象で護会の増加・ 会活動が増加・	【今後の目標】 安全で快適な公園の が進み、都市公園愛護 る公園数が増加する。				市民主体で公園の維持管理 が行われるようになり、公園の 利活用が活発化し、安全で快 適なまちとなる。			
	項目				単位	区分	R1 2	F度 19)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
						予算		109,296	100,573	132,1	111,106	104,768	
⊐		事業費(A)				千円	決算		104,586	96,220	127,6	30 106,200	_
コス		【 】 人件費(B)											
1	İ	人件	-費(B)			千円	決算		6,401	6,878	5,4	3,857	_
		人件 総コスト(C		В)		千円	決算		6,401 110,987	6,878 103,098			
ト 推	-	総コスト(C 事業対象	C)=(A+ 象の数(D)						103,098	133,1	110,057	_
ト 推		総コスト(C 事業対象 (R5年度) 対象あたり=	C)=(A+ 象の数(D は想定数) 対) (D)の		千円			110,987	103,098	133,1	110,057	60,770
ト 推		総コスト(C 事業対象 (R5年度) 対象あたり=	D)=(A+ 象の数(D は想定数 コスト(C/ 手平均値 果指標】) 対) (D)の の数値記	设定	千円 人	決算	【現状】	110,987 58,545 2	103,098 57,466 2	133,1	110,057 35 60,352 2 2	60,770
ト推移 - 進	中間	総コスト(C 事業対象 (R5年度) 対象あたりコ 過去3年 間アウトカム【成・	D)=(A+ 象の数(D は想定数 コスト(C/ 手平均値 果指標】) 対) (D)の の数値記	设定	千円 人 千円	決算	【現状】	110,987 58,545 2	103,098 57,466 2	133,1 60,0	110,057 35 60,352 2 2	60,770
ト 推 移	中間 愛護会 (指標の 愛護会	総コスト(C 事業対象 (R5年度! 対象あたりニ 過去3年 間アウトカム【成・ (事業の意図を のある公園数 設定根拠)	(A) = (A+ 京の数(D) は想定数 コスト(C/ 東平均値 果指標] ・ 反映する 【単年】) 対) (D)の の数値討 る指標)		千円 人 千円 単位	决算 R4年度	【現状】 【2022) 41	110,987 58,545 2 年実績 (数値目 全ての: る。また	103,098 57,466 2 R9年度 標の根拠:調査名 都市公園(50)に	133,1 60,0 目標①】 (2027)年実 45 、調査年などと 対し、愛護会 ては、毎年1	47 110,057 35 60,352 2 2 2 責 R13年 は典) が活動しているこ	60,77(【目標②】 度(2031)年実績 50
卜推移 進捗状況	中間 愛護会 (指標の 愛護会 る指標	総コスト(C 事業対象 (R5年度! 対象あたりコ 過去3年 『アウトカム【成! (事業の意図を のある公園数 設定根拠)	(A+ 東の数(D数 は想定数 コスト(C/ 再平均値 果指標】 「単年】 【単年】	が (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の	コな維持 年度から 団体に対 祉団体	千円 人 千円 単位 公園 管理の意識の高 ら、現在の長久等 地域の公園活動が が愛護会活動を	決算 R4年度 高まりを図ること 手市公園愛護会 を担ってもらって 担うところも出て	【現状】 (2022) 41 ができ 報償金: きた。昨	110,987 58,545 2 年実績 (数値目 全る。まの 交付要編	103,098 57,466 2 R9年度 標の根拠:調査名 ボー公園(50)に ・、目標年次とし 令和13年(2031	133,1 60,0 目標①】 (2027) 年実 45 、調査年などと 大対し、愛護会 では、毎年1月)を目標年次	47 110,057 35 60,352 2 2 2 責 R13年 は典) が活動しているこ	(目標②) 度(2031)年実績 50 とを目標とすことを想定し、9
卜推移 進捗状	中間 愛護会 (指標の 愛護会 る指標 事業	総コスト(C 事業対象 (R5年度! 対象あたりコ 過去3年 間アウトカム【成! (事業の意図を のある公園数 設定根拠) のある公園数はであるため	シ)=(A+ 東の数(D数 はなた(Cケ 東平均値 果指標す 【単年】 【単年】	か (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の (D)の	年度から対している。	千円 人 千円 単位 公園 管理の意識の高 も域の公園活動を が愛護会の登 間に愛護会の登	決算 R4年度 高まりを図ること 手市公園愛護会を担ってもらって 担うところも出て 事項など) 録があった。	【現状】 (2022) 41 ができ 報償金: きた。昨	110,987 58,545 2 年実績 (数値目 全る。まの 交付要編	103,098 57,466 2 R9年度 標の根拠:調査名 ボー公園(50)に ・、目標年次とし 令和13年(2031	133,1 60,0 目標①】 (2027) 年実 45 、調査年などと 大対し、愛護会 では、毎年1月)を目標年次	110,057 35 60,352 2 2 2 iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	(目標②】 度(2031)年実制 50 ことを目標とすことを想定し、9
ト推移 進捗状況 振り返	中間 愛護会 (指標の 愛護会 る指標 事業	総コスト(の事業対象 (R5年度) 対象あたりコ 過去3年 間アウトカム【成! (事業の意図を のある公園数 設定根拠) のあるため	シ)=(A+ 東の数(D数 はなた(Cケ 東平均値 果指標す 【単年】 【単年】	の数値記る指標) の数値記る指標) の数値記る指標) の数値記る指標) の数値記る の数値記 の数値記 の数値記 の数値記 の数値記 の数値記 の数値記 の数値記	コな維持 年度が地工 大 必要録団	千円 人 千円 単位 公園 管理の意識の高 も域の公園活動を が受護会の発 で、コメント、特記 園に愛護会の登	決算 R4年度 高まりを図ること 手市公園であること 担うところも出て 事項など) 録があった。	【現状】 (2022) 41 ができ 報償金: きた。昨	110,987 58,545 2 年実績 全のまたの 年のまたの 交付は子	103,098 57,466 2 R9年度 標の根拠:調査名 都市公園(50)に 六和13年(2031 調を定め、都市な ども会の解散に	133.1 60,0 目標①】 (2027)年実 45 、調査年などと 対し、愛護会 では、毎年1月)を目標年次 &園の清掃やより、愛護会	110,057 35 60,352 2 2 2 iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	(目標②】 度(2031)年実制 50 とを目標とすことを想定し、9 里業務を自発的場合もある。近

指定管理者との共同による、コミュニティ花壇の設置等を推進していく。 愛護会の登録団体を増やすための公園に近い地域住民団体を中心にPR活動を行う。また、愛護会代表者会議にて、他愛護会の活発な活動事例を紹介すると共に、地域活動の促進をPRしていく。

今後の 方向性

	事務事業①				公園長寿命個	上事業				
	活動技 (事務事業の具体的		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年原 (2024	-	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	(1) 【アクS	ションプラン】	八国	見込	0	0		0	6	2
事業を構成	(1) 長寿命化工事	事を実施した公園数	公園	実績	0					
構成する	(0)			見込						
でする事	(2)			実績						
事務事業	(0)			見込						
業 ①	(3)			実績						
\cup	<備考:活動の概要(R4:	年度(2022))>						今後	後の方向性	拡充
							-			
	アクションプランの査	を定結果が令和7年度か	いら事業開始予	定であるため、	令和4年度の	実績無し			スト投入	縮小
	事務事業②				公園維持管理	里事業				
	活動技 (事務事業の具体的		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 都市公園愛護会	\downarrow	見込	6,000	6,550		6,700	6,850	7,000	
を構	・'' 延べ人数 		^	実績	6,393					
成す		愛護会独自活動の開	回	見込	7	8		9	10	11
、 る 事	^{、2} / 催数 			実績	7					
事業を構成する事務事業	(3)			見込						
業 ②				実績						
	<備考:活動の概要(R4: 【愛護会独自活動」実績】 広場の会花植え2回、長		草掛公園花植え	.1回、上川原公園	園花植え2回			今征	後の方向性	拡充
	【増加率の根拠】 (1) 令和4年度の実績と (2) 毎年1回づつ独自活		活動があった。1	団体当たり約15	0人の活動が見る	込めるとする。		٦	スト投入	拡充
	事務事業③									
	活動技	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年月		R7年度	R8年度
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
を 構	「アカションコ	プラン(総合計画)の		見込						
成 す		定の指標】		実績						
る事				見込						
事業を構成する事務事業③	(3)			実績						
業 ③	<備考:活動の概要(R4:	年度(2022)) >						今後	後の方向性	

緑道管理事業 事業番号 52 事業名 担当部課 建設部みどりの推進課 決算書 第6次総合計画・基本目標 3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物 会計 行政改革指針·重点課題 一般会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 無 その他(関係計画、要綱等) 7-4-3 公園費 基 本情報 香流川緑地、せせらぎの径等の緑道及び緑地について適切に維持管理を行う。せせらぎの径についてはせせらぎの機能が 廃止となった事に伴う上部利用の検討、香流川緑地については緑地の連続性を確保するため、植栽を行い、ポケットパーク 事業開始の背景、経緯等 を整備する。これにより、緑道及び緑地の利用者に対して安全で快適に使っていただくことを目的としている。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 市民とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民 • 市民の意見を取り入れた緑地 【目的】 等の整備を行うことで、市民 事業フロージックモデル 香流川緑地整備事業に関す に愛着を持たれる場所が作ら る市民参加の植栽イベントの れる。香流川においては緑地 開催。せせらぎの径修繕事業 市民が市政に参加する機会 ■せせらぎの径や香流川に 対して愛 の連続性を確保し、せせらぎ に関する市民参加ワーク 着を持ってもらうためワークショップや 植栽イベントを開催する。 が増えることで、緑道及び緑 の径においては、市民の意見 ショップの開催。水辺の緑の 回廊事業に関する市民参加 地において市民の愛着が醸 を反映させた新たな利用形態 成される を展開することで、利用者に の植樹祭の開催。 対して安全で快適に使ってい ただける空間になる。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2021)(2022)(2023)(2019)(2020)予算 45 531 45 372 61.538 99 915 106.330 事業費(A) 千円 П 決算 44,998 44,557 51,674 67,203 ス 7 人件費(B) 千円 決算 3.252 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 44 998 44 557 51.674 70 455 事業対象の数(D) 58,545 57,466 60,035 60,352 60,770 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【目標①】 【現状】 【月標②】 単位 R8年度(2026)年実績 H28年度(2016)年実績 (事業の意図を反映する指標) R18年度(2036)年実績 豊かな自然環境があると思っている市民 % 51.8 70 90 の割合 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名,調査年など出典) 目標①としては、第6次長久手市総合計画の目標値(70%)に準ずる 「豊かな自然環境があると思っている市民の割合」が増えることで、市民の緑道及び とし、目標②としては、増加率(20%/10年)を踏まえた目標値(90%) 緑地の愛着醸成の具合が図られる指標であるため とする。 令和2年度の真行田ポケットパークの設計時に周辺住民に参加を呼びかけ、ワークショップを開催(新型コロナウイルスの影響で2回から1回)し計画を進めてきた。実際の施工の際には、植栽工事の部分を市民参加で行うことで、さらなる愛着の形成を図っていく。各事務事業では計画時に周辺住民を対象にワークショップで意見を聞くなど、なるべく地域住民に事業への参加意識を促しながら進めてきた。 事業開始からの経緯など (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り返り 水辺の緑の回廊事業で植樹祭を開催した。今年度から樹名板を設置したが参加者から好評であった 令和4年度の成果 せせらぎの径上部利用の検討として、都市計画課の景観啓発事業を活用し、学生主催(事務局の学生4名)のワークショップを実施した。内 容としては、軽石をペンキで着色し、水路部の一部に敷き詰めるもの。参加者のアンケート結果では、楽しかった、また開催して欲しいと 言った回答が多かった。 (改善が必要なこと、改善の方法など) ワークショップの参加者及び周辺住民(アンケート対象者)に対し、整備の際は市民参加を呼びかける。市民参加イベントの周知を多方面に広げることで、イベントに参加しない人にも事業について知っていただく機会とする。 改善ポイント (事業の成果を高めるための事業の方向性) 今後 今後の 令和7年度までに各事務事業が完了を迎えるため、今後も引き続き、市民の参加するイベント等の機会を設け、地域の緑道や緑地に対して 方向性 愛着を持ってもらうと共に、市民が主体的に緑地等の保全や維持管理に携わっていただくきっかけづくりを増やす。

	事務事業①										
	活	助指標	単位	区分	R4年度	R5年度 R6年		度	R7年度	R8年度	
	(事務事業の具	本的な活動の指標)	丰位	四月	(2022)	(2023)	(202	4)	(2025)	(2026)	
事業	(1) 市民:	参加の延べ人数		見込	1	20	_	_ _		_	
を構	(1)	多加0万座 、八数	^	実績	_						
成す	(2) [7	ウションプラン】	施設	見込	1	1	1 –		1	_	
,る 事	整備を	した施設数【単年】		実績	1						
務	(3)			見込							
事 業 ①				実績							
\odot	<備考:活動の概要(F 令和4年度としては:		であるため、活	動実績無し。				今征	後の方向性	拡充	
	令和4年度としては工事費の予算要求のみであるため、活動実績無し。 令和5年度としては、真行田ポケットパークの植栽工事を市民参加で実施する予定で、参加人数は20人を想 定している。 コスト投入 加										

	事	務事業②		せせらぎの径修繕事業										
	(事		指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (20		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)			
事 業	/1、 せせらぎの径上		上部利用の検討に関	,	見込	50	60	-	-	1	1			
来 を 構		た参加人数	^	実績	174									
成	(2)	【アク	ションプラン】		見込	_	_	_		350	-			
する 事	(2)	整備	i延長【累計】	m	実績	_								
事 務 事	(3)				見込									
学 業 ②	(3)				実績									
	<備考:活動の概要(R4年度(2022))> せせらぎの径上部利用の検討として、都市計画課の景観啓発事業を活用し、学生主催(事務局の学生4名)のワークショップを実施した。当日は、約170人の参加者があった。 令和5年度については、周辺住民を対象とした上部利用についてのワークショップを予定しており、20人×3回=60人の参加者を想定している。													

	事務事業③				水辺の緑の回	廊事業					
		動指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	(事務事業の具	具体的な活動の指標)			(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)		
事 業	(1) 運営(に携わる市民の人数		見込	_	_	_	_	_		
を構	(1) 建省(実績	_						
成す	(2) 植樹	樹祭の参加人数	Д	見込	12	20	2	–	_		
,る 事	(<i>L)</i> 115	倒示仍参加八致		実績	4						
務事	(3) 香流川	清掃活動の参加人数		見込	210	210	21	210	210		
·業 ③	. ,		^	実績	210						
0	<備考:活動の概要	(R4年度(2022))>					۵	後の方向性	拡充		
		辺の緑の回廊事業を活用し					2月に ・・・	及の万円注	九九		
	実施し、12本のヤマザクラ(内5ヶ所に樹名板設置)を植樹した。参加者としては、長久手小学校区自治会連合会長、北部自治会連合会長、香流川をきれいにする会、岩作区長の各団体長4名に出席いただいた。また、関連事業として毎年香流川清掃活動を実施しており、令和4年度は約70人×3回/年=210人が参加した。 現状維持										

平成こども塾事業 事業番号 53 事業名 担当部課 建設部みどりの推進課 決算書 第6次総合計画・基本目標 2 子どもが元気に育つまち 会計 行政改革指針 重点課題 市民参加の仕組みづくり 一般会計 無 予算区分(款 一 項 一 目) 法定受託事務の有無 平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画等 9-4-1 社会教育総務費 その他(関係計画、要綱等) 有 情報 平成11年に策定された第4次総合計画の柱の一つ。環境緑地系プロジェクトとして「長久手田園バレー構想」が実施された。 事業開始の背景、経緯等 その子ども版プロジェクトとして平成18年4月に「長久手町(現市)平成こども塾がオープンした。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか) ③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 小中学校の児童生徒 平成こども塾条例第1条(設置 事ジ業ツ 目的)を実現する(こどもたち 【目的】 業フロ が健全な心と身体を培うこと クモ 健全な児童・生徒を育み、身 人と自然がより良く共生できる の回りの環境を意識して人と 地域社会の実現に資するこ 平成こども塾のプログラムに デル 里山の豊かな環境を生かした体験 自然の共生に配慮できる人が と)にあたり、参加者の満足度 参加したい人が増える。 活動による、子どもたちの感性や心・ 増える。 を知ることが最も適切な指標 自然とのふれあい・生きる力・世代を と考え、「ふりかえり」を行うこ ^{辺えたコミュニケーション能力の育成} とでより深い学びとなる。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 単位 区分 項目 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 15,351 19,025 18,807 19,650 23.170 事業費(A) 千円 決算 14.802 16.566 19.599 17.116 ス ト推移 人件費(B) 千円 決質 14 219 15 121 15 694 15 869 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 29,021 31,687 35,293 32.985 事業対象の数(D) 人 4,224 1,934 2,455 3,779 4,100 (R5年度は想定数 対象あたりコスト(C/D)の 千円 14 11 14 過去3年平均值 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【日標①】 【目標②】 単位 R4年度(2022) 年実績 R10年度(2027)年実績 (事業の意図を反映する指標) R5年度(2023)年実績 参加者の満足度 % 832 90.0 950 捗 大狀況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) プログラム終了後に4段階評価のふりかえり(アンケート)を実施し、最 平成こども塾条例第1条(設置目的)を実現するにあたり、最も適切な指標であるため 上位(とてもよかった)の満足度を評価・集計して、95%以上を目指す。 平成18年4月に長久手町(現市)平成こども塾が開館し、近隣の里山(竹林等)の整備を市民と共に進めながら、小学校や市 事業開始からの経緯など 民ボランティア(平成こども塾サポート隊)と連携、他市町村や環境団体、近隣の大学他と連携、プロの環境教育団体等への 委託を行い「体験」をキーワードに体験型プログラムを実施してきた。 参加者に大きなけがもなく、参加者の満足度も全体的に高かった。アンケートでは、(こどもが)初めての体験ができた、長久手の身近な自然に気付いたとの感想が多く聞かれた。また、里山の生態について良くわかった、楽しかった等の意見も多く 振り返り 令和4年度の成果 あった。プレーパークについては、興味を持つ人材の発掘ができ、試行を実施することとなった。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業において、講師の高齢化が課題となっている。対策として生涯学習情報誌「ス マイル」や平成こども整ホームページへの募集記事掲載及び大人向け工作プログラムを実施することで講師の発掘、勧誘を行っている。学校連携講師に対しては、令和2年度から報償金を見直し、参加しやすいようにしたところ、現講師陣からも意欲 改善ポイント が増す、友人を講師に誘いやすくなったと好評である。募集方法としては、ロコミが有効で毎年少しずつだが成果を上げつつ ある。そして定着してもらえるよう声かけ等をしていく。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 平成こども塾は、現在も残されている長久手市の豊かな田園環境を生かし、こどもたちが地域の自然、文化、環境等を学ぶことを通じて健全 な心と身体を培うとともに、地域の人たちとの交流を促進し、人と自然がよりよく共生する地域社会の実現に資するために事業を推進してい 今後 今後の

「平成こども塾マスタープラン」に定められた「こども塾の意義と基本理念」に基づいて、この事業方針を策定し事業を実施する。

プレーパークについては、年1回体験会を実施しつつ、興味をもつ市民を継続して発掘・育成する。

方向性

	事務事業①			長久-	手版プレーパー	-ク整備事業							
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)				
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込	0	0	1	0 20	50				
業を構成				実績 	0				-				
する		ションプラン】 ーパーク整備か所数	整備箇所数	実績	0	_			-				
事務事	(3)			見込									
務事業①		左连/0000))\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		実績									
	<備考:活動の概要(R4	-年度(2022))>	4	後の方向性	拡充								
		パークに興味を持つ人 呼んで初のプレーパー				ことができた。	また、	コスト投入	拡充				
	事務事業② 平成こども塾体験学習事業												
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)				
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込	6,000	7,000	7,00	7,000	7,000				
事業を構	(1) EEE(1)	517 W 11 DC V77 C 30	^	実績	7,877	-			-				
成する事務事業②	(2) 平成こども塾に	ションプラン】 こよる体験学習事業の 実施回数	プログラム 回 数	見込	190	190	19	0 190	190				
事務	-	关		実績 	183								
事業	(3)			実績									
2)	<備考:活動の概要(R4	<備考:活動の概要(R4年度(2022))>											
	新型コロナウイルス原 実施できている。	感染症の影響は、一時	に比べて減少し	.、プログラム	は当初計画に近	亡い回数(183回) を	コスト投入	現状維持				
	事務事業③												
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度				
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)				
を構	「マカション	プラン(総合計画)の		見込									
事業を構成する事務事業③	(2) 【アクション) 指:	定の指標】		実績									
· 事 務	(3)			見込									
事業	く備考:活動の概要(R4	年度(2022))>		実績									
3	. pin 7 - 7 pi 29 - 7 176 X (1 1 7						4	後の方向性					
								コスト投入					

事業	事業番号 54 事			業名		教育支援センター事業							教育部教育総務課			
	第6次総合	計画・基本	目標	2 7	どもがえ	元気に育つまち						書一ジ	_			
	行政改革	指針•重点	課題	_							会計区分		一般会計	+		
	法定受討	毛事務の 有	無	無								予算[区分(款 - 項 -	- 目)		
基-	その他(関係	系計画、要	[綱等)	無								9-1-1 教育委員会費				
本 情 報	事業開始(の背景、経	緯等			である不登校の、教育支援センク	ターを設置して	いる。)学習機:	学習機会を確保し、支援の中核的な役割を果						
		間事業者の可能が			両者と協	劦働不可	(両者と協働不可の場合はその理由) 事業の性質上、協働、市民参加する事業には、					ため				
	①事業内容 (どんな活動を行うのか)		②アウトプット (活動の結果、		,		アウトカム【成 象はどうなる <i>0</i>				プウトカム うなるのか)			
事業フロー(ロジックモデル)	【誰を対象に】 学校生活になじめない児童生徒 【目的】 不登校児童生徒が教育支援センターで安心して過ごすことができ、 学校や社会への復帰を目指す。			保護者交流会の開催、関係機関との情報交換会の開催、相談件数の増加			【今後の目標】 教育支援センターへの の増加		への通所者) 児童生徒の引きこもりをなく す。					
	項目				単位	区分		年度 019)	R2年度 (2020)	R3 2	F度 21)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)			
	专业				予算		10,323	22,08	D	48,642	15,597	17,493				
П		事業費(A)				千円	決算		9,359	10,15	7	48,839	13,488	-		
スト	Ì	人件	費(B)			千円	決算		8,567	8,78	2	7,139	7,024	-		
推 移		総コスト(C				千円	決算		17,926	18,93	18,939		20,512	-		
	-	事業対象 (R5年度)				人			22	1:	18		48	50		
	対	象あたり= 過去3年				千円			555	74	5	1,266	1,137			
		トカム【成り				単位	R4年	【現状度(2022]) 年実績		【目標① 隻(2027)			[目標②] 度(2032)年実績		
進 捗 状	教育支援セ	ンターのi	通所者害	削合		%		23.6			30			40		
状 況		生徒が教育				てもらうことによ ができると考えら		持つこと					もうち教育支援も	ンターに通所		
	事業開始	からの経緯	掌など	教育支	援センタ	0日に市民野球 ターに改めた。		に適応指	手導教室 を	≟して開設。令	和4年4月	1日にi	市役所西側に移	転し、名称を		
振り返り	令和4	年度の成績	果	令和4	年4月1	ド、コメント、特記	に移転し、通	所者が増	別した。							
	改善ポイント教育支援セン					こと、改善の方法な ヌーへも通うこと: ウンセラーや心・	ができない、家					家庭訪	問等必要な支援	そ行うため		
		(事業の	成果を高			の方向性)										
今後	今後の 方向性					的な役割を果た	していくため相	談機能	を強化し、	保護者等が相	談しやす	い環境	づくりをする。			

	事務事業①			į	教育支援センタ	7一事業				
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		ションプラン】 ヤルワーカーとの定期	回/週	見込	1	1		1	1	
業を構成する事務事業①		会実施回数	四/旭	実績	1					
戊 ナ		ニーひーぶれいく」の実 施回数	回/年	見込	3	3		3	3	
る 事 -		心巴致		実績	3					
事	(3)			見込 						
Ď	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>		大根				^.	* 0 + + + +	7. ¥ P.
	・スクールソーシャルワ る児童生徒についての	ーカーと教育支援センタ 情報共有を行った	一指導員との気	定期連絡会を週	1回実施し、不登	を校及び登校渋	りのあ	71	後の方向性 	改善・見直
		ぶれいく」を年3回実施し	いた。					٦	スト投入	現状維持
	事務事業②									
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (202		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込						
ト 専 じ				実績 						
		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
多	(0)			見込						
き	(3)			実績						
	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))						今往	後の方向性	
							Ī	٦	スト投入	
	事務事業③									
	 活動	指標		区八	R4年度	R5年度	R6年	度	R7年度	R8年度
事 坐	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	区分 実績	(2022)	(2023)	(202	4)	(2025)	(2026)
はままれ		0		見込						
	(2) 【アクションフ 指:	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
5 Ξ				見込						

実績

今後の方向性

コスト投入

<備考:活動の概要(R4年度(2022))

事業	番号 5	5 事	業名		域学校協働				担当	部課	教育部教	育総務課
	第6次総合計	·画·基本目標	2 子どもがえ	元気に育つまち					決算 ペ-	事 -ジ	_	
	行政改革指	針·重点課題	_						会計区分		一般会計	
	法定受託事	事務の有無	無							予算[区分(款 - 項 -	- 目)
基	その他(関係	計画、要綱等)	無							9-	1-1 教育委員会	費
本 情 報	事業開始の	背景、経緯等	する。					連携・協働する(をとした体制づく)			指し、地域学校協	ふ働本部を設立
		事業者とのの可能性	市民との	み協働可	(両者と協働不可	の場合は	まその理	由)				
	_	事業内容 活動を行うのか)		ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成果 象はどうなるの:			④最終ア (市としてど・	
事業フロー	【目的】 【目的】 地域人材を	こ】 校の児童生徒 活用した子どもが を創出する。	たちの	新しい地域人材部員数を増加る			地域学	をの目標 】 校協働本部の事 る児童が増加す			地域と学校が道 全体で子どもた えるようになる。	ちの成長を支
		項目		単位			R2年度 (2020)	R3年度 (2021)		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
		市業患(4)		7 M	予算			2,867		3,088	3,089	3,178
⊐		事業費(A)		TH	決算	-	_	2,782		3,062	3,036	-
スト		人件費(B)		千円 決算 - 3,390			3,421	3,435	-			
推 移	総	コスト(C)=(A+	·B)	千円	決算		0	6,172		6,483	6,471	_
		事業対象の数([人		_	_	6,263		6,423	6,531	6,573
	対象	R5年度は想定数 あたりコスト(C/	´D)の	千円		_	_	1		1	1	
		過去3年平均値 カム【成果指標】				【現状】			目標①	1		目標②】
		D意図を反映す		単位	R4年度	(2022)		R9年度		=		度(2032)年実績
進 捗	延べ参加児童	数		人		21			50			80
捗状況	(指標の設定根拠	L)		•			(数値目	標の根拠:調査名	、調査年	など出身	ŧ)	
,,,,	延べ参加児童	数は、地域と学	校の連携が進ん	っでいることを図	ることができる指	信標で	地域学	校協働本部で実	施した	事業への	の参加児童数	
	事業開始かり	らの経緯など	を中止等にせる	ざるを得ない状況	兄であったが、徐			年度に設置。新3 治し始めている。	型コロナ	ウイルス	ス感染症の影響	により、各事業
振り返り	会和4年	度の成果		・ド、コメント、特記		n== ++ -+- =	L 44 00 A		- 3 - 146	A + A1.1		
Ŋ	12 14 . 1	200000	大学生のホラン	ノナイどと埋携し	て、土曜日に土	唯型を入	E期開惟	して、児童の学	ひの機会	会を創せ	il/i:。	
	改善力	ポイント	•地域学校協働		设立する学校区			がある。 、内容や募集方:	法を改善	善する必	要がある。	
		(事業の成果を高	易めるための事業	の方向性)								
今後	今後の 方向性			ノて、新たな地域 対学校協働本語		責極的に	行い、学	や校と地域の協働	動を活性	化する	o	

	声			11	ht 하나가요	- 私 古 业				
	事務事業①				也域学校協働活	到争耒 ————				
	活動! (事務事業の具体)		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (20)		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	見込	50	55		60	65	7
業を構成する事務事業①	(1) Æ1(1)5	17 0 11 12 07 7 (32		実績	27					
 成 す		ションプラン】 協働本部設立数	校区	見込	1	2		2	2	
る 事		【累計】	.,,,	実績	1					
務事	(3)			見込						
業 ①	<備考:活動の概要(R4)	年度(2022))~		実績						
	・夏休み宿題教室 児童							今征	後の方向性	拡充
	・冬休み宿題教室 大雪・土曜塾 児童延べ19人	『のため中止						٦	スト投入	拡充
	事務事業②									
	活動		単位	区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
事	(事務事業の具体)	的な沽動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(20)	24)	(2025)	(2026)
事業を構成する事務事業②	(1) 運営に携	わる市民の人数	Д	実績						
構 成 士	(アクションフ	プラン(総合計画)の		見込						
9 る 車		定の指標】		実績						
罗 務 車	(3)			見込						
ェ 業 ②				実績						
	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>						今征	後の方向性	
							•		スト投入	
									X 1-32X	
	事務事業③									
	活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (20)		R7年度 (2025)	R8年度
事 業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(20.	24)	(2025)	(2026)
を 構	「マカシュン	プラン(総合計画)の		 見込						
事業を構成する事務事業③	(2) 【アクション) 指5	定の指標】		実績						
る 事 変	(0)			見込						
伤 事 業	(3)			実績						
3	<備考:活動の概要(R4)	年度(2022))>						今征	後の方向性	

コスト投入

事業番号 中央図書館事業 56 事業名 担当部課 教育部中央図書館 決算書 第6次総合計画・基本目標 2 子どもが元気に育つまち 会計 一般会計 行政改革指針·重点課題 1 経営改革の推進 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 - 項 - 目) 図書館法、第3次長久手市子ども読書活動推進計画 その他(関係計画、要綱等) 有 9-4-4 図書館費 基 本情報 事業開始の背景、経緯等 市民の読書活動を支える場として、平成4年に開館した。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民を始めとする図書館利用者 図書ボランティアの活躍によ 【目的】 り、市民参加型の図書館運営 事業フロージックモデル を継続する 乳幼児から高齢者まで生涯を 中央図書館及び連携事業で 通じて全ての市民が集う社会 連携事業の推進及び図書ボ ■図書館法に基づき、図書等を収集、 の児童サービスにより、乳幼 教育施設として読書環境が 整理、保存し、提供するため。 ランティアとの協働により、市 児期からの読書が活発にな 整い、読書に親しむ「市民の 読書に関わる他部署等との連携 民の貸出点数や読書機会を 交流の場」ができる。 増やす。 や、社会教育施設として読書環境を ・郷土行政資料の蔵書増加に 整える。 より、市民の生活及び地域の 課題解決に役立つ。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 項目 単位 区分 (2019)(2021)(2022)(2023)(2020)予算 97 375 97.548 94.584 93 913 99.432 事業費(A) 千円 П 決算 94,146 150,717 92,672 102,609 ス 7 人件費(B) 千円 決算 56.601 61.443 61,340 62.735 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 150 747 154 012 165 344 212 160 事業対象の数(D) 85,455 84,036 83,399 83,003 83,100 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 2 2 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 【目標②】 単位 R4年度実績 R6年度実績 (事業の意図を反映する指標) R5年度実績 進 市内利用者の貸出点数 333.500 点 333.308 336.800 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 目標(1): (R5想定人口) × (R1・R3・R4の市民一人あたりの貸出点数 長久手市民への個人貸出の貸出総点数の増減が、長久手市民の利用状況を端的 の平均値の1%増)=61.200×5.45≒333.500点 に表しているため。 目標②:目標①の1%増=333,500×1.01=336,800点 令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や開館時間短縮等により貸出点数が減少していたが、令 事業開始からの経緯など 和4年度は通常開館に戻り来館者が増え、貸出冊数は回復し、目標値310,000点に対して7.5%の増加となった。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) ぶり返り 感染症対策のために実施していた館内の机・イスの削減、貸館の人数制限などを徐々に解除し、来館者数回復につなげた。 ・開館30周年として記念しおり配布、ワークショップや記念展示などを実施した 令和4年度の成果 ・ジブリパークや大河ドラマなど、話題性のあるテーマの本の展示やそのPRを実施した。 修理ボランティアの活動が順調で、前年度より約900冊増加した。(R3 1,500冊→R4 2,390冊) (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 令和6年4月からカウンタ一窓口等一部業務委託の実施により人員体制が変わるため、現業務の棲み分けや他部署との連 携事業の進め方など、業務内容の調整が必要。 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 令和6年4月からカウンター窓口等一部業務委託導入を前提に図書館の運営を進めていきながら、当館の特色でもある充実した図書館ボラ 今後の

令和4年度に策定した第3次子ども読書活動推進計画に基づき、児童の読書の習慣化を促し、貸出数を増加させ、子育て世代の多い市の特性に即した図書館づくりを継続していく。

ンティアとの協働体制で市民参加型の図書館運営を継続していく。

· 後

方向性

	事	耳務事業①				中央図書館運	営事業				
			指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
	(-	事務事業の具体	的な活動の指標)			(2022)	(2023)	(202	(4)	(2025)	(2026)
事 業	(1)	:雷台 1	わる市民の人数		見込	100	110		110	110	110
を構	(1)	Œ召(~1)7	547分目15人07人致		実績	109					
成す	(2)		ションプラン】 の小学生までの貸出冊	m	見込	150,000	151,000	1	51,000	151,000	151,000
る事	(2)		数【単年】	IIII	実績	139,584					
務	(3)	【アク	ションプラン】	プラン】 冊		8,600	8,800		9,150	9,250	9,350
事 業 ①	(3)	郷土資料等	等の資料数【累計】	IIII	実績	9,115					
	<備考:活動の概要(R4年度(2022))> ・図書修理・返本書架整理ボランティアは、人数や時間を制限して開館日に随時参加。長期活動しているボランティアから新 今後の方向性 改善・見直し 人ボランティアへ技術伝達するなどコミュニケーションを取りながら活動している。								改善・見直し		
	・ボランティアによる読み聞かせイベントを月2回増加し、参加者数が増加している。 ・感染症対策により前年度はWebからの再貸出を無制限にし貸出が多かったため、R4年度は前年比約2%減少した。 コスト投入 現状維持・郷土資料は前年度から222冊増加。										
		_	<u> </u>								

	事	務事業②								
	(事		指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)		R8年度 (2026)
事業	(1)	(第一)	きわる市民の人数	,	見込					
事業を構成	(1)) 建当に扱	547分目氏の人数	^	実績					
成す	(2)	【アクション】	プラン(総合計画)の		見込					
する事	(2)	指	定の指標】		実績					
	(3)				見込					
務事業②					実績					
	<備考:活動の概要(R4年度(2022))								今後の方向性	
									コスト投入	

	事剂	务事業③									
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6≄	F度	RZ年度	R8年度
事	(1)	電光に推	わる市民の人数	人		(2022)	(2023)	(20	24)	(2025)	(2026)
事業	(1)	理名1〜5	のの意思を	^	実績						
を 構 成	(2)	【アクション】	プラン(総合計画)の		見込						
す	(2)	指	定の指標】		実績						
る 事 発	(3)				見込						
務 事 ③					実績						
3	<備考∶テ	舌動の概要(R4	4年度(2022))>						今往	後の方向性	
									П	コスト投入	

事業番号 保健衛生普及事業 57 事業名 担当部課 福祉部保険医療課 決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 行政改革指針·重点課題 国民健康保険特別会計 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) その他(関係計画、要綱等) 有 データヘルス計画、国民健康保険法、地域福祉計画 5-1-1 保健衛生普及費 基 本情報 国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。 事業開始の背景、経緯等 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 民間事業者とのみ協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (市としてどうなるのか) (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 市民(国民健康保険被保険者) 「ロジックモデル 自分の身体の健康管理能力 が高い市民の増加。 【目的】 また、数値が改善しないアン 自分の身体を自分で管理するセルフ 保健指導対象者のうち、保健 重症化保健指導の参加者の コントロール群を減少させ、糖 ケア能力を高めて、健康寿命を延ば 指導実施率の増加。 うち、特定数値が改善した人 尿病が重症化したことによる の割合が増える。 透析や入院、手術に伴う医療 費減少。 R3年度 R1年度 R2年度 R4年度 R5年度 区分 項目 単位 (2021) (2019)(2020)(2022)(2023)予算 8 090 14.310 18 568 17.169 16.574 事業費(A) 千円 П 決算 7,136 10,570 12,387 14,063 ス 千円 7 人件費(B) 決算 3.063 6.538 11,394 18.300 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 10 199 23.781 32 363 17.108 事業対象の数(D) 8,955 8,748 8,681 8,458 8,185 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 2 2 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 R14年度(2032)年実 単位 R4年度(2022)年実績 R9年度(2027)年実績 (事業の意図を反映する指標) 進 生活習慣の改善意欲がある人の割合 % 67% 72% 75% 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名,調査年など出典) 特定健康診断質問項目の中で、生活習慣の改善について、「改善意 保健事業の実施効果を見るために、生活習慣の改善意欲(健診時)がある人の割合 欲あり」以上の回答をした人数。目標値は総合計画、データヘルス計 を成果指標とする。 画と整合している。 事業開始からの経緯など 健診結果から特にリスクが高い人に対し、3か月間の医療連携による保健指導を行った。指導後のアンケートでは全員から 生活に関して改善の意欲があると回答を受けた。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 振り返り 協力を得る専門医を、糖尿病内科とするか腎臓内科とするかや、対象者についての数値基準を専門医と相談して決定した 令和4年度の成果 結果、事業の開始が当初よりも遅くなったが、前年よりも多くの医療機関からの協力があった。 (改善が必要なこと、改善の方法など) 改善ポイント 対象者選定の段階を早め、専門医の指示を仰ぎ適切な対象者を選定する。健診結果を基にしたハイリスクアプローチを継 続しながら、医療と介護の一体化事業としてポピュレーションアプローチもすすめていく。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

今 今後の後 方向性

重症化予防事業の保健指導について、令和5年度から後期高齢者にも広げて対象者の抽出を実施し、同様な保健指導を実施する。 事業評価を行い、その内容を医師会に共有することで、協力してくれる医療機関を増やす(令和6年度までに6医療機関にする。)。

	事務事業①				重症化予防	事業			
		! 指標 :的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		ションプラン】 Sい(HbA1c6.5以上)の	%	見込	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
を構		機関未受診者の割合	70	実績	1.6				
事業を構成する事務事業①	(2) 重症化予防保	健指導実施人数	人	見込	23	24	25	26	2
る 事				実績	11				
務事	(3) 保健指導後健	康に対する意欲に変化	%	見込	100	100	100	100	100
業	が、 <備考:活動の概要(R4	あった人数		実績	100				
	\m /J . /L 35 \/ // // \/ \	1 1 1 2 (2022)					今往	後の方向性	拡充
		トから数年以内に透析 が連携して保健指導を		患のリスクがあ	る人に対して	、専門医、薬剤	削師栄 コ	スト投入	現状維持
	事務事業②								
		指標的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	%	見込					
を構	(i) ÆBICIS	547-011120077032	70	実績					
事業を構成する事務事業②		プラン(総合計画)の	%	見込					
る 事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	定の指標】 		実績					
務事	(3)			見込					
業 ②	<備考:活動の概要(R4	1年度(2022))>		実績					
	()(1)						今往	後の方向性	
							٦	スト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事	(1) 運営に携	わる市民の人数	人		(ZUZZ)	(2023)	(2024)	(2023)	(2020)

	事	務事業③									
		活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年月		R7年度	R8年度
車	(4)	VEL 244 - 144			区刀	(2022)	(2023)	(2024	!)	(2025)	(2026)
業を	(1)	連宮に携	わる市民の人数	Д	実績						
構成	(2)		プラン(総合計画)の		見込						
次する	(2)	指:	定の指標】		実績						
事	(3)				見込						
事業を構成する事務事業③					実績						
3	<備考∷	活動の概要(R4	年度(2022))>						今征	後の方向性	
									٦	スト投入	

事業	番号 58	事業	名		一般介	護予	坊事業			担当音	#課	福祉部	長寿課
	第6次総合計画・基本	本目標	4 誰もがい	きいきと安心して	暮らせる	るまち				決算 ペー		_	
	行政改革指針•重点	課題	_							会計	·/	介護保険特別	会計
	法定受託事務の有	有無	無								予算区	区分(款 一 項 -	- 目)
基	その他(関係計画、要	更綱等)	有 長久	手市第8次高齢者	f福祉計i	画及び寛	第7期介護	保険事	業計画		3-1-	−2 一般介護予降	 方費
本 情 報	事業開始の背景、総			から介護保険法の かられたため、全	ての市町	⊺村が「ク	↑護予防•	日常生	活支援総合事				常生活支援を
	市民・民間事業者 連携協働の可能		両者	と協働可	(両者と	協働不可	「の場合は -	その理由	i)				
	①事業内 (どんな活動を行			②アウトプッ (活動の結果、			(アウトカム【成り 象はどうなるの			④最終ア (市としてど	'ウトカム うなるのか)
事業フロー (ロジックモデル)	●【誰を対象に】 ■ 生として、市内在住で到 受けていない65歳以上 受けていない65歳以上 でする。 【目的】 ■ 【目的】 ■ 市民をはじめとする多い。 中性に合わせた健康でいた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上の人(要対象者を限対象者を限くの主体の 軍し、地域で づくり活動、	支援 余く。)) 意欲 ごとの 、支え	健康づくり活動 主体的に取り 成、支え合い記 くり	且む市民	の養	ß	建康づく	の目標】 (り活動、支える 加者数の増加	か活		市民をはじめと 体が自発的に係動、支え合い活 むようになる。	健康づくり活
	項	目		単位	区	分	R1年 (201		R2年度 (2020)	R3年 (202		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	車業	ŧ費(A)		千円	予	·算	3	38,333	39,133	;	38,907	33,198	32,775
コ	 	(八)		'''	決	:算	3	34,122	30,523	:	28,926	27,273	_
スト	人件	÷費(B)		千円	決	:算	1	19,298	13,157		13,290	10,904	-
推 移	総コスト((C)=(A+E	3)	千円	決	:算	Ę	53,420	43,680	4	42,216	38,177	-
		象の数(D) は想定数)		人				8,140	8,588		9,143	9,239	9,636
	対象あたり			千円				5	6		5	5	
	中間アウトカム【成(事業の意図を	果指標】の		単位		R4年度	【現状】	宇結		【目標①】 (2027)年			【目標②】 度(2032)年実績
進捗	健康づくり活動の場			人			9,540	747		10,000	7 (1)		11,500
状況	(指標の設定根拠) 健康づくり活動の場へ を図ることができる指析			くり活動に関わる	うとする	意識の	高まり の	所型コロ D、感染: 数を維持	対策を十分に行	症対策によった上で「迫 った上で「迫 標を設定。	る高齢	1) 者の外出自粛の景 引等を実施するこ き、市内事業所な	とにより、参加者
	事業開始からの経絡		行うことが定る	から介護保険法の	ての市町	「村が「か							常生活支援を
				1.0 1.1 4.4	車頂たど)							
振り返り	令和4年度の成	果 I	民間企業や大 良い取り組み	ード、コメント、特記 、学との連携が進 をしているが、す こと、改善の方法な	み、企業 べての ^比	きや大学							

(事業の成果を高めるための事業の方向性)

今後

今後の 方向性

令和5年度から地域のリーダー等にも事業の意図及び事業参加のメリットを適切に広報し、参加者層の拡大及び自発的な活動につなげていく。また、令和5年度からフレイル状態の方を対象に、フレイル予防教室を実施する。

	+ 76 + 44 (A)			_	-	^ - + ₩			
	事務事業①			',	フンコインサーb	: ス事業 			
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
F	(1) 【アクションプラ	ラン】有償ボランティア	0	見込	2,700	2,800	2,900	3,000	3,100
長は時	(1) (支援者)に。	よる支援回数(単年)	回	実績	2,250				
Ź	(2) 新規利用	登録者数(単年)	7	見込	40	42	44	46	4
	(८) क्रारुप्तगुना	豆啄石奴(辛午)	^	実績	43				
	(3)			見込					
				実績					
	<備考:活動の概要(R4			- // /= - / \$// /-		- N		後の方向性	拡充
	月から実装している。支	ニクト」として、アプリを活月 援者の発掘に苦戦してい					ていき	I +D 3	TE 1/2 6/4 ++
	たい。						-	コスト投入	現状維持 —————
	事務事業②			地垣	載いきいきライス	7推進事業			
	活動		単位	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体	的な活動の指標)		 見込	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
	() = ' '	ン】いきいきライフパー 養録者数(累計)	Д	実績	66	110	110	120	100
				見込	800	850	900	950	1,000
	(2) 健康づくり活動	の場開催回数(単年)	回	実績	975				
				見込					
	(3)			実績					
)	<備考:活動の概要(R4			4	`m 7 # 1		(- +) 今	後の方向性	改善・見直し
	市民、市民団体、民間そこに参加している市	5民同士の多様な交流	と、交流を通し	た多様な主体	の連携を促進す	るための機会	係有や		
	を日的に、健康測定を	≷及びサロンと企業の	マッナング芸を	r美施し、延へ	110名の市氏から	参加した。	=	コスト投入	現状維持
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度	R5年度	R6年度	即有度	R8年度
-	(1) 運営に携	わる市民の人数	人		(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
				実績 					
		プラン(総合計画)の 定の指標】		実績					
				見込					
Z	(3)			実績					
	<備考:活動の概要(R4	年度(2022))>		入順				// o + + !!	
							今	後の方向性	

コスト投入

長久手市行政評価票(A票:事業評価票) 包括的支援事業

担当部課

福祉部長寿課

事業番号

今後

今後の

方向性

築するために地域ケア会議を実施している。

59

事業名

決算書 第6次総合計画・基本目標 4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 会計 行政改革指針·重点課題 介護保険特別会計 区分 法定受託事務の有無 無 予算区分(款 一 項 一 目) 有 その他(関係計画、要綱等) 介護保険法、長久手市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画 3-2-1 包括的支援事業費 基 本情報 高齢者のケアに関する地域の総合的なマネジメントのため、平成18年度に地域包括支援センターが設置された。また、平成 30年4月から全ての市町村で在宅医療・介護連携、認知症総合支援及び地域ケア会議推進事業(新しい包括的支援事業) 事業開始の背景、経緯等 を開始することとなった。 (両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間事業者との 両者と協働可 連携協働の可能性 ①事業内容 ②アウトプット【活動指標】 ③中間アウトカム【成果指標】 ④最終アウトカム (活動の結果、どうなるのか) (対象はどうなるのか) (市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 【誰を対象に】 【今後の目標】 上として市内在住の65歳以上の人 【目的】 事業フロー 地域包括支援センターを中心 住まい、医療、介護、予防、生 として、行政機関、医療関係 支援を必要とする高齢者が急 ___ 活支援が一体的に提供される 者、NPO法人や民間企業等、 増しても、自助・互助・共助・ ☆護保険法第115条の46に規定される事業を包 長久手モデルの地域包括ケ 公助の各機能が最大限発揮 多様な主体がネットワー 活的支援事業として実施する。下記の業務を通し て、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活 l デル 構築し、地域に住む高齢者の され、高齢者になっても自分ら アシステムの中で生活でき 重度の介護状態になっても住 生活を支えるための仕組みづ しく暮らせる街となる。 〕地域包括支援センターの運営を行い、介護予 み慣れた場所で暮らし続ける たアマネジメント、総合相談、権利擁護、包括 ウ・継続的ケアマネジメント等の業務を行う。 くりを進める。 ことができる。 医療と介護の連携を推進する事業、地域での 認知症のケアを効果的に推進する事業及び多職 種による地域のケアマネジメントのあり方や課題 ・ 抽出する事業を行う。 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 区分 項目 単位 (2019)(2020)(2021)(2022)(2023)予算 83 202 103 397 101 230 32 393 32 261 事業費(A) 千円 決算 78,185 84,735 29,489 26,825 ス 7 千円 人件費(B) 決算 14.779 13.897 12.541 13.334 推移 総コスト(C)=(A+B) 千円 決算 92 964 98 632 42 030 40 159 事業対象の数(D) 9,804 10,042 10,235 10,390 10,590 人 (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の 千円 10 6 過去3年平均値 中間アウトカム【成果指標】の数値設定 【現状】 【目標①】 [月標②] 単位 R14年度(2032)年実績 R4年度(2022)年実績 (事業の意図を反映する指標) R9年度(2027)年実績 地域包括支援センターへの相談件数 件 5.494 6.000 6.500 捗 |状況 (指標の設定根拠) (数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 支援が必要な高齢者の増加に加え、家族からの相談も緩やかに増 相談件数の多さが、市民に広く周知された、敷居の低い包括支援センターとして、相 加していることから、地域包括支援センターが徐々に市民へ浸透して 談支援体制が充実し、機能しているという一つの指標となるため いる。そのため、相談件数は増加すると推測される。 高齢者のケアに関する地域の総合的なマネジメントのため、平成18年度に地域包括支援センターが設置された。以来、総合 事業開始からの経緯など 相談を始め、認知症に関する普及啓発及び地域ケア会議等の事業を通して、地域包括支援センターについて周知を進めて きた。また、関連機関の行う事業においても、包括が適宜連携し、周知のきっかけとなっている。コロナ禍においても、電話相 談等を通して、相談件数は微増し続けている。 振り返り 令和3年度はほとんどオンライン形式だったが、新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、集合形式での会議や交流を 令和4年度の成果 再開した。それにより、参加者同士の顔の見える関係が再び築かれるようになり、様々な職種での連携につながるきっかけ づくりができた。 (改善が必要なこと 改善の方法など) 改善ポイント 会議等の参加者は固定されつつあるため、さらに幅が広げられるように呼びかけが必要と考える。 (事業の成果を高めるための事業の方向性)

取組の一つとして、地域包括支援センターが中心となり、行政機関、医療関係者、NPO法人や民間企業等、多様な主体がネットワークを構

改善ポイントを踏まえ、令和5年度は議題となる方の支援者を交えて課題解決を深堀し検討するなど、会議参加者の幅を広げる。

	事務事業①			4	E活支援体制 整	è備事業			
	活動	指標	出	豆八	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(事務事業の具体	的な活動の指標)	単位	区分	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
事業		ラン】生活支援サポー	\downarrow	見込	100	110	110	120	130
業 を 構	ター養	成人数(累計)	\	実績	104				
成す	(2) 生活支援サ	ポーター活動件数	件	見込	500	500	500	500	500
る	(2) 土冶文饭り	ハーター 心動 什奴	Ħ	実績	430				
事務事	(3)			見込					
事業①	(3)			実績					
	<備者:活動の概要(R4年度(2022)) >							拡充	
	R 4 年度中に、新規19名を養成した。また、交流会を6回開催、ニュースレターを2回発行した。 コスト投入 現状維持								

	事務事業②			高齢	命者支援ネット'	ワーク事業			
		加指標 対抗標 対のな活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		7ションプラン】 連携事業参加者数	, ,	見込	1,010	1,040	1,050	1,050	1,050
来 を 構	(1) 多城俚说	E诱争某参加有数 【単年】	^	実績	730				
構成 す	(0) 夕啦廷	* # * * * * * * *		見込	20	20	20	20	20
っる 事	(2) 多職種選	i 携事業実施回数	回	実績	17				
	(3)			見込					
務事業②	(3)			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>								拡充	
	地域ケア会議:6回開催、入退院支援部会:4回開催、多職種連携推進交流部会:17回開催 コスト投入 現状維持								

	事務事業③			認知症理解普及啓発事業									
	活動	指標	単位	単位 区分 R4年度 R5年度 R6年		R6年度	R7年度	R8年度					
事			1	見込	1,350	1,400	1,400	1,400	1,400				
業を提		古数【単年】		実績	267								
構成	(2) 認知症サ	ポーター養成講座		見込	20	25	25	25	25				
するま	(2) NO APPLE 7	実施回数	Ш	実績	14								
事務	(3)			見込									
事 業 ③	(3)			実績									
3	<備考:活動の概要(R4	(備考:活動の概要(R4年度(2022))>											
	小・中・高校、大学ス 新型コロナウィルス駅 ことの影響により、第		中学校のカリ	キュラムにおい		が必須でなくな	こった =	スト投入	現状維持				

事業	番号			美名			任	E意事	業				担当部課		福祉部長寿課			
	第6岁	7総合計	画•基本	目標	4 誰	もがいき	きいきと安心して	暮らせる	るまち					決算 ペ-		_		
	行政	改革指统	計•重点	課題	_									会計区分		介護保険特別	別会計	
	法	定受託事	事務の有	無	無									<u> </u>	予算	区分(款 一 項	一 目)	
基	その他	也(関係記	十画、要	綱等)	有	長久手	市第9次高齢者	福祉計	画及び領	第8期介	護保険	事業計画	■	3-2-2 任意事業費				
本 情 報	事業	開始の育	背景、経	緯等	地域の	実情に	青に応じて、市町村の任意事業として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための事業を行う。									行う。		
		民•民間 連携協働			民間	事業者と	とのみ協働可	(両者と	協働不可	「の場合	まその理	由)						
		① (どんな)	事業内 舌動を行				②アウトプット (活動の結果、						」ム【成果 うなるの:				アウトカム `うなるのか)	
•		対象に		c the Direct	. M. I						【今後	の目標	[]					
(ロジック	主として市内在住の65歳以上の。 【目的】 		.00		食事を手渡しす		することで安否)				
フロー クモデル)	生活に 指等の 日常生	当を宅配することで調理等日常 支障のある一人暮らしの高齢 り健康の保持、食生活の改善、 こ活の助長を図るとともに、安否 な行うことを目的とする。					確認を行ったり 康保持や食生う				高齢者 孤独死		が改善さ する。	れる。		高齢者が住み安心して暮らせ		
			項	目			単位	区	分		手度)19)		F度 (20)	R3年 (20		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
								予	 算	,	19,418	,	19,004		19,486	20,772	20,585	
п			事業	費(A)			千円	決	 算		17,444		16,834		18,182	16,580	_	
スト			人件	費(B)			千円	決	<u></u> 算	3,95			5,916		5,561		-	
推 移		総	コスト(C	s)=(A+	B)		千円	決			21,401		22,750		23,743		-	
				Rの数(D は想定数			人				9,580		9.804		10,037		10,481	
		対象	あたりコ	な忍定数 スト(C/ E平均値	D)の		千円	_			2		2		2	2		
	中間	アウトカ	」ム【成り	果指標】	の数値	設定	単位			【現状】			_	目標①			【目標②】	
進	孤独死) 恵図を	反映する	5指標 <u>)</u>		人		R4年度	3	年実績		R9年度	2	牛美領	RI4#	度(2032)年実績	
捗 状	(指標の	設定根拠	L)								(数値目	標の根拠	∭:調査名	、調査年	など出典	t)		
況	孤独死るため	者数の》	咸少は、	市や地	域での!	見守り活	動の高まりが図	られてし	いる指標	と考え						状態であった単 を把握できた場	身者の方や死 合の総数	
	事業	開始から	らの経緯	など	高齢者	数の増	加とともに配食数	枚は概ね	增加傾	向にあり	り、独居?	高齢者等	等の安否	確認及	び栄養的	管理のニーズに	対応している。	
振り返り	4	う和4年)	度の成児	₹	·令和4 ·業者0 ·令和5	年度12. の安否確 年度か	ド、コメント、特記 月から特別食の E認により、室内 らの利用者の対	取扱いで倒れて の要件。	をしてい ていた利	用者に	対して迅	速な対	応が出来	きた。(1	件)			
		改善市	パイント		当事業		こと、改善の方法な 確認の目的で利 る。		の独自	事業(緊	《急通報	システム	な事業)も	利用す	る場合の	の事業の併用に	こついて精査し	
			(事業の	成果を高	めるため	の事業の	の方向性)											
今後		後の 句性	令和8年	F度まで	に安否	確認を目	目的として利用し	ている話	高齢者面	きませっ	ビス事業	まと緊急	通報シス	ステム事	業を併し	用している利用	者を精査する。	

	事務事業①				食の自立支持	賽事業			
		指標 的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業		ションプラン】	A	見込	250	265	280	295	310
を構	・'' 配食サービ 	配食サービス利用者数[単年]		実績	190				
業を構成する事務事業①	(2)	(2) 配食数		見込	49,300	50,200	51,200	52,000	53,000
る事	(2)			実績	41,624				
· 務 事	(3)			見込					
· 業 ①				実績					
)	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>					今征	後の方向性	改善・見直し
	身体が虚弱で調理等ほ に、配食サービスにな	日常生活を営むのに支 かかる費用の一部を負	障がある65歳り 担する。	以上独居高齢者	又は75歳以上の	のみの世帯を対		スト投入	現状維持
	事務事業②								
	活動 (事務事業の具体		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	A	見込					
を構	(1) 建百亿历	547-0111 EC 077C 33		実績					
事業を構成する事務事業②	(2) 【アクションス	プラン(総合計画)の		見込					
う る 事	指	定の指標】		実績					
· 務 事	(3)			見込					
業(2)				実績					
	<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))					今征	後の方向性	
							٦	スト投入	
	事務事業③								
	活動	指標		区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	B7年度 (2025)	R8年度 (2026)
事業	(1) 運営に携	わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024)	(2020)	(2020)
事業を構成する事務		プラン(総合計画)の		見込					
成す	(2) 【アクション) 指:	定の指標】		実績					
る事	(3)			見込					

実績

今後の方向性

コスト投入

(3)

<備考:活動の概要(R4年度(2022))

事業	番号	号 61 第6次総合計画·基本目標 60 第6 第6 次総合計画·基本目標 61 第 61 第 61 第 61 第 61 第 61 第 61 第 61		事第	業名			下水道事	業			担当部課		建設部下水道課			
	第6岁	マ総合計	·画·基本	目標	6 あ	えて歩し	ヽてみたくなるま		決算 ペ-		_						
	行政	改革指	針•重点	課題	2 財	政改革	 の推進					会計区分		- 水道事業会計・資	資本的支出		
	法	定受託事	事務の有	無	無							予算区分(款 一 項 一 目)					
基	その他	也(関係語	計画、要	綱等)	有	長久手	市公共下水道	事業計画				7-4-2 下水道費					
本 情 報	事業	開始の1	背景、経	緯等	社会基	盤の整	備による人口増	加に伴い、早急	に下水	道整備を	行う必要から、	平成2年度より公共下水道事業に着手した。					
			事業者と の可能			両者と協	弨働不可	(両者と協働不可	「の場合	はその理匠	由)						
	(_	事業内 活動を行)		②アウトプット (活動の結果、	ト【活動指標】 どうなるのか)			アウトカム【成界 象はどうなるの			④最終ア (市としてど・			
事業フロー	公共下 日前 日前の	句】 健全な多	こ】 画区域内 発達及び で水質	「公衆衛			下水道管路が!道整備済区域に			下水道	の目標】 整備済区域内の 道を使用できる			公共用水域のフられる。	水質保全が図		
			項	目		_	単位	区分		年度)19)	R2年度 (2020)	R3年 (20		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)		
								予算		245,656	125,055	5 152,805		, ,	63,525		
			事業	費(A)			千円	決算		199,680	111,182	1	123,972	76,380	_		
スト	Ì		人件:	費(B)			千円	決算		26,204	26,669		26,631	20,417	_		
推 移	1	総	コスト(C)=(A+	B)		千円	決算		225,884	137,851	150,603		96,797	_		
		3	事業対象	えの数(D)		ha	// -		796	798	<u> </u>			806		
		対象	<u>R5年度に</u> あたりコ	スト(C/	(D)の		千円				371						
			過去3年			-nt-	111		F=D Ib Y				215				
	甲	• • • • •	カム【成身 D意図を				単位	R4年度	【現状】 〔2022〕	年実績		目標① (2024)	=		目標②】 ((2026)年実績		
進	整備率	(管渠))				%		91.6		7	91.6			100		
進 捗 状	(指標の	設定根拠	L)							(数値目		i、調査年	など出身	<u>#</u>)			
況	長久手 標値と ⁻		下水道計	十画に基	づき作	成した、	社会資本総合鏨	修備計画に記載	した目		市公共下水道事に記載した目標		iに基づ	き作成した、社会	会資本総合整		
	事業	開始から	らの経緯	など			整備は令和元年 設を供用開始面			備率はオ	てきく上昇した。						
振り					(活動 <i>σ</i>	エピソー	ド、コメント、特記	事項など)									
返り	ŕ	令和4年	度の成界	₽.	下水道	[本管をL	_=38. 1m(整備	請面積 A=0. 4	I2ha) <u>惠</u>	を備したこ	と等により整備	率が91	. 6%/5	なった。			
		改善力	ポイント				こと、改善の方法な		 5水処理	型の方法:	を検討した。						
			(事業の	成果を高	あるたる	めの事業	の方向性)										
今後		句性	令和7年	F度に長	人手 市	5公共下	業の見直しを行 水道事業計画 下水道から合例	変更事業計画			⊠域への変更を	検討する	5.				

事務事業①				下水道整備	事業				
	 	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年 (20		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
[\(\sigma \)	7ションプラン】		見込	90.6	91.6	(20	91.6	91.6	10
	備率(累計)	%	実績	91.6					
(0)			見込						
(2)			実績						
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>						今後	後の方向性	縮小
								スト投入	縮小
事務事業②									
	 	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(事務事業の具体的な活動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(20	24)	(2025)	(2026)
(1) 運営に扱	携わる市民の人数	人	実績						
「アクション	プラン(総合計画)の		見込						
(2) 「アクション 指	定の指標】		実績						
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))						今後	後の方向性	改善•見直
管渠整備延長 L=3	8. 1m(整備面積	A = 0. 4 2h	na)					スト投入	縮小
事務事業③									
活動	」 助指標		区分	R4年度	R5年度	R6年		R7年度	R8年度
(1) 運営に扱	携わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(20	24)	(2025)	(2026)
	2		見込						
(2) 【アクション 指	プラン(総合計画)の 定の指標】		実績						
			見込						
(3)			実績						
<備考:活動の概要(R4	4年度(2022))>						今後	後の方向性	
							, 15		
							_	スト投入	

事業	番号 62 第6次総合計画·基本目標			事業名			建設改良	事業			担当部課		建設部下水道課		
	第6次総	合計画	画·基本目标	₹ 5 l	つでも	どこでも 誰とて	ごも 広がる交流	の輪			決算 ペ-		_		
	行政改.	革指針	・重点課題	2 月	才 政改革	の推進					会計区分			資本的支出	
	法定员	受託事	務の有無	無								予算[区分(款 一 項 -	- 目)	
基	その他(関係計	画、要綱等)有	長久手	市公共下水道	事業計画				01-01 建設改良費				
本 情 報	事業開始	冶の背	景、経緯等	社会基	基盤の整	整備による人口増加に伴い、早急に下水道整備を行う必要から、平成2年度より公共下水。								に着手した。	
			事業者との の可能性	民間	事業者	とのみ協働可	(両者と協働不可	「の場合	はその理ら	由)					
	(ど		事業内容 動を行うの	か)			ト【活動指標】 . どうなるのか)			アウトカム【成果 象はどうなるの			④最終ア (市としてど・	*	
事業フロー	【誰を交 長久手浄・ 【目的】 【目的】 長久手浄・ を行う。	化セン		命化工事		長久手浄化センが図られる。	ンターの耐震化		長久手	の目標】 浄化センターの 計画どおり実施			耐震機能を備え施設になる。	た災害に強い	
			項目			単位	区分		年度 019)	R2年度 (2020)	R3年 (20		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
			事業費(A)		千円	予算		495,734	729,812	_	-	8,400	69,000	
コス	<u> </u>						決算	441,775		712,935	_		7,090	_	
ト 推	-		人件費(B)		千円	決算	19,012		14,989	14,989		3,025	_	
移	<u> </u>		1スト(C)=(千円	決算	460,787		727,924		2,995	10,115	_	
			業対象の数 5年度は想			箇所		1		1 -		-	1	1	
			うたりコスト 過去3年平均			千円					045 397,235		247,011		
		ウトカ	ム【成果指 意図を反映	票】の数値		単位	R4年度	【現状】	 年実績	R6年度	目標①	】 年実績	【目標②】 R8年度(2026)年実績		
進	工事進捗			, <u> </u>		%		22.6			28.5 38.0				
進捗状	(指標の設定	定根拠)			ļ			(数値目		i 、調査年	など出典	4)		
況	長久手市会	公共下	水道長寿館	命化計画(長久手灣	争化センター)									
	事業開	冶から	の経緯など			下水道長寿命化 メント計画に基つ				立置付けた長寿	命化工₹	事を実施	もした。現在は長	:久手市下水道	
振 り				(活動(カエピソー	・ド、コメント、特記	事項など)								
·返 り	令和	14年度	その成果 かんしゅう	長久司	市下水	道事業ストックマ	7ネジメント計画	に基づる	き実施設	計業務を行った	0				
	_	- - 1 º	A.1	(改善)	が必要なこ	こと、改善の方法な	ほど)								
	₹	を善ポー	1ント	引き続	き、交付	十金も活用して事	業を実施する。								
			事業の成果	を高めるた	めの事業	の方向性)									
今後	今後 <i>0</i> . 方向性		エ事費を平 ストックマネ			行 う 。 朝∶令和4年度か	いら令和8年度)	こ基づき	き汚泥脱れ	水設備の改築、	機械棟の	の耐震化	ヒ等を行う予定		

事務事業①			下	水道施設長寿	命化事業				
1000	・ 助指標 本的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年月 (2024		R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
[P	ウションプラン】		見込	27.0	28.5	, , , , ,	28.5	31.2	38
	進捗率(累計)	%	実績	22.6					
(0)			見込						
(2)			実績						
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R	4年度(2022))>						今後	その方向性	拡充
		1.T. + 2.4.	+	· /-				- 1 to 2	TO 1 1 44 14
長久手市下水迫事業	ストックマネジメント	·計画に基つき	実施設計業務を	行った。			今後の方向性コスト投入	スト投人	現状維持
事務事業②									
	が指標	単位	区分	R4年度	R5年度	R6年月			R8年度
(争務争系の兵)	本的な活動の指標)		見込	(2022)	(2023)	(2024	1)	(2025)	(2026)
(1) 運営に	携わる市民の人数	人	実績						
「アクシュン	プラン(総合計画)の		見込						
(2) L アクション 指	言定の指標】		実績						
(0)			見込						
(3)			実績						
<備考:活動の概要(R	4年度(2022)}>						今後	その方向性	
						-			
							٦.	スト投人	
事務事業③									
活動	」 助指標		区分	R4年度	R5年度	R6年月		R7年度	R8年度
(1) 運営に	携わる市民の人数	人	実績	(2022)	(2023)	(2024	.)	(2025)	(2026)
			見込						
(2) 【アクション 指	プラン(総合計画)の 『定の指標】		実績						
			見込						
(3)			実績						
<備考:活動の概要(R	4年度(2022))	1	2 3 12				<u> </u>	かっちらせ	
							ラほ	その方向性	